

(様式第 10)

広大病医事第 14-1 号  
平成 26 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 茶山

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 住 所 | 〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 |
| 氏 名 | 国立大学法人 広島大学 広島大学長 浅原 利正     |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

|        |
|--------|
| 広島大学病院 |
|--------|

3 所在の場所

|                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 〒734-8551<br>広島市南区霞一丁目 2 番 3 号 | 電話( 082 ) 257 - 5555 |
|--------------------------------|----------------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

|   |
|---|
| ① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科すべてを標榜<br>② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜 |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

|  |   |   |
|--|---|---|
| 内科   | 有 | 無 |
| 内科と組み合わせた診療科名等<br>1 脳神経内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 消化器内科 5 内分泌・糖尿病内科<br>6 リウマチ科 7 血液内科 8 腎臓内科 9 感染症内科 |   |   |
| 診療実績   |   |   |

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

|   |   |   |
|---|---|---|
| 外科  | 有 | 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名<br>1 呼吸器外科 2 心臓血管外科 3 消化器外科 4 乳腺外科 5 小児外科 |   |   |
| 診療実績  |   |   |

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

|         |         |       |        |        |       |
|---------|---------|-------|--------|--------|-------|
| ①精神科    | ②小児科    | ③整形外科 | ④脳神経外科 | ⑤皮膚科   | ⑥泌尿器科 |
| ⑦産婦人科   | ⑧産科     | ⑨婦人科  | ⑩眼科    | ⑪耳鼻咽喉科 | ⑫放射線科 |
| ⑬放射線診断科 | ⑭放射線治療科 | ⑮麻酔科  | ⑯救急科   |        |       |

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

|   |   |   |
|---|---|---|
| 歯科                                      | 有 | 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名<br>1 矯正歯科 2 小児歯科 3 歯科口腔外科 |   |   |
| 歯科の診療体制                                 |   |   |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

|                              |
|------------------------------|
| 1 移植外科 2 腫瘍内科 3 病理診断科 4 形成外科 |
|------------------------------|

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

| 精神  | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般   | 合計   |
|-----|-----|----|----|------|------|
| 20床 | 2床  | 床  | 床  | 724床 | 746床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年6月1日現在)

| 職 種   | 常 勤  | 非常勤  | 合 計    | 職 種       | 員 数 | 職 種         | 員 数    |
|-------|------|------|--------|-----------|-----|-------------|--------|
| 医 師   | 489人 | 224人 | 569.4人 | 看護補助者     | 51人 | 診療エックス線技師   | 0人     |
| 歯科医師  | 182人 | 75人  | 211.6人 | 理学療法士     | 24人 | 臨床検査技師      | 60人    |
| 薬 剤 師 | 55人  | 0人   | 55.0人  | 作業療法士     | 6人  |             | 衛生検査技師 |
| 保 健 師 | 0人   | 0人   | 0.0人   | 視能訓練士     | 8人  | その他         | 4人     |
| 助 産 師 | 10人  | 0人   | 10.0人  | 義肢装具士     | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人     |
| 看 護 師 | 787人 | 12人  | 796.8人 | 臨床工学技師    | 13人 | 医療社会事業従事者   | 10人    |
| 准看護師  | 0人   | 0人   | 0.0人   | 栄 養 士     | 6人  | その他の技術員     | 4人     |
| 歯科衛生士 | 21人  | 0人   | 21.0人  | 歯 科 技 工 士 | 7人  | 事 務 職 員     | 371人   |
| 管理栄養士 | 8人   | 0人   | 8.0人   | 診療放射線技師   | 43人 | その他の職員      | 138人   |

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年6月1日現在)

| 専門医名    | 人 数 | 専門医名     | 人 数  |
|---------|-----|----------|------|
| 総合内科専門医 | 30人 | 眼科専門医    | 13人  |
| 外科専門医   | 45人 | 耳鼻咽喉科専門医 | 16人  |
| 精神科専門医  | 9人  | 放射線科専門医  | 16人  |
| 小児科専門医  | 20人 | 脳神経外科専門医 | 16人  |
| 皮膚科専門医  | 12人 | 整形外科専門医  | 24人  |
| 泌尿器科専門医 | 11人 | 麻酔科専門医   | 18人  |
| 産婦人科専門医 | 9人  | 救急科専門医   | 17人  |
|         |     | 合 計      | 256人 |

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外   | 歯科等    | 合 計     |
|--------------|---------|--------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 603.9人  | 22.4人  | 626.3人  |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1839.5人 | 533.4人 | 2372.9人 |
| 1日当たり平均調剤数   |         |        | 1060 剤  |
| 必要医師数        |         |        | 167.46人 |
| 必要歯科医師数      |         |        | 29.5人   |
| 必要薬剤師数       |         |        | 20.13人  |
| 必要(准)看護師数    |         |        | 392.24人 |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

| 施設名      | 床面積  | 主要構造     | 設備概要   |      |         |            |
|----------|--|----------|--|------|---------|------------|
|          |  |          | 病床数  |      | 心電計     | 有・無        |
| 集中治療室    | 689.5m <sup>2</sup>                                |          | 病床数  | 33床  | 心電計     | 有・無        |
|          |  |          | 人工呼吸装置   | 有・無  | 心細動除去装置 | 有・無        |
|          |  |          | その他の救急蘇生装置   | 有・無  | ペースメーカー | 有・無        |
| 無菌病室等    | [固定式の場合] 床面積 111.0m <sup>2</sup><br>[移動式の場合] 台数 台  |          |  |      | 病床数     | 7床         |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床積 63.4 m <sup>2</sup><br>[共用室の場合] 共用する室名 |          |  |      |         |            |
| 化学検査室    | 540m <sup>2</sup>                                  | 鉄筋コンクリート | (主な設備) CO2インキュベーター, FFP解凍器, クリーンベンチ, ルミネックス, 遠心機, 分光光度計, 位相差顕微鏡, リアルタイムPCR |      |         |            |
| 細菌検査室    | 68m <sup>2</sup>                                   | 鉄筋コンクリート | (主な設備) MIC測定装置, オートクレーブ, パスボックス, 安全キャビネット, 遺伝子分析装置, 恒温器, 顕微鏡, 冷蔵庫          |      |         |            |
| 病理検査室    | 211m <sup>2</sup>                                  | 鉄筋コンクリート | (主な設備) クリオスタット, 顕微鏡, 保冷库, 細胞診標本作成装置, バイオクリーンベンチ, 自動免疫染色装置, 超純水製造装置         |      |         |            |
| 病理解剖室    | 122.5m <sup>2</sup>                                | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 臓器写真台, 解剖台, ホルムレイン脱臭装置, 酸素クラスター除菌脱臭装置, 光触媒空気清浄器, ホルムレインリサイクル装置      |      |         |            |
| 研究室      | 0m <sup>2</sup>                                    | 鉄筋コンクリート | (主な設備)<br>※隣接する医歯薬保健学研究科に多数あり。   |      |         |            |
| 講義室      | 1023.1m <sup>2</sup>                               |          | 室数   | 17 室 | 収容定員    | 510 人      |
| 図書室      | 42.8m <sup>2</sup>                                 | 鉄筋コンクリート | 室数   | 1 室  | 蔵書数     | 10,000 冊程度 |

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| 算定期間 |                        | 平成25年4月1日～平成26年3月31日 |         |
|------|------------------------|----------------------|---------|
| 紹介率  | 71.2%                  | 逆紹介率                 | 47.5%   |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              |                      | 18,801人 |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |                      | 13,452人 |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 |                      | 1,378人  |
|      | D: 初診の患者の数             |                      | 28,308人 |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類  | 取扱患者数 |
|--|-------|
| 悪性高熱症診断法(スキンドファイバー法)   | 0人    |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法  | 0人    |
| 前眼部三次元画像解析   | 9人    |
| 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による<br>骨髄微小残存病変(MRD)量の測定           | 0人    |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法                                     | 0人    |
| 蛍光膀胱鏡を用いた5-アミノレブリン酸溶解液の経口投与又は<br>経尿道投与による膀胱がんの光力学的診断<br>筋層非浸潤性膀胱がん | 1人    |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類  | 取扱患者数 |
|--|-------|
| パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 | 1人    |
| 神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法   | 0人    |
| 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)  | 0人    |
| ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法   | 1人    |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

|                   |  |       |   |
|-------------------|--|-------|---|
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要<br>実績なし |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |
| 医療技術名             |  | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要         |  |       |   |

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名   | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 71人   | ・膿疱性乾癬  | 5人    |
| ・多発性硬化症  | 80人   | ・広範脊柱管狭窄症   | 8人    |
| ・重症筋無力症  | 60人   | ・原発性胆汁性肝硬変  | 75人   |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 277人  | ・重症急性膵炎   | 9人    |
| ・スモン   | 5人    | ・特発性大腿骨頭壊死症   | 129人  |
| ・再生不良性貧血                                       | 75人   | ・混合性結合組織病   | 24人   |
| ・サルコイドーシス                                      | 61人   | ・原発性免疫不全症候群   | 33人   |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 28人   | ・特発性間質性肺炎   | 31人   |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 193人  | ・網膜色素変性症  | 18人   |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 157人  | ・プリオン病  | 4人    |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 38人   | ・肺動脈性肺高血圧症  | 22人   |
| ・潰瘍性大腸炎  | 437人  | ・神経線維腫症   | 34人   |
| ・大動脈炎症候群                                       | 20人   | ・亜急性硬化性全脳炎  | 0人    |
| ・ビュルガー病  | 45人   | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 6人    |
| ・天疱瘡   | 39人   | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症   | 12人   |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 79人   | ・ライゾゾーム病  | 6人    |
| ・クローン病   | 289人  | ・副腎白質ジストロフィー  | 1人    |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 6人    | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)   | 1人    |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 16人   | ・脊髄性筋萎縮症  | 12人   |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 134人  | ・球脊髄性筋萎縮症   | 0人    |
| ・アミロイドーシス                                      | 20人   | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 19人   |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 53人   | ・肥大型心筋症   | 2人    |
| ・ハンチントン病                                       | 1人    | ・拘束型心筋症   | 0人    |
| ・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)                              | 55人   | ・ミトコンドリア病   | 13人   |
| ・ウェゲナー肉芽腫症                                     | 11人   | ・リンパ脈管筋腫症(LAM)  | 8人    |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 50人   | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)   | 0人    |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)  | 17人   | ・黄色靭帯骨化症  | 8人    |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 2人    | ・間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH<br>分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング<br>病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 303人  |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類            | 施設基準の種類            |
|--------------------|--------------------|
| ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料  | ・ 救急搬送患者地域連携紹介加算   |
| ・ 歯科外来診療環境体制加算     | ・ 呼吸ケアチーム加算        |
| ・ 歯科診療特別対応連携加算     | ・ 病棟薬剤業務実施加算       |
| ・ 特定機能病院入院基本料      | ・ データ提出加算          |
| ・ 臨床研修病院入院診療加算     | ・ 地域歯科診療支援病院入院加算   |
| ・ 救急医療管理加算         | ・ 救命救急入院料3         |
| ・ 超急性期脳卒中加算        | ・ 特定集中治療室管理料3      |
| ・ 妊産婦緊急搬送入院加算      | ・ 特定集中治療室管理料4      |
| ・ 診療録管理体制加算1       | ・ ハイケアユニット入院医療管理料2 |
| ・ 急性期看護補助体制加算      | ・ 新生児特定集中治療室管理料2   |
| ・ 療養環境加算           | ・ 小児入院医療管理料2       |
| ・ 重症者等療養環境特別加算     | ・                  |
| ・ 無菌治療室管理加算1       | ・                  |
| ・ 無菌治療室管理加算2       | ・                  |
| ・ 緩和ケア診療加算         | ・                  |
| ・ 精神科身体合併症管理加算     | ・                  |
| ・ 摂食障害入院医療管理加算     | ・                  |
| ・ がん診療連携拠点病院加算     | ・                  |
| ・ 栄養サポートチーム加算      | ・                  |
| ・ 医療安全対策加算1        | ・                  |
| ・ 感染防止対策加算1        | ・                  |
| ・ 患者サポート体制充実加算     | ・                  |
| ・ ハイリスク妊娠管理加算      | ・                  |
| ・ ハイリスク分娩管理加算      | ・                  |
| ・ 退院調整加算           | ・                  |
| ・ 新生児特定集中治療室退院調整加算 | ・                  |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                         | 施設基準の種類  |
|---------------------------------|--|
| ・ウイルス疾患指導料                      | ・歯科技工加算  |
| ・植込型除細動器移行加算                    | ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算  |
| ・高度難聴指導管理料                      | ・組織拡張器による再建手術(一連につき)<br>(乳房(再建手術)の場合に限る。)  |
| ・糖尿病合併症管理料                      | ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)  |
| ・がん性疼痛緩和指導管理料                   | ・腫瘍脊椎骨全摘術  |
| ・がん患者指導管理料1                     | ・脳腫瘍覚醒下マッピング加算   |
| ・がん患者指導管理料2                     | ・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)   |
| ・がん患者指導管理料3                     | ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)<br>及び脳刺激装置交換術  |
| ・外来緩和ケア管理料                      | ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  |
| ・移植後患者指導管理料(臓器移植後)              | ・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術  |
| ・糖尿病透析予防指導管理料                   | ・羊膜移植術   |
| ・外来リハビリテーション診療料                 | ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術<br>(プレートのあるもの)  |
| ・外来放射線照射診療料                     | ・網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)  |
| ・地域連携診療計画管理料                    | ・網膜再建術   |
| ・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)               | ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び<br>植込型骨導補聴器交換術  |
| ・がん治療連携計画策定料                    | ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)  |
| ・がん治療連携管理料                      | ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、<br>下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科診療以外の診療に係るものに限る。) |
| ・肝炎インターフェロン治療計画料                | ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科診療に係るものに限る。)、<br>下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科診療に係るものに限る。)           |
| ・薬剤管理指導料                        | ・乳がんセンチネルリンパ節加算1   |
| ・医療機器安全管理料1                     | ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)  |
| ・医療機器安全管理料2                     | ・経皮的冠動脈形成術   |
| ・医療機器安全管理料(歯科)                  | ・経皮的冠動脈形成術□(特殊カテーテルによるもの)  |
| ・歯科治療総合医療管理料                    | ・経皮的冠動脈ステント留置術   |
| ・持続血糖測定器加算                      | ・経皮的中隔心筋焼灼術  |
| ・造血管腫瘍遺伝子検査                     | ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  |
| ・HPV核酸検出<br>HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定) | ・植込型心電図記録計移植術及び植型心電図記録計摘出術   |
| ・検体検査管理加算(IV)                   | ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術  |

| 施設基準の種類                       | 施設基準の種類  |
|-------------------------------|--|
| ・ 遺伝カウンセリング加算                 | ・ 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの) |
| ・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算    | ・ 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術   |
| ・ 植込型心電図検査                    | ・ 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)                           |
| ・ 胎児心エコー法                     | ・ 補助人工心臓   |
| ・ 時間内歩行試験                     | ・ 経皮的大動脈遮断術                                      |
| ・ ヘッドアップティルト試験                | ・ ダメージコントロール手術                                   |
| ・ 皮下連続式グルコース測定                | ・ 体外衝撃波胆石破砕術                                     |
| ・ 長期継続頭蓋内脳波検査                 | ・ 腹腔鏡下肝切除術                                       |
| ・ 脳磁図                         | ・ 生体部分肝移植術                                       |
| ・ 神経学的検査                      | ・ 同種死体肝移植術                                       |
| ・ 補聴器適合検査                     | ・ 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術                                  |
| ・ ロービジョン検査判断料                 | ・ 同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術                             |
| ・ 小児食物アレルギー負荷検査               | ・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術                                |
| ・ 内服・点滴誘発試験                   | ・ 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術                                 |
| ・ センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)併用法 | ・ 同種死体腎移植術                                       |
| ・ CT透視下気管支鏡検査加算               | ・ 生体腎移植術   |
| ・ 画像診断管理加算2                   | ・ 膀胱水圧拡張術  |
| ・ 歯科画像診断管理加算1                 | ・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術                                   |

| 施設基準の種類                 | 施設基準の種類  |
|-------------------------|--|
| ・ 歯科画像診断管理加算2           | ・ 人工尿道括約筋植込・置換術                                    |
| ・ ポジトロン断層撮影             | ・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術                                    |
| ・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 | ・ 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術 |
| ・ CT撮影及びMRI撮影           | ・ 医科点数表第2章第10部の手術の通則の16に掲げる手術                      |
| ・ 冠動脈CT撮影加算             | ・ 輸血管理料 I  |
| ・ 外傷全身CT加算              | ・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算                                |
| ・ 大腸CT撮影加算              | ・ 内視鏡手術用支援機器加算                                     |
| ・ 心臓MRI撮影加算             | ・ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算                                    |
| ・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算          | ・ 歯周組織再生誘導手術                                       |
| ・ 外来化学療法加算1             | ・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術                                   |
| ・ 無菌製剤処理料               | ・ 麻酔管理料( I )                                       |
| ・ 心大血管疾患リハビリテーション料( I ) | ・ 麻酔管理料( II )                                      |
| ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料( I ) | ・ 放射線治療専任加算  |
| ・ 運動器リハビリテーション料( I )    | ・ 外来放射線治療加算  |
| ・ 呼吸器リハビリテーション料( I )    | ・ 高エネルギー放射線治療                                      |
| ・ がん患者リハビリテーション料        | ・ 1回線量増加加算   |
| ・ 歯科口腔リハビリテーション料2       | ・ 強度変調放射線治療( IMRT )                                |
| ・ 認知療法・認知行動療法1          | ・ 画像誘導放射線治療加算( IGRT )                              |

| 施設基準の種類           | 施設基準の種類  |
|-------------------|--|
| ・医療保護入院等診療料       | ・体外照射呼吸性移動対策加算   |
| ・エタノールの局所注入(甲状腺)  | ・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)                                |
| ・エタノールの局所注入(副甲状腺) | ・定位放射線治療呼吸移動対策加算                                       |
| ・透析液水質確保加算2       | ・病理診断管理加算1   |
| ・磁気による膀胱等刺激法      | ・口腔病理診断管理加算 1  |
| ・一酸化窒素吸入療法        | ・クラウン・ブリッジ維持管理料  |
| ・う蝕歯無痛的窩洞形成加算     | ・歯科矯正診断料   |
| ・CAD/CAM冠         | ・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの) |
| ・手術時歯根面レーザー応用加算   | ・  |

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類                            | 施設基準等の種類 |
|-------------------------------------|----------|
| ・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術                      | ・        |
| ・超音波骨折治療法                           | ・        |
| ・先天性難聴の遺伝子診断                        | ・        |
| ・インプラント義歯                           | ・        |
| ・歯科用CAD・CAMを用いたハイブリッドレジンによる<br>歯科補綴 | ・        |
| ・難治性眼疾患に対する羊膜移植術                    | ・        |
| ・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた<br>歯根端切除術   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |
| ・                                   | ・        |

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 1週間に1～2回程度、1ヶ月に7回程度。                                      |
| 部 検 の 状 況                           | 剖検症例数 45 例 / 剖検率 10.20%                                   |

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名  | 研究者氏名  | 所属部門        | 金額          |        | 補助元又は委託元         |
|--|--------|-------------|-------------|--------|------------------|
| 肝線維化を抑制する活性化星細胞特異的インテグリンの抗体:作用機序解明と治療の展開                   | 菅野 啓司  | 総合内科・総合診療科  | 1,200,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援                                | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科  | 700,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討                                 | 田妻 進   | 総合内科・総合診療科  | 1,400,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 発作時脳磁図データの周波数解析-非侵襲的臨床検査法としての確立-                           | 飯田 幸治  | 脳神経外科       | 700,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 微小重力環境で培養したヒト頭蓋骨由来MSCの神経分化能と機能評価                           | 山口 智   | 脳神経外科       | 500,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 微小重力環境を用いた下垂体幹細胞の培養技術の開発-人工下垂体への応用を目指して                    | 栗栖 薫   | 脳神経外科       | 2,700,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ①難病ネットワークの構築に関する研究②小児難病ネットワークの構築に関する研究                     | 松本 昌泰  | 脳神経内科       | 7,000,000   | 補<br>委 | 厚生労働省            |
| 医歯薬学分野に関する学術研究動向に関する調査研究及び学術振興方策に関する調査研究                   | 松本 昌泰  | 脳神経内科       | 6,500,000   | 補<br>委 | 独立行政法人日本学術振興会    |
| 脳障害血液バイオマーカーとしてtransmembrane protein95の検証とその中枢神経系における働きの検討 | 細見 直永  | 脳神経内科       | 1,440,000   | 補<br>委 | 独立行政法人科学技術振興機構   |
| うつ病の神経回路-分子病態解明とそれに基づく診断・治療法の開発                            | 山脇 成人  | 精神科         | 119,993,000 | 補<br>委 | 文部科学省            |
| 難治性うつ病の病態機序の解明と新規診断法の開発に関する基礎・臨床的研究                        | 山脇 成人  | 精神科         | 28,046,200  | 補<br>委 | 独立行政法人科学技術振興機構   |
| 平成25年度広島県自殺未遂者実態調査及び地域支援体制構築モデル検討事業                        | 山脇 成人  | 精神科         | 3,757,000   | 補<br>委 | 内閣府              |
| 老年期うつ病の神経回路異常とその分子病態に関する研究                                 | 山脇 成人  | 精神科         | 16,610,000  | 補<br>委 | 独立行政法人科学技術振興機構   |
| うつ病における思考速度低下の脳磁図による検討                                     | 志々田 一宏 | 精神科         | 500,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 情動制御の脳内機構とその障害の修復機序に関する研究                                  | 山脇 成人  | 精神科         | 4,000,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 脳血管性うつ病の神経回路網の異常と抑うつ気分、アハシーとの関連                            | 山下 英尚  | 精神科         | 1,000,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 磁気ターゲティングを利用した脊椎再建材料による脊椎再生                                | 田中 信弘  | 脊椎・脊髄外科     | 700,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 分泌型マイクロRNAによる血管新生を基軸とした運動器損傷の新たな治療戦略                       | 中佐 智幸  | 脊椎・脊髄外科     | 1,200,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 各種老化因子の制御による加齢性内耳障害の予防・治療法開発の分子生物学的研究                      | 工田 昌也  | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,200,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| I型肺胞上皮由来の新規特発性肺線維症バイオマーカーRAGEの開発と創薬の試み                     | 岩本 博志  | 呼吸器内科       | 1,300,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 国際共同研究による間質性肺炎の新規バイオマーカーの開発と創薬の試み                          | 河野 修典  | 呼吸器内科       | 9,600,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究                               | 岡田 守人  | 呼吸器外科       | 550,000     | 補<br>委 | 独立行政法人国立がん研究センター |
| 平成25年度認定医等確保支援事業   | 岡田 守人  | 呼吸器外科       | 1,600,000   | 補<br>委 | 広島県              |
| 新技術レーザープロトオミクスにより同定された乳癌浸透潤突起特異的分子の解明                      | 見前 隆洋  | 呼吸器外科       | 1,100,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 肺胞上皮癌における浸潤性肺線維症への悪性化進展メカニズムの解明                            | 岡田 守人  | 呼吸器外科       | 4,300,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |

小計25

|  |        |            |             |        |                |
|--|--------|------------|-------------|--------|----------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援                      | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科 | 700,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| インスリン抵抗性は冠動脈疾患と弁膜病変合併の促進因子である                    | 山本 秀也  | 循環器内科      | 500,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| 看護師と医療保険者の役割機能拡大による新たな慢性疾患ケア提供モデルの構築             | 木原 康樹  | 循環器内科      | 8,600,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| ステントグラフトアウトリーチ及び新型ステントグラフトの開発                    | 末田 泰二郎 | 心臓血管外科     | 1,690,000   | 補<br>委 | 独立行政法人科学技術振興機構 |
| 術中判断を可能にする心房細動外科治療時の電気生理診断法の確立と低侵襲術式の開発          | 今井 克彦  | 心臓血管外科     | 500,000     | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| SCU資機材整備事業                                       | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 9,490,000   | 補<br>委 | 広島県            |
| がん診療施設設備整備事業                                     | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 10,500,000  | 補<br>委 | 広島県            |
| がん診療連携拠点病院機能強化事業                                 | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 30,346,000  | 補<br>委 | 厚生労働省          |
| ドクターヘリ導入事業                                       | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 10,500,000  | 補<br>委 | 広島県            |
| ドクターヘリ導入促進事業                                     | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 211,765,000 | 補<br>委 | 広島県            |
| 感染症対策特別推進事業                                      | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 15,797,000  | 補<br>委 | 厚生労働省          |
| 感染症予防事業  | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 5,326,000   | 補<br>委 | 感染症予防事業費補助金    |
| 災害派遣等にかかる緊急自動車整備事業                               | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 5,000,000   | 補<br>委 | 広島県            |
| 産科医等確保支援事業                                       | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 2,145,000   | 補<br>委 | 広島県            |
| 治験等症例集積機能向上パイロット事業                               | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 300,000     | 補<br>委 | 広島県            |
| 小児救急遠隔医療設備整備事業                                   | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 2,567,000   | 補<br>委 | 広島県            |
| 心不全地域連携サポートチーム体制の構築事業                            | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 11,212,000  | 補<br>委 | 広島県            |
| 新人看護職員研修事業                                       | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 558,000     | 補<br>委 | 新人看護職員研修事業費補助金 |
| 難病特別対策推進事業                                       | 茶山 一彰  | 消化器・代謝内科   | 954,000     | 補<br>委 | 厚生労働省          |
| 歯周病原細菌菌性感染による非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)病態増悪機構の解明         | 兵庫 秀幸  | 消化器・代謝内科   | 1,600,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| CD47-SIRP $\alpha$ シグナルを介した癌細胞免疫回避機構の解明とその制御法の開発 | 大段 秀樹  | 消化器外科      | 10,600,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| ヒト化異種糖鎖欠損免疫不全マウスを用いた抗体関連拒絶反応機構の解明                | 田原 裕之  | 消化器外科      | 1,100,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| ヒト腺癌に対する抗癌剤感受性制御腫瘍溶解性組換えワクシニアウイルスの開発             | 橋本 泰司  | 消化器外科      | 2,200,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| 人側/装置側の両者の力触覚機能向上による新しい医用力覚呈示システム                | 恵木 浩之  | 消化器外科      | 3,300,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| 造血幹細胞・iPS細胞由来TRAIL陽性NK細胞による肝癌免疫細胞療法の基礎研究         | 石山 宏平  | 消化器外科      | 1,400,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |
| 大腸癌肝転移に対する新規分子標的治療法の開発                           | 小林 剛   | 消化器外科      | 1,500,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金  |

小計25



|  |        |            |            |    |                    |
|--|--------|------------|------------|----|--------------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援              | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科 | 700,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 胆管癌の抗癌剤代謝関連酵素発現と感受性解析による個別化治療の確立         | 上村 健一郎 | 消化器外科      | 1,400,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| miRNAによる関節リウマチ滑膜細胞機能プログラミングの誘導           | 山崎 聡士  | リウマチ・膠原病科  | 800,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 滑膜線維芽細胞の脂肪分化誘導における上皮間葉移行分子機序の解明          | 杉山 英二  | リウマチ・膠原病科  | 1,500,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| ①難病ネットワークの構築に関する研究②小児難病ネットワークの構築に関する研究   | 小林 正夫  | 小児科        | 4,400,000  | 補委 | 厚生労働省・広島県・広島市      |
| 慢性皮膚粘膜カンジダ症の新規責任遺伝子の同定とSTAT1異常に伴う分子病態の解析 | 岡田 賢   | 小児科        | 3,400,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| ELISA法によるヒ汗抗原特異的IgEの測定と臨床応用              | 秀 道広   | 皮膚科        | 1,700,000  | 補委 | 独立行政法人科学技術振興機構     |
| 慢性蕁麻疹の病態における組織因子の発現機序の解析                 | 森桶 聡   | 皮膚科        | 1,600,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 磁性化骨髄間葉系細胞の磁気ターゲティングによる骨・軟骨再生            | 越智 光夫  | 整形外科       | 14,560,000 | 補委 | 独立行政法人科学技術振興機構     |
| miRNAを含むエクソソームを用いた骨腫瘍治療への応用              | 久保 忠彦  | 整形外科       | 1,500,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 運動器損傷に対する血管新生および組織特異的マイクロRNAによる新規治療開発    | 越智 光夫  | 整形外科       | 5,500,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 新規細胞間コミュニケーション因子であるエクソソームによる組織再生機構の解明    | 越智 光夫  | 整形外科       | 17,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 脳科学的根拠のある利き手・非利き手別リハビリテーションプログラムの開発      | 中西 一義  | 整形外科       | 800,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 脳磁図を用いた運動・感覚障害の客観的評価法の開発                 | 中西 一義  | 整形外科       | 500,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 分泌型microRNAによる運動器疾患への治療戦略                | 越智 光夫  | 整形外科       | 3,200,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた新たな骨格筋再生療法の開発             | 横田 和典  | 形成外科       | 1,100,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 有限要素法モデルによる前胸部ケロイドの生体力学解析                | 宮本 純平  | 形成外科       | 1,000,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| リアノジン受容体が関連する先天性筋疾患が悪性高熱症を発症する可能性        | 原木 俊明  | 麻酔科        | 900,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 各種腎臓疾患における無血清培地を用いた間葉系幹細胞の治療効果:臨床応用を目指して | 上野 敏憲  | 腎臓内科       | 1,800,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| ヒト末梢血CD133陽性細胞移植を用いた新たな勃起不全治療アプローチの開発    | 井上 省吾  | 泌尿器科       | 1,400,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| メタボリック症候群と前立腺癌に関与するFGFの分子機構解明と新たな治療戦略確立  | 井上 省吾  | 泌尿器科       | 1,500,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 前立腺癌の神経内分泌分化に関わる新規バイオマーカーの同定と診断・治療への応用   | 井上 省吾  | 泌尿器科       | 1,200,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |
| 産婦人科専門医育成プログラム                           | 工藤 美樹  | 産科婦人科      | 1,400,000  | 補委 | 財団法人広島県地域保健医療推進機構  |
| 小児放射線診断の最適化に関する研究                        | 谷 千尋   | 放射線診断科     | 1,000,000  | 補委 | 独立行政法人国立成育医療研究センター |
| 新しい革新的な診断法の開発のための研究                      | 栗井 和夫  | 放射線診断科     | 500,000    | 補委 | 独立行政法人国立がん研究センター   |
| 64列検出器CTを用いた海綿骨骨梁構造解析による骨粗鬆症性脊椎骨折のリスク評価  | 高須 深雪  | 放射線診断科     | 300,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金      |

小計25

|  |        |            |            |        |                  |
|--|--------|------------|------------|--------|------------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援              | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科 | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ガドホトリウム造影肝MRIにおける抗癌剤の腫瘍描出能への検討           | 中村 優子  | 放射線診断科     | 500,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 異時相画像データおよび非剛体変形統合法を用いた低線量冠動脈CTの開発       | 立神 史稔  | 放射線診断科     | 1,300,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 低線量多時相 Dual Energy CT による尿路系腫瘍検出能の改善     | 本田 有紀子 | 放射線診断科     | 1,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム                     | 永田 靖   | 放射線治療科     | 12,542,000 | 補<br>委 | 文部科学省            |
| 肺・肝腫瘍に対する機能画像を用いた高精度放射線治療の開発             | 木村 智樹  | 放射線治療科     | 1,700,000  | 補<br>委 | 独立行政法人科学技術振興機構   |
| 放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究                | 永田 靖   | 放射線治療科     | 700,000    | 補<br>委 | 独立行政法人国立がん研究センター |
| ATRX/DRXX遺伝子変異による神経芽腫のテロメア伸長機序と臨床応用      | 鬼武 美幸  | 小児外科       | 1,700,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 小児期の放射線、化学療法がもたらすゲノム異常と遺伝的影響に関する検討       | 鬼武 美幸  | 小児外科       | 2,900,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 特異性肺線維症急性増悪の人種差に着目した病態解明と新規バイオマーカー開発     | 大下 慎一郎 | 高度救命救急センター | 900,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 治療効果予測システムの開発                            | 杉山 一彦  | がん化学療法科    | 1,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ECによる心血管イベント抑制効果の詳細な分子機序の解明と生体における作用の検討  | 永安 慎太郎 | 歯科保存診療科    | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| Wntシグナルを標的とした生体由来成分を用いた直接覆髄材の開発          | 藤井 理史  | 歯科保存診療科    | 2,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 多毛症を合併した先天性歯肉増殖症の病態解析                    | 荒川 真   | 歯科保存診療科    | 100,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 尿素を用いた光感受性試薬の開発－エルビウムヤグレーザー併用による歯周治療の確立  | 峯岡 茜   | 歯科保存診療科    | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| イルズグラニンマレイン酸による歯肉上皮細胞機能の分子制御メカニズムの解明     | 藤田 剛   | 歯周診療科      | 1,400,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ペリオステンに着目した歯周病予防法の開発に関する基礎的研究            | 藤田 剛   | 歯周診療科      | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ホモ接合ハプロタイプ法による侵襲性歯周炎の疾患関連遺伝子同定           | 岩田 倫幸  | 歯周診療科      | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 形態付与可能な再生3要素複合体ヒューズの重度破壊歯周組織再生における有用性    | 藤田 剛   | 歯周診療科      | 1,400,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 骨髄間葉系幹細胞からセメント芽細胞への分化誘導と象牙質面へのセメント質形成誘導  | 栗原 英見  | 歯周診療科      | 4,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 低分子リガンドによるTrkBトランスアクチベーションを用いた歯周組織再生療法開発 | 加治屋 幹人 | 歯周診療科      | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| 脳由来神経栄養因子による歯周組織再生における歯肉上皮侵入阻害メカニズムの解明   | 松田 真司  | 歯周診療科      | 1,700,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| E-カドヘリンのプロセシング抑制による口腔癌の浸潤・転移阻止療法に関する研究   | 林堂 安貴  | 顎・口腔外科     | 3,800,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| HBp17/FGFBP蛋白を標的とした口腔癌の分子標的診断・治療法の開発研究   | 林堂 安貴  | 顎・口腔外科     | 2,300,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| NK細胞活性化受容体リガンドをターゲットとした口腔癌に対する個別化治療の開発   | 谷 亮治   | 顎・口腔外科     | 1,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |
| ヒト骨髄由来間葉系幹細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究   | 岡本 康正  | 顎・口腔外科     | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金    |

小計25

|   |        |             |           |        |               |
|---|--------|-------------|-----------|--------|---------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援                   | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科  | 700,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 遺伝性顎口腔疾患特異的ヒトiPS細胞の無血清・無フィーダーでの樹立と発症機序研究      | 山崎 佐知子 | 顎・口腔外科      | 1,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔癌幹細胞ニッチにおけるサイトカインネットワークの解明とその診断・治療への応用      | 林堂 安貴  | 顎・口腔外科      | 3,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔癌細胞自身が発現するVEGF受容体シグナルを標的とした新しい治療法の開発研究      | 林堂 安貴  | 顎・口腔外科      | 1,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔癌転移を制御する細胞接着因子を標的にした核酸医薬のデリバリーシステムの開発       | 林堂 安貴  | 顎・口腔外科      | 900,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 無血清培養系を用いた口腔扁平上皮癌におけるSP細胞の分子・生物学的特性解析         | 伊藤 翼   | 顎・口腔外科      | 2,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 無血清胚様体培養系を用いた顎顔面遺伝性疾患由来ヒトiPS細胞の分化能解析          | 鍋島 巧   | 顎・口腔外科      | 1,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関与する遺伝子の機能解析                 | 中川 貴之  | 口腔顎顔面再建外科   | 1,700,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| ヒト唾液腺腫瘍におけるRHAMM遺伝子の発現及び機能解析                  | 東川 晃一郎 | 口腔顎顔面再建外科   | 900,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 顎骨骨幹異形成症モデルマウスの構築                             | 藤本 伸一  | 口腔顎顔面再建外科   | 300,000   | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔癌のEMTを介した局所浸潤機構の解明                          | 東川 晃一郎 | 口腔顎顔面再建外科   | 2,700,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔癌の浸潤における細胞間相互作用の解明                          | 島末 洋   | 口腔顎顔面再建外科   | 1,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔扁平上皮癌の高度悪性化に関与するサイトカイン誘導性EMTの解析             | 奥井 岳   | 口腔顎顔面再建外科   | 1,300,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 骨伝導性と破骨細胞吸収性を併せ持つ高機能型GBR複合膜の開発                | 太田 耕司  | 口腔顎顔面再建外科   | 1,300,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 神経ペプチドの新規機能の解明と炎症性口腔粘膜疾患への治療応用                | 太田 耕司  | 口腔顎顔面再建外科   | 1,200,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 多孔質セラミックスにおける骨形成メカニズムの解明と臨床応用への基礎的研究          | 多田 美里  | 口腔顎顔面再建外科   | 1,400,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 薬物徐放制御能を有するハイブリッド生体材料の開発                      | 中川 貴之  | 口腔顎顔面再建外科   | 1,200,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 舌圧測定・トレーニング一体型デバイスの開発                         | 津賀 一弘  | 口腔インプラント診療科 | 346,500   | 補<br>委 | 広島県           |
| NF- $\kappa$ Bドメインをバイオプロセッシングした新しい核酸医薬型人工骨の創製 | 久保 隆靖  | 口腔インプラント診療科 | 4,300,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 骨強度を指標とするインプラント即時荷重診断システムの新開発                 | 日浅 恭   | 口腔インプラント診療科 | 1,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 紫外線によるアパタイトの高機能ナノバイオ界面制御法の開発                  | 阿部 泰彦  | 口腔インプラント診療科 | 1,200,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 認知症高齢者の簡易口腔機能定量検査の開発                          | 日浅 恭   | 口腔インプラント診療科 | 1,500,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 臨床データ・プロセッシングに基づいた残存歯咬合支持能力の簡易診断システムの開発       | 阿部 泰彦  | 口腔インプラント診療科 | 1,100,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| バイオプロセッシングを用いる機能性インテリジェント複合インプラントの新開発         | 森田 晃司  | 咬合・義歯診療科    | 1,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 高付加型ポリリン酸を用いたインプラント周囲炎骨欠損に対する再生療法             | 森田 晃司  | 咬合・義歯診療科    | 1,800,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 骨質イノベーションを達成するポリリン酸のバイオアクティブ効果                | 森田 晃司  | 咬合・義歯診療科    | 1,600,000 | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |

小計25

|  |        |            |            |        |               |
|--|--------|------------|------------|--------|---------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援              | 横林 賢一  | 総合内科・総合診療科 | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 在宅歯科診療に適した自浄作用を有する高耐久性ティッシュコンディショナーの開発   | 柄 博紀   | 咬合・義歯診療科   | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 睡眠時・覚醒時プラキズムと心理社会的因子およびTMDの共分散構造分析       | 安部倉 仁  | 咬合・義歯診療科   | 1,900,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 無歯顎者に応用する単独インプラント支持オーバーデンチャーの治療指針の作成     | 森田 晃司  | 咬合・義歯診療科   | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| アモロラスチンによる歯根象牙質の形成促進機構の解明と歯根吸収治療への応用     | 廣瀬 尚人  | 矯正歯科       | 1,700,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 間葉系幹細胞移植による骨再生技術の最適化と顎裂閉鎖治療への応用          | 谷本 幸太郎 | 矯正歯科       | 800,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 機能性アモロゲンペプチドによる歯周組織代謝活性機構の解明と歯根吸収予防への応用  | 吉見 友希  | 矯正歯科       | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 血管誘導能に優れた未分化間葉系幹細胞の骨再生技術の確立と顎裂閉鎖治療への展開   | 鷺見 圭輔  | 矯正歯科       | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 潤滑機能蛋白SZPの発現調節機構の解明と顎関節症に対する新規治療薬の開発     | 光吉 智美  | 矯正歯科       | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 睡眠時無呼吸症候群における新しい口腔内装置の包括的臨床展開            | 上田 宏   | 矯正歯科       | 900,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 変形性顎関節症における間接潤滑能の改善と軟骨修復・再生の有用性          | 國松 亮   | 矯正歯科       | 2,700,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 咬合刺激が歯周組織の血管動態および歯根吸収発現に及ぼす影響の解明         | 本川 雅英  | 矯正歯科       | 1,500,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 医療現場のデータを用いた「配慮表現」の分析手法に関する研究            | 小川 哲次  | 口腔総合診療科    | 900,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| う触原因菌を特異的に溶解する新規溶菌酵素Amlの作用メカニズムの解明       | 小原 勝   | 歯科診療所      | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| F-spondinによる歯槽骨吸収抑制に関する検討                | 北川 雅恵  | 口腔検査センター   | 1,900,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| リボソーム化ラクトフェリンを用いた新規慢性関節リウマチ予防法の開発        | 北川 雅恵  | 口腔検査センター   | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 海洋生物由来生理活性物質の探索と口腔癌幹細胞をターゲットとした分子標的薬への応用 | 新谷 智章  | 口腔検査センター   | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 唾液腺腫瘍の生物学的態度に関わる因子の病理学的、分子生物学的解析         | 北川 雅恵  | 口腔検査センター   | 1,200,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 膝関節回施角度計の開発ー膝前十字靭帯損傷による回施不安定性の精密計測ー      | 木村 浩彰  | リハビリテーション科 | 400,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 変形性膝関節症の疼痛はラテラルスラストが要因か？疼痛を予防する新型装具の開発   | 木村 浩彰  | リハビリテーション科 | 2,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| アンギオテンシンⅡ代謝産物によるアルドステロン分泌制御機構の研究         | 沖 健司   | 医療安全管理部    | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 病院患者用備蓄特別非常食品の研究開発                       | 岡 壽子   | 栄養管理部      | 570,000    | 補<br>委 | 経済産業省         |
| ヒト肝細胞の新生児医療応用への基礎研究                      | 大野 令央義 | 周産母子センター   | 1,300,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 過疎高齢化が進む地域での住民参加型ホビュレーション・ヘルス・マネジメントの展開  | 貞森 拓磨  | 集中治療部      | 1,100,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 高度急性期医療を支援する医療人教育モデル                     | 伊藤 義広  | 診療支援部      | 12,240,000 | 補<br>委 | 文部科学省         |
| 機能的MRIを用いた膝前十字靭帯損傷患者の脳固有感覚ネットワーク再構築の研究   | 平田 和彦  | 診療支援部      | 600,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |

小計25

|  |       |            |            |        |               |
|--|-------|------------|------------|--------|---------------|
| 産休・育休中の女性皮膚科医による在宅・僻地皮膚診療支援              | 横林 賢一 | 総合内科・総合診療科 | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 人工呼吸器装着患者へのリハビリテーション展開に必要な新たな酸化ストレス指標の確立 | 對東 俊介 | 診療支援部      | 700,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 胃SM癌の術前転移予測と分子病理マーカーによる新たな内視鏡的根治判定基準の開発  | 岡 志郎  | 内視鏡診療科     | 600,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 骨髄間葉系幹細胞の大腸癌増殖促進機構におけるメタロチオネインの重要性に関する研究 | 品川 慶  | 内視鏡診療科     | 1,900,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 消化管内視鏡画像解析による客観的指標の構築と診断支援システムへの応用       | 吉田 成人 | 内視鏡診療科     | 1,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 腫瘍の血管新生密度分布計測技術の研究                       | 有廣 光司 | 病理診断科      | 8,000,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 子宮筋腫に対する凍結療法における画像診断学及び組織学的検討            | 吉松 梨香 | 放射線部       | 2,300,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| Bach1により制御される関節軟骨保護機構の解明とZFPによる新規治療法の開発  | 味八木 茂 | 未来医療センター   | 1,800,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| iPS細胞バンクを利用した緊急被ばく対応システムの構築              | 中島 歩  | 未来医療センター   | 900,000    | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 脱細胞化組織と末梢血単核球およびマイクロRNAを用いた関節軟骨再生        | 亀井 直輔 | 未来医療センター   | 1,300,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 変形性関節症における新規関節内コミュニケーション因子としての分泌マイクロRNA  | 味八木 茂 | 未来医療センター   | 6,800,000  | 補<br>委 | 文部科学省科学研究費補助金 |
| 中国・四国ブロックエイズ医療システム構築に関する調査研究             | 藤井 輝久 | 輸血部        | 14,000,000 | 補<br>委 | 厚生労働省         |

小計11  
総合計161

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名   | 発表者の所属 | 題名   | 雑誌名   |
|----|---|--------|--|---|
| 1  | Aoki T, Nishikawa R, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, Mishima K, Adachi J, Kurisu K, Yamasaki F, Tominaga T, Kumabe T, Ueki K, Higuchi F, Yamamoto T, Ishikawa E, Takeshima H, Yamashita S, Arita K, Hirano H, Yamada S, Matsutani M  | 脳神経外科  | A multicenter phase I/II study of the BCNU implant (Gliadel® Wafer) for Japanese patients with malignant gliomas.  | Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(4):290-301. Epub 2013 Nov 29.  |
| 2  | Murakami T, Hama S, Yamashita H, Onoda K, Hibino S, Sato H, Ogawa S, Yamawaki S, Kurisu K.  | 脳神経外科  | Neuroanatomic pathway associated with attentional deficits after stroke.   | Brain Res. 2014 Jan 28;1544:25-32. doi: 10.1016/j.brainres.2013.11.029. Epub 2013 Dec 7.                                |
| 3  | Aoki T, Nishikawa R, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, Mishima K, Adachi J, Kurisu K, Yamasaki F, Tominaga T, Kumabe T, Ueki K, Higuchi F, Yamamoto T, Ishikawa E, Takeshima H, Yamashita S, Arita K, Hirano H, Yamada S, Matsutani M. | 脳神経外科  | A Multicenter Phase I/II Study of the BCNU Implant (Gliadel <sup>®</sup> Wafer) for Japanese Patients with Malignant Gliomas.                                    | Neurol Med Chir (Tokyo). 2013 Nov 29.   |
| 4  | Kinoshita Y, Tominaga A, Saitoh T, Usui S, Takayasu T, Arita K, Sakoguchi T, Sugiyama K, Kurisu K.  | 脳神経外科  | Postoperative fever specific to neuroendoscopic procedures.  | Neurosurg Rev. 2013 Nov 14.   |
| 5  | Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sugiyama K, Kurisu K.   | 脳神経外科  | Impact of subclinical haemorrhage on the pituitary gland in patients with pituitary adenomas.  | Clin Endocrinol (Oxf). 2014 May;80(5):720-5. doi: 10.1111/cen.12349. Epub 2013 Nov 9.                                   |
| 6  | Kagawa K, Iida K, Kakita A, Katagiri M, Nishimoto T, Hashizume A, Kiura Y, Hanaya R, Sugiyama K, Arihiro K, Arita K, Kurisu K.  | 脳神経外科  | Electrocorticographic-histopathologic correlations implying epileptogenicity of dysembryoplastic neuroepithelial tumor.  | Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53(10):676-87. Epub 2013 Sep 27.  |
| 7  | Sakamoto S, Kiura Y, Kajihara Y, Shibukawa M, Okazaki T, Matsushige T, Shinagawa K, Mukada K, Kurisu K.   | 脳神経外科  | Carotid artery stenting using the proximal or dual protection method for near occlusion of the cervical internal carotid artery.                                 | Neurosurg Rev. 2013 Oct;36(4):551-7; discussion 557-8. doi: 10.1007/s10143-013-0481-y. Epub 2013 Jun 21.                |
| 8  | Murakami T, Hama S, Yamashita H, Onoda K, Kobayashi M, Kanazawa J, Yamawaki S, Kurisu K.  | 脳神経外科  | Neuroanatomic pathways associated with poststroke affective and apathetic depression.  | Am J Geriatr Psychiatry. 2013 Sep;21(9):840-7. doi: 10.1016/j.jagp.2013.01.057. Epub 2013 Feb 6.                        |
| 9  | Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Kurisu K.  | 脳神経外科  | A Rathke's cleft cyst located entirely in the anterior pituitary lobe.   | Acta Neurochir (Wien). 2013 Jun;155(6):1085-6. doi: 10.1007/s00701-013-1666-4. Epub 2013 Mar 12. No abstract available. |
| 10 | Matsushige T, Kiura Y, Sakamoto S, Okazaki T, Shinagawa K, Ichinose N, Takasu M, Akiyama Y, Sugiyama K, Kurisu K.   | 脳神経外科  | Multiple antiplatelet therapy contributes to the reversible high signal spots on diffusion-weighted imaging in elective coiling of unruptured cerebral aneurysm. | Neuroradiology. 2013 Mar;55(4):449-57. doi: 10.1007/s00234-013-1137-x. Epub 2013 Jan 12.                                |

計10

|    |  |            |  |   |
|----|--|------------|--|---|
| 11 | Sadatomo T, Yuki K, Migita K, Imada Y, Kuwabara M, Kurisu K.   | 脳神経外科      | Differences between middle cerebral artery bifurcations with normal anatomy and those with aneurysms.  | Neurosurg Rev. 2013 Jul;36(3):437-45. doi: 10.1007/s10143-013-0450-5. Epub 2013 Jan 26.                 |
| 12 | Sakamoto S, Kiura Y, Kajihara Y, Mukada K, Kurisu K.   | 脳神経外科      | Endovascular stenting of symptomatic innominate artery stenosis under distal balloon protection of the internal carotid and vertebral artery for cerebral protection: a technical case report. | Acta Neurochir (Wien). 2013 Feb;155(2):277-80. doi: 10.1007/s00701-012-1586-8. Epub 2012 Dec 20.        |
| 13 | Hashimoto N, Hama S, Yamane K, Kurisu K.   | 脳神経外科      | Carotid arterial intraplaque hemorrhage and calcification influences cerebral hemodynamics.  | Neurosurg Rev. 2013 Jul;36(3):421-7. doi: 10.1007/s10143-012-0445-7. Epub 2012 Dec 14.                  |
| 14 | Yamaguchi S, Takeda M, Mitsuhashi T, Kajihara S, Mukada K, Eguchi K, Kajihara Y, Takemoto K, Sugiyama K, Kurisu K. | 脳神経外科      | Application of 4D-CTA using 320-row area detector computed tomography on spinal arteriovenous fistulae: initial experience.  | Neurosurg Rev. 2013 Apr;36(2):289-96; discussion 296. doi: 10.1007/s10143-012-0440-z. Epub 2012 Nov 30. |
| 15 | Yan HD, Ishihara K, Seki T, Hanaya R, Kurisu K, Arita K, Serikawa T, Sasa M.                                       | 脳神経外科      | Inhibitory effects of levetiracetam on the high-voltage-activated L-type Ca <sup>2+</sup> channels in hippocampal CA3 neurons of spontaneously epileptic rat (SER).                            | Brain Res Bull. 2013 Jan;90:142-8. doi: 10.1016/j.brainresbull.2012.10.006. Epub 2012 Oct 27.           |
| 16 | Saito T, Maruyama T, Muragaki Y, Tanaka M, Nitta M, Shinoda J, Aki T, Iseki H, Kurisu K, Okada Y.                  | 脳神経外科      | 11C-methionine uptake correlates with combined 1p and 19q loss of heterozygosity in oligodendroglial tumors.   | AJNR Am J Neuroradiol. 2013 Jan;34(1):85-91. doi: 10.3174/ajnr.A3173. Epub 2012 Jul 5.                  |
| 17 | Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sakoguchi T, Sugiyama K, Kurisu K.                                       | 脳神経外科      | The arginine and GHRP-2 tests as alternatives to the insulin tolerance test for the diagnosis of adult GH deficiency in Japanese patients: a comparison.                                       | Endocr J. 2013 Jan 31;60(1):97-105. Epub 2012 Oct 19.   |
| 18 | Taito S, Domen S, Sekikawa K, Kamikawa N, Oura K, Kimura T, Takahashi M, Hamada H.                                 | 呼吸器内科      | Cigarette smoking does not induce plasma or pulmonary oxidative stress after moderate-intensity exercise.  | J Phys Ther Sci 2014 Mar;26(3):413-5. doi: 10.1589/jpts.26.413. Epub 2014 Mar 25.                       |
| 19 | Yokobayashi K, Matsushima M, Watanabe T, Fujinuma Y, Tazuma S.   | 総合内科・総合診療科 | Prospective cohort study of fever incidence and risk in elderly persons living at home.  | BMJ Open 2014 Jul 9;4(7):e004998. doi: 10.1136/bmjopen-2014-004998.                                     |
| 20 | Tazuma S, Igarashi Y, Inui K, Ohara H, Tsuyuguchi T, Ryoza S; The BTI Therapy Research Group                       | 総合内科・総合診療科 | Clinical efficacy of intravenous doripenem in patients with acute biliary tract infection: a multicenter, randomized, controlled trial with imipenem/cilastatin as comparator.                 | J Gastroenterol 2014 May 3  |

計10

|    |   |   |                     |   |   |
|----|---|---|---------------------|---|---|
| 21 | Naito T, Mizooka M, Mitsumoto F, Kanazawa K, Torikai K, Ohno S, Morita H, Ukimura A, Mishima N, Otsuka F, Ohyama Y, Nara N, Murakami K, Mashiba K, Akazawa K, Yamamoto K, Senda S, Yamanouchi M, Tazuma S, Hayashi J. |   | 総合内科・総合診療科          | Diagnostic workup for fever of unknown origin: a multicenter collaborative retrospective study.   | BMJ Open 2013 Dec 20;3(12):e003971. doi: 10.1136/bmjopen-2013-003971.   |
| 22 | Tanaka A, Tazuma S, Okazaki K, Tsubouchi H, Inui K, Takikawa H.   |   | 総合内科・総合診療科          | Nationwide survey for primary sclerosing cholangitis and IgG4-related sclerosing cholangitis in Japan.  | J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 Jan;21(1):43-50. doi: 10.1002/jhbp.50. Epub 2013 Oct 29.                         |
| 23 | Tazuma S, Kanno K, Sugiyama A, Kishikawa N.   |   | 総合内科・総合診療科          | Nutritional factors (nutritional aspects) in biliary disorders: bile acid and lipid metabolism in gallstone diseases and pancreaticobiliary maljunction.          | J Gastroenterol Hepatol 2013 Dec;28 Suppl 4:103-7. doi: 10.1111/jgh.12241.  |
| 24 | Fujita K, Sugiyama A, Otoshi K, Taogoshi T, Kimura Y, Kishikawa N, Kodama M, Kanno K, Kihira K, Tazuma S.   |   | 総合内科・総合診療科          | Partial characterization of proapoptotic action of biliary deteriorated lipids on biliary epithelial cells in pancreaticobiliary diseases.                        | J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 Mar;21(3):212-8. doi: 10.1002/jhbp.20. Epub 2013 Jul 25.                         |
| 25 | Suzuki Y, Sugiyama M, Inui K, Igarashi Y, Ohara H, Tazuma S, Tsuji T, Miyakawa H, Atomi Y.  |   | 総合内科・総合診療科          | Management for pancreatolithiasis: a Japanese multicenter study.  | Pancreas. 2013 May;42(4):584-8. doi: 10.1097/MPA.0b013e31827308c8.  |
| 26 | Yokobayashi K, Matsushima M, Fujinuma Y, Tazuma S.  |   | 総合内科・総合診療科          | Retrospective cohort study of the incidence and risk of fever in elderly people living at home: a pragmatic aspect of home medical management in Japan.           | Geriatr Gerontol Int 2013 Oct;13(4):887-93. doi: 10.1111/ggi.12024. Epub 2013 Jan 7.                                |
| 27 | Okamoto M, Kanno K, Egi H, Ohdan H, Tazuma S  |   | 総合内科・総合診療科・消化器・移植外科 | A case of paraneoplastic syndrome mimicking adult Still's disease caused by rectal cancer.  | J Am Geriatr Soc. 61(7):1243-1245.  |
| 28 | Kono T  | 他 | 脳神経内科               | The association between hypertensive vessel sign and final ischemic lesion differ in its location.  | J Stroke Cerebrovasc Dis 2014 Jul;23(6):1337-43. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2013.11.009. Epub 2014 Jan 11. |
| 29 | Matsumoto M   | 他 | 脳神経内科               | Rivaroxaban versus warfarin in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation in relation to hypertension: a subgroup analysis of the J-ROCKET AF trial. | Hypertens Res 2014 May;37(5):457-62. doi: 10.1038/hr.2014.1. Epub 2014 Jan 30.                                      |
| 30 | Nakamori M  | 他 | 脳神経内科               | Molecular markers for granulovacuolar degeneration are present in rimmed vacuoles.  | PLoS One 2013 Nov 28;8(11):e80995. doi: 10.1371/journal.pone.0080995 . eCollection 2013.                            |

計10



|    |   |   |       |  |   |
|----|---|---|-------|--|---|
| 31 | Hosomi N  | 他 | 脳神経内科 | Do RAS inhibitors protect the brain from cerebral ischemic injury?   | Curr Hypertens Rev 2013 May;9(2):86-92.   |
| 32 | Kurashige T   | 他 | 脳神経内科 | Elevated urinary $\beta$ 2 microglobulin in the first identified Japanese family afflicted by X-linked myopathy with excessive autophagy.  | Neuromuscul Disord 2013 Nov;23(11):911-6. doi: 10.1016/j.nmd.2013.06.003. Epub 2013 Jul 11.           |
| 33 | Nezu T  | 他 | 脳神経内科 | Alpha2-macroglobulin as a promising biomarker for cerebral small vessel disease in acute ischemic stroke patients.   | J Neurol 2013 Oct;260(10):2642-9. doi: 10.1007/s00415-013-7040-x. Epub 2013 Jul 23.                   |
| 34 | Sugimoto T  | 他 | 脳神経内科 | Ultrasonographic reference sizes of the median and ulnar nerves and the cervical nerve roots in healthy Japanese adults.   | Ultrasound Med Biol 2013 Sep;39(9):1560-70. doi: 10.1016/j.ultrasmedbio.2013.03.031. Epub 2013 Jul 3. |
| 35 | Sugimoto T  | 他 | 脳神経内科 | Ultrasonographic nerve enlargement of the median and ulnar nerves and the cervical nerve roots in patients with demyelinating Charcot-Marie-Tooth disease: distinction from patients with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy. | J Neurol 2013 Oct;260(10):2580-7. doi: 10.1007/s00415-013-7021-0. Epub 2013 Jul 3.                    |
| 36 | Nishikawa T   | 他 | 脳神経内科 | Phosphatidylinositol-4,5-bisphosphate is enriched in granulovacuolar degeneration bodies and neurofibrillary tangles.  | Neuropathol Appl Neurobiol 2014 Jun;40(4):489-501. doi: 10.1111/nan.12056.                            |
| 37 | Takeda I  | 他 | 脳神経内科 | Fiber type-specific expression of low-density lipoprotein receptor-related protein 6 in human skeletal muscles.  | Pathobiology 2014;81(2):94-9. doi: 10.1159/000357238. Epub 2014 Jan 23.                               |
| 38 | Fuji H  | 他 | 脳神経内科 | Dural arteriovenous fistula presenting with progressive dementia and parkinsonism.   | BMJ Case Rep 2014 Jun 2;2014. pii: bcr2014203921. doi: 10.1136/bcr-2014-203921.                       |
| 39 | Morimoto A  | 他 | 脳神経内科 | Ineffective melioquine therapy in progressive multifocal leukoencephalopathy complicated with malignant lymphoma: finding and usefulness of susceptibility-weighted imaging  | Rinsho Shinkeigaku 2013;53(10):843-7.   |
| 40 | Yoshimura Y, Okamoto Y, Onoda K, Okada G, Toki S, Yoshino A, Yamashita H, Yamawaki S. |   | 精神科   | Psychosocial functioning is correlated with activation in the anterior cingulate cortex and left lateral prefrontal cortex during a verbal fluency task in euthymic bipolar disorder: a preliminary fMRI study.                              | Psychiatry Clin Neurosci. 68(3):188-196, 2014.  |

計10

|    |   |       |  |   |
|----|---|-------|--|---|
| 41 | Okada S, Morinobu S, Fuchikami M, Segawa M, Yokomaku K, Kataoka T, Okamoto Y, Yamawaki S, Inoue T, Kusumi I, Koyama T, Tsuchiyama K, Terao T, Kokubo Y, Mimura M.   | 精神科   | The potential of SLC6A4 gene methylation analysis for the diagnosis and treatment of major depression.   | J Psychiatr Res. 53:47-53, 2014.  |
| 42 | Yoshino A, Okamoto Y, Kunisato Y, Yoshimura S, Jinjin R, Hayashi Y, Kobayakawa M, Doi M, Oshita K, Nakamura R, Tanaka K, Yamashita H, Kawamoto M, Yamawaki S.   | 精神科   | Distinctive spontaneous regional neural activity in patients with somatoform pain disorder: a preliminary resting-state fMRI study.                                | Psychiatry Res. 221(3):246-248, 2014.   |
| 43 | Yoshino A, Okamoto Y, Yoshimura S, Shishida K, Toki S, Doi M, Machino A, Fukumoto T, Yamashita H, Yamawaki S.   | 精神科   | Distinctive neural responses to pain stimuli during induced sadness in patients with somatoform pain disorder: An fMRI study.                                      | Neuroimage Clin. 12(2):782-789, 2013.   |
| 44 | Toki S, Okamoto Y, Onoda K, Matsumoto T, Yoshimura S, Kunisato Y, Okada G, Shishida K, Kobayakawa M, Fukumoto T, Machino A, Inagaki M, Yamawaki S.  | 精神科   | Hippocampal activation during associative encoding of word pairs and its relation to symptomatic improvement in depression: a functional and volumetric MRI study. | J Affect Disord. 2014 Jan;152-154:462-467, 2014.                                      |
| 45 | Iwamoto H, Gao J, Pulkkinen V, Toljamo T, Nieminen P, Mazur W.  | 呼吸器内科 | Soluble receptor for advanced glycation end-products and progression of airway disease.  | BMC Pulm Med. 2014 Apr 24;14:68. doi: 10.1186/1471-2466-14-68.                        |
| 46 | Iwamoto H, Gao J, Koskela J, Kinnula V, Kobayashi H, Laitinen T, Mazur W.   | 呼吸器内科 | Differences in plasma and sputum biomarkers between COPD and COPD+asthma overlap.  | Eur Respir J. 2014 Feb;43(2):421-9. doi: 10.1183/09031936.00024313. Epub 2013 Jun 21. |
| 47 | Bonella F, Ohshimo S, Miaotian C, Griese M, Guzman J, Costabel U.   | 呼吸器内科 | Serum KL-6 is a predictor of outcome in pulmonary alveolar proteinosis.  | Orphanet J Rare Dis. 2013 Apr 4;8:53. doi: 10.1186/1750-1172-8-53.                    |
| 48 | Okamoto T, Miyazaki Y, Ogura T, Chida K, Kohno N, Kohno S, Taniguchi H, Akagawa S, Mochizuki Y, Yamauchi K, Takahashi H, Johkoh T, Homma S, Kishi K, Ikushima S, Konno S, Mishima M, Ohta K, Nishioka Y, Yoshimura N, Munakata M, Watanabe K, Miyashita Y, Inase N. | 呼吸器内科 | A nationwide epidemiological survey of chronic hypersensitivity pneumonitis in Japan.  | Respiratory Investigation 51: 191-199   |
| 49 | Yamane T, Yokoyama A, Kitahara Y, Miyamoto S, Haruta Y, Hattori N, Yamane K, Hara T, Kohno N.   | 呼吸器内科 | Cross-sectional and prospective study of the association between lung function and prediabetes.  | BMJ open 3: e002179   |
| 50 | Taito S, Sekikawa K, Oura K, Kamikawa N, Matsuki R, Kimura T, Takahashi M, Inamizu T, Hamada H.   | 呼吸器内科 | Plasma oxidative stress is induced by single-sprint anaerobic exercise in young cigarette smokers.   | Clinical Physiology and Functional Imaging 33: 241-244                                |

計10

|    |  |       |  |   |
|----|--|-------|--|---|
| 51 | Miyoshi S, Hamada H, Ito R, Katayama H, Irifune K, Suwaki T, Nakanishi N, Kanematsu T, Dote K, Aibiki M, Higaki J.                 | 呼吸器内科 | Usefulness of a selective neutrophil elastase inhibitor, Sivelestat, in acute lung injury patients with systemic inflammatory response syndrome. | Drug Design, Development and Therapy 7: 305-315   |
| 52 | Matsuki R, Kisaka T, Ozono R, Sata Y, Tashiro N, Hidaka T, Oda N, Ito Y, Takahashi M, Sekikawa K, Kimura H, Hamada H, Kihara Y.    | 呼吸器内科 | Characteristics of patients with severe heart failure exhibiting exercise oscillatory ventilation.   | Clinical and Experimental Hypertension 35: 267-72 |
| 53 | Ishii K, Matsukawa K, Liang N, Endo K, Idesako M, Hamada H, Ueno K, Kataoka T.   | 呼吸器内科 | Evidence for centrally induced cholinergic vasodilatation in skeletal muscle during voluntary one-legged cycling and motor imagery in humans.    | Physiological Reports 1: e00092                   |
| 54 | Sato H, Takemura Y, Hamada H, Sekido Y, Kubota S.  | 呼吸器内科 | EGCG induces human mesothelioma cell death by inducing reactive oxygen species and autophagy.  | Cancer Cell International 13:19:00                |
| 55 | Kitahara Y, Hattori N, Yokoyama A, Yamane K, Sekikawa K, Inamizu T, Kohno N.   | 呼吸器内科 | Cigarette smoking decreases dynamic inspiratory capacity during maximal exercise in patients with type 2 diabetes.                               | Hiroshima J Med Sci 61: 29-36                     |
| 56 | Nakashima T, Liu T, Yu H, Ding L, Ullenbruch M, Hu B, Wu Z, Oguro H, Phan SH.  | 呼吸器内科 | Lung bone marrow-derived hematopoietic progenitor cells enhance pulmonary fibrosis.  | Am J Respir Crit Care Med 188: 976-984            |
| 57 | Ding L, Dolgachev V, Wu Z, Liu T, Nakashima T, Wu Z, Ullenbruch M, Lukacs NW, Chen Z, Phan SH.                                     | 呼吸器内科 | Essential role of stem cell factor-c-Kit signalling pathway in bleomycin-induced pulmonary fibrosis.   | J Pathol 230: 205-214                             |
| 58 | Oshita H, Nishino R, Takano A, Fujitomo T, Aragaki M, Kato T, Akiyama H, Tsuchiya E, Kohno N, Nakamura Y, Daigo Y.                 | 呼吸器内科 | RASEF is a novel diagnostic biomarker and a therapeutic target for lung cancer.  | Mol Cancer Res 11: 937-951                        |
| 59 | Masuda T, Hattori N, Senoo T, Akita S, Ishikawa N, Fujitaka K, Haruta Y, Murai H, Kohno N.   | 呼吸器内科 | SK-216, an inhibitor of plasminogen activator inhibitor-1, limits tumor progression and angiogenesis.  | Molecular Cancer Therapeutics 12: 2378-2388       |
| 60 | Sugiyama A, Hattori N, Haruta Y, Nakamura I, Nakagawa M, Miyamoto S, Onari Y, Iwamoto H, Ishikawa N, Fujitaka K, Murai H, Kohno N. | 呼吸器内科 | Characteristics of inspiratory and expiratory reactance in interstitial lung disease.  | Respir Med 107: 875-882                           |

計10

|    |  |         |  |  |
|----|--|---------|--|--|
| 61 | Okada, M., Mimae, T., Tsutani, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Miyata, Y.  | 原医研腫瘍外科 | Segmentectomy versus lobectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma   | Ann Cardiothorac Surg. 2014 Mar;3(2):153-9. doi: 10.3978/j.issn.2225-319X.2014.02.10.                          |
| 62 | Okada, M.  | 原医研腫瘍外科 | Radical sublobar resection for small-diameter lung cancers   | Thoracic Surgery Clinics 2013 Aug;23(3):301-11. doi: 10.1016/j.thorsurg.2013.04.003. Epub 2013 May 10.         |
| 63 | Okada, M.  | 原医研腫瘍外科 | Subtyping Lung Adenocarcinoma According to the Novel 2011 IASLC/ATS/ERS Classification: Correlation with Patient Prognosis   | Thoracic Surgery Clinics 2013 May;23(2):179-86. doi: 10.1016/j.thorsurg.2013.01.001. Epub 2013 Feb 7.          |
| 64 | Hihara, J., Hamai, Y., Emi, M., Aoki, Y., Taomoto, J., Miyata, Y., Okada, M.   | 原医研腫瘍外科 | Esophageal bypass operation prior to definitive chemoradiotherapy in advanced esophageal cancer with tracheobronchial invasion   | The Annals of Thoracic Surgery 2014 Jan;97(1):290-5. doi: 10.1016/j.athoracsur.2013.08.060. Epub 2013 Nov 5.   |
| 65 | Kadoya, T., Aogi, K., Kiyoto, S., Masumoto, N., Sugawara, Y., Okada, M.  | 原医研腫瘍外科 | Role of maximum standardized uptake value in fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography predicts malignancy grade and prognosis of operable breastcancer: a multi-institute study | Breast Cancer Research and Treatment 2013 Sep;141(2):269-75. doi: 10.1007/s10549-013-2687-7. Epub 2013 Sep 13. |
| 66 | Hamai, Y., Hihara, J., Emi, M., Taomoto, J., Aoki, Y., Kishimoto, I., Ibuki, Y., Okada, M.   | 原医研腫瘍外科 | Treatment outcomes and prognostic factors for thoracic esophageal cancer with clinical evidence of adjacent organ invasion   | Anticancer Research 2013 Aug;33(8):3495-502  |
| 67 | Mimae, T., Hagiwara, M., Inoue, T., Yoneshige, A., Kato, T., Okada, M., Murakami, Y., Ito, A.  | 原医研腫瘍外科 | Increased ectodomain shedding of lung epithelial cell adhesion molecule 1 as a cause of increased alveolar cell apoptosis in emphysema   | Thorax 2014 Mar;69(3):223-31. doi: 10.1136/thoraxjnl-2013-203867. Epub 2013 Oct 2.                             |
| 68 | Ibuki, Y., Hamai, Y., Hihara, J., Taomoto, J., Kishimoto, I., Miyata, Y., Okada, M.  | 原医研腫瘍外科 | Emergency escape surgery for a gastro-bronchial fistula with respiratory failure that developed after esophagectomy  | Surgical Today 2014 Jan 22   |
| 69 | Sakogawa, K., Aoki, Y., Misumi, K., Hamai, Y., Emi, M., Hihara, J., Shi, L., Kono, K., Horikoshi, Y., Sun, J., Ikura, T., Okada, M., Tashiro, S. | 原医研腫瘍外科 | Involvement of homologous recombination in the synergism between cisplatin and poly (ADP-ribose) polymerase inhibition   | Cancer Science 2013 Dec;104(12):1593-9. doi: 10.1111/cas.12281. Epub 2013 Oct 10.                              |
| 70 | Hamai Y, Hihara J, Taomoto J, Yamakita I, Ibuki Y, Okada M   | 原医研腫瘍外科 | Effects of neoadjuvant chemoradiotherapy on postoperative morbidity and mortality associated with esophageal cancer  | Dis Esophagus 2014 Mar 11. doi: 10.1111/dote.12207.  |

計10

|    |  |         |  |  |
|----|--|---------|--|--|
| 71 | Ito, M., Yamashita, Y., Tsutani, Y., Misumi, K., Harada, H., Miyata, Y., Okada, M.   | 原医研腫瘍外科 | Classifications of N2 Non-Small-Cell Lung Cancer Based on the Number and Rate of Metastatic Mediastinal Lymph Nodes  | Clinical Lung Cancer 2013 Nov;14(6):651-7. doi: 10.1016/j.clcc.2013.04.012.                                  |
| 72 | Ito, M., Hagiya, M., Mimae, T., Inoue, T., Kato, T., Yoneshige, A., Nakanishi, J., Kondo, T., Okada, M., Ito, A.               | 原医研腫瘍外科 | Alpha-Parvin, a Pseudopodial Constituent, Promotes Cell Motility and is Associated with Lymph Node Metastasis of Lobular Breast Carcinoma  | Breast Cancer Research and Treatment 2014 Feb;144(1):59-69. doi: 10.1007/s10549-014-2859-0. Epub 2014 Feb 5. |
| 73 | Ito, M., Miyata, Y., Kushitani, K., Yoshiya, T., Mimae, T., Iibuki, Y., Misumi, K., Takeshima, Y., Okada, M.                   | 原医研腫瘍外科 | Prediction for prognosis of resected pT1a-1bN0M0 adenocarcinoma based on tumor size and histological status: Relationship of TNM and IASLC/ATS/ERS classifications                 | Lung Cancer 2014 Aug;85(2):270-5. doi: 10.1016/j.lungcan.2014.05.014. Epub 2014 May 21.                      |
| 74 | Okita R, Miyata Y, Hamai Y, Hihara J, Okada M  | 原医研腫瘍外科 | Lung Abscess Presenting as Tension Pyopneumothorax in a Gastrointestinal Cancer Patient  | Ann Thorac Cardiovasc Surg 2013 Nov 8.   |
| 75 | Tsutani Y, Miyata Y, Nakayama H, Okumura S, Adachi S, Yoshimura M, Okada M   | 原医研腫瘍外科 | Solid tumor size on high-resolution computed tomography and maximum standardized uptake on positron emission tomography for new clinical T descriptors with T1 lung adenocarcinoma | Ann Oncol 2013 Sep;24(9):2376-81. doi: 10.1093/annonc/mdt230. Epub 2013 Jun 20.                              |
| 76 | Tsutani Y, Miyata Y, Mimae T, Kushitani K, Takeshima Y, Yoshimura M, Okada M   | 原医研腫瘍外科 | The prognostic role of pathologic invasive component size, excluding lepidic growth, in stage I lung adenocarcinoma  | J Thorac Cardiovasc Surg 2013 Sep;146(3):580-5. doi: 10.1016/j.jtcvs.2013.04.032. Epub 2013 Jun 15.          |
| 77 | Ohara M, Shigematsu H, Tsutani Y, Emi A, Masumoto N, Ozaki S, Kadoya T, Okada M  | 原医研腫瘍外科 | Role of FDG-PET/CT in evaluating surgical outcomes of operable breast cancer--usefulness for malignant grade of triple-negative breast cancer                                      | Breast 2013 Oct;22(5):958-63. doi: 10.1016/j.breast.2013.05.003. Epub 2013 Jun 10.                           |
| 78 | Aoki Y, Sakogawa K, Hihara J, Emi M, Hamai Y, Kono K, Shi L, Sun J, Kitao H, Ikura T, Niida H, Nakanishi M, Okada M, Tashiro S | 原医研腫瘍外科 | Involvement of ribonucleotide reductase-M1 in 5-fluorouracil-induced DNA damage in esophageal cancer cell lines  | Int J Oncol 2013 Jun;42(6):1951-60. doi: 10.3892/ijo.2013.1899. Epub 2013 Apr 16.                            |
| 79 | Tsutani Y, Takuwa T, Miyata Y, Fukuoka K, Hasegawa S, Nakano T, Okada M  | 原医研腫瘍外科 | Prognostic significance of metabolic response by positron emission tomography after neoadjuvant chemotherapy for resectable malignant pleural mesothelioma                         | Ann Oncol 2013 Apr;24(4):1005-10. doi: 10.1093/annonc/mds537. Epub 2012 Nov 7.                               |
| 80 | Tsutani Y, Miyata Y, Nakayama H, Okumura S, Adachi S, Yoshimura M, Okada M   | 原医研腫瘍外科 | Oncologic outcomes of segmentectomy compared with lobectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma: propensity score-matched analysis in a multicenter study                    | J Thorac Cardiovasc Surg 2013 Aug;146(2):358-64. doi: 10.1016/j.jtcvs.2013.02.008. Epub 2013 Mar 8.          |

計10

|    |   |         |   |   |
|----|---|---------|---|---|
| 81 | Tsutani Y, Miyata Y, Yamanaka T, Nakayama H, Okumura S, Adachi S, Yoshimura M, Okada M  | 原医研腫瘍外科 | Solid tumors versus mixed tumors with a ground-glass opacity component in patients with clinical stage IA lung adenocarcinoma: prognostic comparison using high-resolution computed tomography findings | J Thorac Cardiovasc Surg 2013 Jul;146(1):17-23. doi: 10.1016/j.jtcvs.2012.11.019. Epub 2012 Dec 13.       |
| 82 | Kitagawa T, Yamamoto H, Urabe Y, Tsushima H, Utsunomiya H, Tatsugami F, Awai K, Kihara Y.   | 循環器内科   | Age- and sex-related differences in coronary plaque high-risk features in patients with acute coronary syndrome assessed by computed tomography angiography.  | Int J Cardiol. 2014 Apr 14. pii: S0167-5273(14)00748-7.   |
| 83 | Utsunomiya H, Yamamoto H, Kunita E, Hidaka T, Kihara Y.   | 循環器内科   | Insulin resistance and subclinical abnormalities of global and regional left ventricular function in patients with aortic valve sclerosis.  | Cardiovasc Diabetol. 2014 Apr 27;13(1):86.  |
| 84 | Fujimoto S, Kondo T, Yamamoto H, Yokoyama N, Tarutani Y, Takamura K, Urabe Y, Konno K, Nishizaki Y, Shinozaki T, Kihara Y, Daida H, Isshiki T, Takase S, Fujimoto S, Kondo T, Yamamoto H, Yokoyama N, Tarutani Y, Takamura K, Urabe Y, Konno K, Nishizaki Y, Shinozaki T, Kihara Y, Daida H, Isshiki T, Takase S. | 循環器内科   | Development of new risk score for pre-test probability of obstructive coronary artery disease based on coronary CT angiography.   | Heart Vessels. 2014 Apr 27. [Epub ahead of print]   |
| 85 | Utsunomiya H, Yamamoto H, Kitagawa T, Kunita E, Urabe Y, Tsushima H, Hidaka T, Awai K, Kihara Y.  | 循環器内科   | Association between heart calcification assessed by echocardiography and future cardiovascular disease mortality and morbidity.   | IJC Heart and Vessel. 2014;2(1):15-20.  |
| 86 | Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Kihara Y.   | 循環器内科   | Conversion from persistent to paroxysmal atrial fibrillation after pulmonary vein isolation is a good sign.   | Int J Cardiol. 2014 May 1;173(2):322-3. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.03.059. Epub 2014 Mar 15.              |
| 87 | Iwamoto Y, Okamoto M, Hashimoto M, Fukuda Y, Uchimura Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Iwasaki T, Kinoshita H, Ueda H, Kihara Y.  | 循環器内科   | Clinical outcomes and causes of death in Japanese patients with long-term inferior vena cava filter implants and deep vein thrombosis.  | J Cardiol. 2014 Mar 25. pii: S0914-5087(14)00037-9. doi:10.1016/j.jicc.2014.01.011. [Epub ahead of print] |
| 88 | Yamamoto H1, Awai K2, Kuribayashi S3, Kihara Y4; PREDICT Investigators.   | 循環器内科   | Rationale and design of the PREDICT (Plaque Registration and Evaluation Detected In Computed Tomography) registry   | J Cardiovasc Comput Tomogr. 2014 Mar-Apr;8(2):90-6. doi: 10.1016/j.jcct.2013.12.004. Epub 2014 Jan 8.     |
| 89 | Kurisu S1, Kihara Y.  | 循環器内科   | Role of electrocardiography in the diagnosis and management of takotsubo cardiomyopathy   | Circ J. 2014;78(4):835-6. Epub 2014 Feb 18.   |
| 90 | Kunita E, Yamamoto H, Kitagawa T, Ohashi N, Oka T, Utsunomiya H, Urabe Y, Tsushima H, Awai K, Budoff MJ, Kihara Y.  | 循環器内科   | Prognostic value of coronary artery calcium and epicardial adipose tissue assessed by non-contrast cardiac computed tomography.   | Atherosclerosis. 2014 Apr;233(2):447-53. doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2014.01.038. Epub 2014 Jan 29.    |

計10

|     |   |       |  |   |
|-----|---|-------|--|---|
| 91  | Kajikawa M, Nakashima A, Marubashi T, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Goto C, Taguchi A, Noma K, Higashi Y.                     | 循環器内科 | Poor oral health, that is, decreased frequency of tooth brushing, is associated with endothelial dysfunction.  | Circ J. 2014;78(4):950-4. Epub 2014 Feb 5.  |
| 92  | Tokuyama T, Nakano Y, Awazu A, Uchimura-Makita Y, Fujiwara M, Watanabe Y, Sairaku A, Kajihara K, Motoda C, Oda N, Kihara Y.                                       | 循環器内科 | Deterioration of the circadian variation of heart rate variability in Brugada syndrome may contribute to the pathogenesis of ventricular fibrillation. | J Cardiol. 2014 Feb 1. pii:S0914-5087(13)00385-7. doi: 10.1016/j.jcc.2013.12.001. [Epub ahead of print]PubMed |
| 93  | Kurisu S, Watanabe N, Ikenaga H, Shimonaga T, Higaki T, Iwasaki T, Mitsuba N, Ishibashi K, Dohi Y, Kihara Y.  | 循環器内科 | Effects of eplerenone on P-wave signal-averaged electrocardiogram in hypertensive patients with coronary artery disease.                               | Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e180-1. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.154. Epub 2014 Jan 8.                  |
| 94  | Kurisu S, Watanabe N, Ikenaga H, Shimonaga T, Higaki T, Iwasaki T, Mitsuba N, Ishibashi K, Dohi Y, Kihara Y.  | 循環器内科 | Increased mean platelet volume in patients with coronary artery disease and its seasonal variation.  | Int J Cardiol. 2014 Mar 1;172(1):e159-61. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.071. Epub 2013 Dec 28.                |
| 95  | Kajikawa M, Noma K, Marubashi T, Mikami S, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Nakashima A, Goto C, Liao JK, Higashi Y.             | 循環器内科 | Rho-associated kinase activity is a predictor of cardiovascular outcomes.  | Hypertension. 2014 Apr;63(4):856-64. doi: 10.1161/HYPERTENSIONA.113.02296. Epub 2013 Dec 30.                  |
| 96  | Higashi Y, Marubashi T, Noma K, Kihara Y.   | 循環器内科 | Oxidative stress and endothelial dysfunction: Clinical evidence and therapeutic implications.  | Trends Cardiovasc Med. 2014 May;24(4):165-169. doi: 10.1016/j.tcm.2013.12.001. Epub 2013 Dec 4. Review.       |
| 97  | Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Nakano Y, Ando M, Kihara Y.   | 循環器内科 | Procedural sedation with dexmedetomidine during ablation of atrial fibrillation: a randomized controlled trial.  | Europace. 2013 Dec 18. [Epub ahead of print]  |
| 98  | Teragawa H, Mitsuba N, Ishibashi K, Kurisu S, Kihara Y.   | 循環器内科 | Positive influence of aspirin on coronary endothelial function: Importance of the dose.  | World J Cardiol. 2013 Nov 26;5(11):426-33. doi: 10.4330/wjc.v5.i11.426.                                       |
| 99  | Ishida T, Ishida M, Tashiro S, Yoshizumi M, Kihara Y.   | 循環器内科 | Role of DNA damage in cardiovascular disease.  | Circ J. 2013 Dec 25;78(1):42-50. Epub 2013 Dec 12.  |
| 100 | Hidaka T, Shiwa T, Fuji Y, Nishioka K, Utsunomiya H, Ishibashi K, Mitsuba N, Dohi Y, Oda N, Noma K, Kurisu S, Nakano Y, Yamamoto H, Iishi T, Higashi Y, Kihara Y. | 循環器内科 | Impact of aldosterone-producing adenoma on cardiac structures in echocardiography.   | J Echocardiogr. 2013;11:123-129. Epub 2013 Feb 5.   |

計10

|     |  |       |  |   |
|-----|--|-------|--|---|
| 101 | Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Nakano Y, Kondo N, Kihara Y.   | 循環器内科 | Don't move during ablation of atrial fibrillation!   | Int J Cardiol. 2014 Jan 15;171(1):78-81. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.11.049. Epub 2013 Nov 23. |
| 102 | Fujwara M, Nakano Y, Hidaka T, Oda N, Uchimura Y, Sairaku A, Kajihara K, Tokuyama T, Motoda C, Watanabe Y, Ikenaga H, Imai K, Sueda T, Kihara Y.   | 循環器内科 | Prediction of atrial fibrillation after off-pump coronary artery bypass grafting using preoperative total atrial conduction time determined on tissue Doppler imaging.     | Circ J. 2014;78(2):345-52. Epub 2013 Nov 26.  |
| 103 | Kurisu S, Iwasaki T, Ikenaga H, Watanabe N, Higaki T, Shimonaga T, Ishibashi K, Mitsuba N, Dohi Y, Kihara Y.   | 循環器内科 | Influence of left ventricular geometry on thallium-201 gated single-photon emission tomographic findings in patients with known or suspected coronary artery disease.      | Ann Nucl Med. 2014 Feb;28(2):120-7. doi: 10.1007/s12149-013-0786-5. Epub 2013 Nov 20.         |
| 104 | Maruhashi T, Nakashima A, Soga J, Fujimura N, Idei N, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Goto C, Noma K, Tomiyama H, Takase B, Yamashina A, Higashi Y. | 循環器内科 | Hyperuricemia is independently associated with endothelial dysfunction in postmenopausal women but not in premenopausal women.   | BMJ Open. 2013 Nov 8;3(11):e003659. doi: 10.1136/bmjopen-2013-003659.                         |
| 105 | Maruhashi T, Soga J, Fujimura N, Idei N, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Goto C, Tomiyama H, Takase B, Yamashina A, Higashi Y. | 循環器内科 | Relationship between flow-mediated vasodilation and cardiovascular risk factors in a large community-based study. Heart.   | 2013 Dec;99(24):1837-42. doi: 10.1136/heartjnl-2013-304739. Epub 2013 Oct                     |
| 106 | Yamamoto H, Kitagawa T, Kihara Y.  | 循環器内科 | Dose napkin-ring sign suggest possibility to identify rupture-prone plaque in coronary computed tomography angiography?  | J Cardiol. 2013 Nov;62(5):328-9. doi: 10.1016/j.jicc.2013.02.020. Epub 2013 Oct 17.           |
| 107 | Kurisu S, Shimonaga T, Iwasaki T, Ishibashi K, Mitsuba N, Dohi Y, Kihara Y.  | 循環器内科 | Effects of ezetimibe on serum polyunsaturated fatty acids in patients with coronary artery disease.  | Int Heart J. 2013;54(5):254-7.  |
| 108 | Sairaku A, Yoshida Y, Ando M, Hirayama H, Nakano Y, Kihara Y.  | 循環器内科 | A head-to-head comparison of periprocedural coagulability under anticoagulation with rivaroxaban versus dabigatran in patients undergoing ablation of atrial fibrillation. | Clin Drug Investig. 2013 Nov;33(11):847-53. doi: 10.1007/s40261-013-0134-5.                   |
| 109 | Kagawa E, Dote K, Kihara Y.  | 循環器内科 | Percutaneous coronary intervention for postcardiac arrest syndrome.  | Curr Opin Cardiol. 2013 Nov;28(6):689-94. doi: 10.1097/HCO.0b013e32836553b7.                  |
| 110 | Kurisu S, Kihara Y.  | 循環器内科 | Conditions associated with increased mean platelet volume.   | Int J Cardiol. 2013 Oct 25;169(1):90. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.08.043. Epub 2013 Aug 15.    |

計10



|     |   |       |   |  |
|-----|---|-------|---|--|
| 111 | Sairaku A, Yoshida Y, Nakano Y, Kihara Y.   | 循環器内科 | Ablation of atrial fibrillation in Brugada syndrome patients with an implantable cardioverter defibrillator to prevent inappropriate shocks resulting from rapid atrial fibrillation.   | Int J Cardiol. 2013 Oct 15;168(6):5273-6. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.08.016. Epub 2013 Aug 15.         |
| 112 | Utsunomiya H, Yamamoto H, Kitagawa T, Kunita E, Urabe Y, Tsushima H, Hidaka T, Awai K, Kihara Y.  | 循環器内科 | Incremental prognostic value of cardiac computed tomography angiography in asymptomatic aortic stenosis: significance of aortic valve calcium score.                                    | Int J Cardiol. 2013 Oct 15;168(6):5205-11. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.07.235. Epub 2013 Aug 2.         |
| 113 | Fukumoto Y, Yamada N, Matsubara H, Mizoguchi M, Uchino K, Yao A, Kihara Y, Kawano M, Watanabe H, Takeda Y, Adachi T, Osanai S, Tanabe N, Inoue T, Kubo A, Ota Y, Fukuda K, Nakano T, Shimokawa H. | 循環器内科 | Double-blind, placebo-controlled clinical trial with a rho-kinase inhibitor in pulmonary arterial hypertension.   | Circ J. 2013;77(10):2619-25. Epub 2013 Aug 3.  |
| 114 | Idei N, Ukawa T, Kajikawa M, Iwanoto Y, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Takayanagi T, Morimoto H, Tsuji T, Higashi Y.                   | 循環器内科 | A novel noninvasive and simple method for assessment of endothelial function: enclosed zone flow-mediated vasodilation (ezFMD) using an oscillation amplitude measurement.              | Atherosclerosis. 2013 Aug;229(2):324-30. doi:10.1016/j.atherosclerosis.2013.05.016. Epub 2013 Jun 6.   |
| 115 | Kagawa E, Dote K, Kihara Y.   | 循環器内科 | Letter by Kagawa et al regarding article, "hypothermia in comatose survivors from out-of-hospital cardiac arrest: pilot trial comparing 2 levels of target temperature".                | Circulation. 2013 Jul 23;128(4):e55. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.112.000317.                           |
| 116 | Kajihara K, Nakano Y, Hirai Y, Ogi H, Oda N, Suenari K, Makita Y, Sairaku A, Tokuyama T, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Kiguchi M, Kihara Y.   | 循環器内科 | Variable procedural strategies adapted to anatomical characteristics in catheter ablation of the cavotricuspid isthmus using a preoperative multidetector computed tomography analysis. | J Cardiovasc Electrophysiol. 2013 Dec;24(12):1344-51.  |
| 117 | Mikami S, Nakashima A, Nakagawa K, Maruhashi T, Iwanoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Ochi M, Nishimura M, Tsuji K, Kato Y, Goto C, Higashi Y.                         | 循環器内科 | Autologous bone-marrow mesenchymal stem cell implantation and endothelial function in a rabbit ischemic limb model.   | PLoS One. 2013 Jul 4;8(7):e67739. doi: 10.1371/journal.pone.0067739. Print 2013.                       |
| 118 | Kurusu S, Kihara Y.   | 循環器内科 | ST-segment elevation in V1-V3 in patients with inferior STEMI: an important sign of right ventricular infarction (reply).   | Intern Med. 2013;52(14):1663. Epub 2013 Jul 15.  |
| 119 | Yamamoto H, Kitagawa T, Ohashi N, Utsunomiya H, Kunita E, Oka T, Urabe Y, Tsushima H, Awai K, Kihara Y.   | 循環器内科 | Noncalcified atherosclerotic lesions with vulnerable characteristics detected by coronary CT angiography and future coronary events.  | J Cardiovasc Comput Tomogr. 2013 May-Jun;7(3):192-9. doi:10.1016/j.jcct.2013.05.008. Epub 2013 Jun 13. |
| 120 | Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Nakano Y, Nanasato M, Kamiya H, Kondo N, Kihara Y.  | 循環器内科 | Clinical significance of sleep-disordered breathing induced by sedatives during ablation of atrial fibrillation.  | Sleep Med. 2013 Jul;14(7):622-7. doi: 10.1016/j.sleep.2013.04.003. Epub 2013 May 26.                   |

計10

|     |  |        |  |  |
|-----|--|--------|--|--|
| 121 | Ikenaga H, Ishihara M, Inoue I, Kawagoe T, Shimatani Y, Miura F, Nakama Y, Dai K, Ohtani T, Ohi K, Miki T, Nakamura M, Kishimoto S, Sumimoto Y, Kihara Y.  | 循環器内科  | Longitudinal extent of lipid pool assessed by optical coherence tomography predicts microvascular no-reflow after primary percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation myocardial infarction. | J Cardiol. 2013 Aug;62(2):71-6. doi: 10.1016/j.jicc.2013.03.005. Epub 2013 May 14.               |
| 122 | Urabe Y, Yamamoto H, Kitagawa T, Utsunomiya H, Tsushima H, Tatsugami F, Awai K, Kihara Y.  | 循環器内科  | Association between serum levels of n-3 polyunsaturated fatty acids and coronary plaque detected by coronary computed tomography angiography in patients receiving statin therapy.                           | Circ J. 2013;77(10):2578-85. Epub 2013 Jul 18.   |
| 123 | Kurisu S, Shimonaga T, Iwasaki T, Mitsuba N, Ishibashi K, Dohi Y, Kihara Y.  | 循環器内科  | Mean platelet volume in patients with primary aldosteronism and its relation to left ventricular hypertrophy.  | Int J Cardiol. 2013 Oct 3;168(3):3143-4. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.04.156. Epub 2013 May 9.     |
| 124 | Hiyama K, Ozaki M, Hayano K, Yamamoto N, Bando H, Maeda K, Kihara Y, Murashima A.  | 循環器内科  | Positive action is required to achieve the 2020.30 goal of gender equality in Japanese medical societies.  | Surg Today. 2014 Jan;44(1):204-5. doi: 10.1007/s00595-013-0582-9. Epub 2013 May 1.               |
| 125 | Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayes CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Uchimura-Makita Y, Kajihara K, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A, Hasegawa K, Watanabe H, Endo N, Aiba T, Shimizu W, Ohno S, Horie M, Arihiro K, Tashiro S, Makita N, Kihara Y. | 循環器内科  | A nonsynonymous polymorphism in semaphorin 3A as a risk factor for human unexplained cardiac arrest with documented ventricular fibrillation.  | PLoS Genet. 2013 Apr;9(4):e1003364. doi: 10.1371/journal.pgen.1003364. Epub 2013 Apr 11.         |
| 126 | Uchida N, Katayama A, Kuraoka M, Katayama K, Takahashi S, Takasaki T, Sueda T.   | 心臓血管外科 | Extended aortic repair using frozen elephant trunk technique for Marfan syndrome with acute aortic dissection.   | Ann Thorac Cardiovasc Surg 2013;19:279-282   |
| 127 | Uchida N, Katayama K, Takahashi S, Sueda T.  | 心臓血管外科 | Total arch repair using supra-aortic debranching technique with banding of the ascending aorta for endovascular stent graft fixation.  | Ann Vasc Surg 2013;27(3):354   |
| 128 | Uchida N, Takasaki T, Takahashi S, Sueda T.  | 心臓血管外科 | Sutureless surgical techniques for arch aneurysm repair in a patient with Behcet's disease.  | Ann Thorac Cardiovasc Surg 2013 Jun 4 [Epub ahead of print]                                      |
| 129 | Uchida N, Katayama K, Takahashi S, Sueda T.  | 心臓血管外科 | Modified arch-first technique performed on a beating heart for an arch aneurysm with   | Ann Vasc Dis 2013;6(2):226-229   |
| 130 | Uchida N, Katayama K, Sueda T.   | 心臓血管外科 | Endovascular stent graft for aorto-esophageal fistula caused by esophageal stent   | Asian Cardiovasc Thorac Ann 2014 Mar;22(3):368. doi: 10.1177/0218492312472517. Epub 2013 Jul 16. |

計10

|     |  |          |   |   |
|-----|--|----------|---|---|
| 131 | Takahashi S, Uchida N, Sueda T.  | 心臓血管外科   | Hybrid debranching endovascular aortic repair with coronary artery bypass   | Asian Cardiovasc Thorac<br>2013;Ann published on line 18<br>Oct 2013 Oct 18. pii:<br>0218492313492521 |
| 132 | Takahashi S, Uchida N, Takasaki T, Sueda T.  | 心臓血管外科   | Delayed surgery for type A aortic dissection caused by blunt trauma   | Asian Cardiovasc Thorac Ann.<br>2013 Oct 29. pii:<br>0218492313501164. [Epub<br>ahead of print]       |
| 133 | Takahashi S, Orihashi K, Okada K, Imai K,<br>Takasaki T, Uchida N, Sueda T.  | 心臓血管外科   | Transaortic stent grafting of a Kommerell diverticulum arising from a right-sided<br>aortic arch.   | Ann Vasc Surg 2014<br>May;28(4):1037.e15-9. doi:<br>10.1016/j.avsg.2013.08.022.<br>Epub 2013 Dec 11.  |
| 134 | Suenari K, Nakano Y, Hirai Y, Ogi H, Oda N,<br>Makita Y, Ueda S, Kajihara K, Tokuyama T  | 消化器・代謝内科 | Left atrial thickness under the catheter ablation lines in patients with paroxysmal<br>atrial fibrillation: insights from 64-slice multidetector computed tomography.                       | Heart Vessels 2013<br>May;28(3):360-8   |
| 135 | Tashiro H, Ide K, Amano H, Kobayashi T, Onoe<br>T, Ishiyama K, Kuroda S, Tazawa H, Kono H,<br>Aikata H, Takahashi S, Chayama K, Ohdan H  | 消化器・代謝内科 | Surgical treatment for portosystemic encephalopathy in patients with liver<br>cirrhosis: Occlusion of portosystemic shunt in combination with splenectomy                                   | Hepatology 2013<br>Mar;43(3):249-54   |
| 136 | Nakano R, Maekawa T, Abe H, Hayashida Y, Ochi<br>H, Tsunoda T, Kumada H, Kamatani N, Nakamura<br>Y, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Single nucleotide polymorphisms in GALNT8 are associated with response to<br>interferon therapy for chronic hepatitis C.  | J Gen Virol 2013 Jan;94(Pt<br>1):81-9   |
| 137 | Nagaoki Y, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T,<br>Masaki K, Tanaka M, Naeshiro N, Nakahara T,<br>Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Takaki S, Tsuge<br>M, Hiramatsu A, Imamura M, Hyogo H, Kawakami<br>Y, Takahashi S, Ochi H, Chayama K | 消化器・代謝内科 | Risk factors for the exacerbation of esophageal varices or portosystemic<br>encephalopathy after sustained virological response with IFN therapy for HCV-<br>related compensated cirrhosis. | J Gastroenterol 2013<br>Jul;48(7):847-55  |
| 138 | Karino Y, Toyota J, Ikeda K, Suzuki F, Chayama<br>K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe H, Dennis<br>H, Yu F, McPhee F, Kumada H   | 消化器・代謝内科 | Characterization of virologic escape in hepatitis C virus genotype 1b patients<br>treated with the direct-acting antivirals daclatasvir and asunaprevir.                                    | J Hepatol 2013 Apr;58(4):646-<br>54   |
| 139 | Suzuki Y, Ikeda K, Suzuki F, Toyota J, Karino Y,<br>Chayama K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe<br>H, Hu W, Eley T, McPhee F, Hughes E, Kumada<br>H  | 消化器・代謝内科 | Dual Oral Therapy with Daclatasvir and Asunaprevir for Patients with HCV<br>Genotype 1b Infection and Limited Treatment Options.  | J Hepatol 2013 Apr;58(4):655-<br>62   |
| 140 | Yoneda M, Imajo K, Eguchi Y, Fujii H, Sumida Y,<br>Hyogo H, Ono M, Suzuki Y, Kawaguchi T, Aoki N,<br>Sata M, Kanemasa K, Kohno Y, Saibara T,<br>Chayama K, Ttoh Y, Yoshikawa T, Anzai K,<br>Fujimoto K, Okaniue T, Nakajima A      | 消化器・代謝内科 | Noninvasive scoring systems in patients with nonalcoholic fatty liver disease with<br>normal alanine aminotransferase levels  | J Gastroenterol 2013<br>Sep;48(9):1051-60   |

計10

|     |  |          |  |  |
|-----|--|----------|--|--|
| 141 | Chayama K, Hayse CN, Ohishi W, Kawakami Y  | 消化器・代謝内科 | Treatment of chronic hepatitis C virus infection in Japan: update on therapy and guidelines  | J Gastroenterol 2013<br>Jan;48(1):1-12                   |
| 142 | Honda Y, Kimura T, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T, Masaki K, Nakahara T, Naeshiro N, Ono A, Miyaki D, Nagoaki Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Ishikawa M, Kakizawa H, Kenjo M, Takahashi S, Awai K, Nagata Y, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma.   | J Gastroenterol Hepatol. 2013<br>Mar;28(3):530-6.        |
| 143 | Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K, Sekine A, . | 消化器・代謝内科 | Replication Study of 15 Recently Published Loci for Body Fat Distribution in the Japanese Population   | J Atheroscler Thromb<br>2013;20(4):336-50.               |
| 144 | Aoyama T, Oka S, Aikata H, Nakano M, Watari I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S, Chayama K,   | 消化器・代謝内科 | Small Bowel Abnormalities in Patients with Compensated Liver Cirrhosis   | Dig Dis Sci 2013<br>May;58(5):1390-6                     |
| 145 | Chayama K, Hayes CN, Ohishi W, Kawakami Y  | 消化器・代謝内科 | Treatment of chronic hepatitis C virus infection in Japan: update on therapy and guidelines.   | J Gastroenterol 2013<br>Jan;48(1):1-12                   |
| 146 | Kimura T, Takahashi S, Kenjo M, Nishibuchi I, Takahashi I, Takeuchi Y, Doi Y, Kaneyasu Y, Murakami Y, Honda Y, Aikata H, Chayama K, Nagata Y   | 消化器・代謝内科 | Dynamic computed tomography appearance of tumor response after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma: How should we evaluate treatment effects? | Hepatol Res 2013<br>Jul;43(7):717-27                     |
| 147 | Honda Y, Kimura Y, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T, Masaki K, Nakahara T, Naeshiro N, Ono A, Miyaki D, Nagoaki Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Ishikawa M, Kakizawa H, Kenjo M, Takahashi S, Awai K, Nagata Y, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma  | J Gastroenterol Hepatol 2013<br>Mar;28(3):530-6          |
| 148 | Toyota J, Ozeki I, Karino Y, Asahina Y, Izumi N, Takahashi S, Kawakami Y, Chayama K, Kamiya N, Aoki K, Yamada I, Suzuki Y, Suzuki F, Kumada H  | 消化器・代謝内科 | Virological response and safety of 24-week telaprevir alone in Japanese patients infected with hepatitis C virus subtype 1b  | J Viral Hepat 2013<br>Mar;20(3):167-73                   |
| 149 | Kominami Y, Aikata H, Hiramatsu A, Tanaka M, Naeshiro N, Nakahara T, Honda Y, Nagoaki Y, Murakami E, Miyaki D, Miki D, Kawaoka T, Takaki S, Hiraga N, Serikawa M, Inamura M, Hyogo H, Kawakami Y, Takahashi S, Sasaki T, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | A case of clonorchiasis complicated with the expansion of liver cyst.  | Nihon Shokakibyō Gakkai<br>Zasshi 2013 Mar;110(3):456-64 |
| 150 | Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayse CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Makita Y, Kajiyama K, Sairaku A, Motoda N, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A   | 消化器・代謝内科 | A Nonsynonymous Polymorphism in Semaphorin 3A as a Risk Factor for Human Unexplained Cardiac Arrest with Documented Ventricular Fibrillation                               | PLoS Genet 2013<br>Apr;9(4):e1003364                     |

計10

|     |  |          |  |  |
|-----|--|----------|--|--|
| 151 | Yamagishi SI, Maeda S, Hyogo H   | 消化器・代謝内科 | Author reply: Comment to "Atorvastatin improves disease activity of nonalcoholic steatohepatitis partly through its tumour necrosis factor- $\alpha$ - lowering property"        | Dig Liver 2013 Jan;45(1):83-4                        |
| 152 | Tsuge M, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Availability of monitoring serum HBV DNA plus RNA during nucleot(s)ide analogue therapy.   | J Gastroenterol 2013 Jun;48(6):779-80                |
| 153 | Arataki K, Hayse CN, Akamatu S, Akiyama R, Abe H, Tsuge M, Miki D, Ochi H, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Aikata H, Kawaoka T, Kawakami H, Nakamichi W, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Circulating microRNA-22 correlates with microRNA-122 and represents viral replication and liver injury in patients with chronic hepatitis B.                                     | J Med Virol 2013 May;85(5):789-98                    |
| 154 | Sin N, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Zhang Y, Kosaka K, Okazaki A, Murakami E, Tsuge M, Abe H, Aikata H, Takahashi S, Ochi H, Mukaidani T, Yoshizato K, Matsui H, Kanai A, Inaba T, Mephee F, Gao M, Chayama K              | 消化器・代謝内科 | Combination therapies with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte chimeric mice   | Gut 2013 Jul;62(7):1055-61                           |
| 155 | Furusho H, Miyauchi M, Hyogo H, Inubushi T, Ao M, Ouhara K, Hisatune J, Kurihara H, Sugai M, Hayes CN, Nakahara T, Aikata H, Takahashi S, Chayama K, Takata T  | 消化器・代謝内科 | Dental infection of Porphyromonas gingivalis exacerbates high fat diet-induced steatohepatitis in mice   | J Gastroenterol. 2013 Nov;48(11):1259-70             |
| 156 | Kitamoto T, Kitamoto A, Yoneda M, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Teranishi H, Mizusawa S, Ueno T, Chayama K, Nakajima A, Nakao K, Sekine A, Hotta K  | 消化器・代謝内科 | Genome-wide scan revealed that polymorphisms in the PNPLA3, SAMM50, and PARVB genes are associated with development and progression of nonalcoholic fatty liver disease in Japan | Hum Genet. 2013 Jul;132(7):783-92                    |
| 157 | Hau P, Urabe Y, Kumar V, Tanikawa C, Koike K, Kato N, Miki D, Chayama K, Kubo M, Nakamura Y, Matuda K  | 消化器・代謝内科 | Identification of a Functional Variant in the MICA Promoter Which Regulates MICA Expression and Increases HCV-Related Hepatocellular Carcinoma Risk                              | PLoS One. 2013 Apr 11;8(4):e61279                    |
| 158 | Maruhashi T, Soga J, Fujimura N, Idei N, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Mastumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Goto C, Higashi Y   | 消化器・代謝内科 | Nitroglycerine-Induced Vasodilation for Assessment of Vascular Function: A Comparison With Flow-Mediated Vasodilation  | Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2013 Jun;33(6):1401-8 |
| 159 | Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Mieno I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Chayama K | 消化器・代謝内科 | Replication Study of 15 Recently Published Loci for Body Fat Distribution in the Japanese Population   | J Atheroscler Thromb. 2013;20(4):336-50              |
| 160 | Chayama K, Hayse CN, Ohishi W, Kawakami Y  | 消化器・代謝内科 | Response to "Treatment guidelines for HCV genotype 1: mono for low, triple for high, and dual for 'middle'?"   | J Gastroenterol. 2013 Apr;48(4):557-8                |

計10

|     |  |          |   |   |
|-----|--|----------|---|---|
| 161 | Tsuge M, Murakami E, Imamura M, Abe H, Miki D, Hiraga N, Takahashi S, Ochi H, Hayes CN, Ginba H, Matsuyama K, Kawakami H, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Serum HBV RNA and HBeAg are useful markers for the safe discontinuation of nucleotide analogue treatments in chronic hepatitis B patients                 | J Gastroenterol. 2013 Oct;48(10):1188-204   |
| 162 | Masaki K, Takaki S, Hyogo H, Kobayashi T, Fukuhara T, Naeshiro N, Honda Y, Nakahara T, Ono A, Miyaki D, Murakami E, Nagaoki Y, Kawaoka T, Tsuge M, Hiraga N, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Chayama K | 消化器・代謝内科 | Utility of controlled attenuation parameter measurement for assessing liver steatosis in Japanese patients with chronic liver diseases                    | Hepatol Res. 2013 Nov;43(11):1182-9         |
| 163 | Higashiyama M, Oka S, Tanaka S, Numata N, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Endoscopic submucosal dissection for residual early gastric cancer after endoscopic submucosal dissection   | Gastrointest Endosc. 2013 Feb;77(2):298-302 |
| 164 | Hayashi N, Tanaka S, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Relationship between Narrow-Band Imaging Magnifying Observation and Pit Pattern Diagnosis in Colorectal Tumors  | Digestion. 2013;87(1):53-8                  |
| 165 | Tamaki T, Yoshimuta J, Kawakami M, Raytchev B, Kaneda K, Yoshida S, Takemura Y, Onji K, Miyaki R, Tanaka S   | 消化器・代謝内科 | Computer-aided colorectal tumor classification in NBI endoscopy using local features  | Med Image Anal. 2013 Jan;17(1):78-100       |
| 166 | Shida Y, Ichikawa K, Fujimori T, Fujimori Y, Tomita S, Fujii T, Sano Y, Oda Y, Goto H, Ohta A, Tanaka S, Sugai T, Yao T, Ohkura Y, Imura J, Kato H   | 消化器・代謝内科 | Differentiation between sessile serrated adenoma/polyp and non-sessile serrated adenoma/polyp in large hyperplastic polyp: A Japanese collaborative study | Mol Clin Oncol. 2013 Jan;1(1):53-58         |
| 167 | Quach DT, Le HM, Hiyama T, Nguyen OT, Nguyen TS, Uemura N  | 消化器・代謝内科 | Relationship between Endoscopic and Histologic Gastric Atrophy and Intestinal Metaplasia  | Helicobacter. 2013 Apr;18(2):151-7          |
| 168 | Takamura A, Ito M, Boda T, Kitamura Y, Tanaka S, Yoshihara M, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | High Expression of Gastrin Receptor Protein in Injured Mucosa of Helicobacter pylori-Positive Gastritis   | Dig Dis Sci. 2013 Mar;58(3):634-40          |
| 169 | Tanaka S, Terasaki M, Hayashi N, Oka S, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Warning for unprincipled colorectal endoscopic submucosal dissection: Accurate diagnosis and reasonable treatment strategy                                | Dig Endosc. 2013 Mar;25(2):107-16           |
| 170 | Kato M, Terao S, Adachi K, Nakaïma S, Ando T, Yoshida N, Uedo N, Murakami K, Ohara S, Ito M, Uemura N, Shimbo T, Watabe H, Kato T, Ida K   | 消化器・代謝内科 | Changes in endoscopic findings of gastritis after cure of H. pylori infection: Multicenter prospective trial  | Dig Endosc. 2013 May;25(3):264-73           |

計10

|     |  |          |  |  |
|-----|--|----------|--|--|
| 171 | Okuyama Y, Andoh A, Nishiyama M, Fukunaga K, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Ueno Y, Tanaka S, Kuge H, Yoshikawa S, Sugahara A, Anami E, Munetomo Y, Watanabe C, Fujiyama Y, Matsumoto T | 消化器・代謝内科 | Multicenter prospective study for clinical and endoscopic efficacies of leukocytapheresis therapy in patients with ulcerative colitis                                    | Scand J Gastroenterol. 2013 Apr;48(4):412-8          |
| 172 | Aoyama T, Oka S, Aikata H, Nakano M, Watari I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Small bowel abnormalities in patients with compensated liver cirrhosis   | Dig Dis Sci. 2013 May;58(5):1390-6                   |
| 173 | Soetikno R, Subramanian V, Kaltenbach T, Rouse RV, Sanduleanu S, Suzuki N, Tanaka S, McQuaid K   | 消化器・代謝内科 | The detection of nonpolypoid (flat and depressed) colorectal neoplasms in patients with inflammatory bowel disease   | Gastroenterology. 2013 Jun;144(7):1349-52, 1352.e1-6 |
| 174 | Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement  | J Gastroenterol Hepatol. 2013 May;28(5):841-7        |
| 175 | Shinagawa K, Kitadai Y, Tanaka M, Sumida T, Onoyama M, Onishi M, Ohara E, Higashi Y, Tanaka S, Yasui W, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Stroma-directed imatinib therapy impairs the tumor-promoting effect of bone marrow-derived mesenchymal stem cells in an orthotopic transplantation model of colon cancer | Int J Cancer. 2013 Feb 15;132(4):813-23              |
| 176 | Takata S, Tanaka S, Hayashi N, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Characteristic magnifying narrow-band imaging features of colorectal tumors in each growth type  | Int J Colorectal Dis. 2013 Apr;28(4):459-68          |
| 177 | Tanaka S, Hayashi N, Oka S, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Endoscopic assessment of colorectal cancer with superficial or deep submucosal invasion using magnifying colonoscopy   | Clin Endosc. 2013 Mar;46(2):138-46                   |
| 178 | Fujii Y, Teragawa H, Soga J, Idei N, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Iwanoto Y, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Goto C, Higashi Y, Circ J                   | 消化器・代謝内科 | Flow-Mediated Vasodilation and Anatomical Variation of the Brachial Artery (Double Brachial Artery) in Healthy Subjects and Patients With Cardiovascular Disease.        | Circ J. 2013;77(4):1073-80                           |
| 179 | Miwa H, Takubo K, Shimatani T, Furuta T, Oshima T, Tanaka J, Aida J, Ito M, Kurosawa S, Joh T, Wada T, Habu Y, Watanabe Y, Hongo M, Chiba T, Kinoshita Y                           | 消化器・代謝内科 | Histology of symptomatic gastroesophageal reflux disease: is it predictive of response to proton pump inhibitors?  | J Gastroenterol Hepatol. 2013 Mar;28(3):479-87       |
| 180 | Asayama N, Ikehara H, Yano H, Saito Y  | 消化器・代謝内科 | Endoscopic submucosal dissection of multiple flat adenomas in the radiated rectum.   | World J Gastrointest Endosc. 2013 Mar 16;5(3):128-31 |

計10

|     |  |          |   |  |
|-----|--|----------|---|--|
| 181 | Ishitobi T, Hyogo H, Tokumo H, Arihiro K, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Efficacy of probucol for the treatment of nonalcoholic steatohepatitis with dyslipidemia: An open-label, pilot study                            | Hepatol Res 2013 Apr 17. doi: 10.1111/hepr.12135 |
| 182 | Abe Y, Aly HH, Hiraga N, Imamura M, Wakita T, Shimotohno K, Chayama K, Hijikata M  | 消化器・代謝内科 | Thromboxane A2 Synthase Inhibitors Prevent Production of Infectious Hepatitis C Virus in Mice with Humanized Livers                             | Gastroenterology 2013 Sep;145(3):658-67.e11      |
| 183 | Naeshiro N, Kakizawa H, Aikata H, Fujini H, Kobayashi T, Honda Y, Miki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Hyogo H, Ishikawa M, Awai K, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Percutaneous Transvenous Embolization for Portal-Systemic Shunts associated with Encephalopathy: Long-term outcomes in 14 patients              | Hepatol Res 2014 Jul;44(7):740-9                 |
| 184 | Ohishi W, Cologne JB, Fujiwara S, Suzuki G, Hayashi T, Niwa Y, Akahoshi M, Ueda K, Tsuge M, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Serum Interleukin-6 associated with hepatocellular carcinoma risk: A nested case-control study.   | Int J Cancer 2014 Jan 1;134(1):154-63            |
| 185 | Miyaki D, Aikata H, Fujini H, Urabe A, Masaki K, Fukuhara T, Kobayashi T, Naeshiro N, Nakahara T, Kawaoka T, Hiramatsu A, Takahashi S, Ishikawa M, Kakizawa H, Awai K, Chayama K,  | 消化器・代謝内科 | Clinical outcome of sorafenib treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma refractory to hepatic arterial infusion chemotherapy | J Gastroenterol Hepatol 2013 Dec;28(12):1834-41  |
| 186 | Hyogo H, Chayama K, Yamagishi SI,  | 消化器・代謝内科 | Nonalcoholic fatty liver disease and cardiovascular disease   | Curr Pharm Des 2014;20(14):2403-11               |
| 187 | Lange CM, Miki D, Ochi H, Nischalke HD, Bojunga J, Bibert S, Morikawa K, Gouttenoire J, Cerny A, Dufoir JF, Gorgievski-Hrisoho M, Heim MH, Malinverni R, Millhaupt B, Negro F, Semela D, Kutalik Z, Müller T, Spengler U, Berg T, Chayama K, Moradpour D, Bochtud PY | 消化器・代謝内科 | Genetic analyses reveal a role for vitamin D insufficiency in HCV-associated hepatocellular carcinoma development.                              | PLoS One 2013 May 29;8(5):e64053                 |
| 188 | Saibara T, Enomoto N, Kaneko S, Chayama K, Sata M, Imawari M, Onishi S, Okita K  | 消化器・代謝内科 | Clinical efficacy of combination therapy with ME3738 and pegylated interferon-alpha-2a in patients with hepatitis C virus genotype 1.           | Hepatol Res 2013 Apr 19. doi: 10.1111/hepr.12139 |
| 189 | Zhang Y, Takahashi S, Tasaka A, Yoshima T, Ochi H, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Involvement of microRNA-224 in cell proliferation, migration, invasion, and anti-apoptosis in hepatocellular carcinoma.                         | J Gastroenterol Hepatol 2013 Mar;28(3):565-75    |
| 190 | Chayama K, Hayes CN, Ohishi W, Kawakami Y  | 消化器・代謝内科 | Treatment of chronic hepatitis C virus infection in Japan: update on therapy and guidelines.  | J Gastroenterol 2013 Jan;48(1):1-12              |

計10



|     |  |          |  |  |
|-----|--|----------|--|--|
| 191 | Watari I, Oka S, Tanaka S, Aoyama T, Imagawa H, Shishido T, Yoshida S, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Effectiveness of polaprezinc for low-dose aspirin-induced small-bowel mucosal injuries as evaluated by capsule endoscopy: a pilot randomized controlled study                        | BMC Gastroenterol 2013 Jul 4;13:108                |
| 192 | Abe H, Hayes CN, Hiraga N, Imamura M, Tsuge M, Miki D  | 消化器・代謝内科 | A Translational Study of Resistance Emergence Using Sequential Direct-Acting Antiviral Agents for Hepatitis C Using Ultra-Deep Sequencing  | Am J Gastroenterol 2013 Sep;108(9):1464-72.        |
| 193 | Imada S, Ishiyama K, Ide K, Kobayashi T, Amano H, Tashiro H, Arinhiro K, Aikata H, Chayama K, Ohdan H  | 消化器・代謝内科 | Inferior vena cava tumor thrombus that directly infiltrated from paracaval lymph node metastases in a patient with recurrent hepatocellular carcinoma                                | World J Surg Oncol 2013 Aug 6;11(1):177            |
| 194 | Taketani H, Sumida Y, Tanaka S, Imajo K, Yoneda M, Hyogo H, Ono M, Fujii H, Eguchi Y, Kanemasa K, Chayama K, Itoh Y, Yoshikawa T, Saibara T, Fujimoto K, Nakajima A  | 消化器・代謝内科 | The association of insomnia with gastroesophageal reflux symptoms in biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease.   | J Gastroenterol Hepatol. 2014 Jul;49(7):1163-74    |
| 195 | Aoyama T, Oka S, Aikata H, Nakano M, Watari I, Naeshiro N  | 消化器・代謝内科 | Is small-bowel capsule endoscopy effective for diagnosis of esophagogastric lesions related to portal hypertension?  | J Gastroenterol 2014 Mar;29(3):511-6               |
| 196 | Nagaoki Y, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T, Masaki K, Tanaka M, Naeshiro N, Nakahara T, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Takaki S, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Hyogo H, Kawakami Y, Takahashi S, Ochi H, Chayama K | 消化器・代謝内科 | Risk factors for the exacerbation of esophageal varices or portosystemic encephalopathy after sustained virological response with IFN therapy for HCV-related compensated cirrhosis. | J Gastroenterol 2013 Jul;48(7):847-55              |
| 197 | Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, Hayes CN, Miki D, Aikata H, Ochi H, Shida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T, Chayama K                   | 消化器・代謝内科 | A novel TK-NOG based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections.  | Biochem Biophys Res Commun 2013 Nov 8;441(1):230-5 |
| 198 | Takahashi S, Kimura T, Kenjo M, Nishibuchi I, Takahashi I, Takeuchi Y, Doi Y, Kaneyasu Y, Murakami Y, Honda Y, Aikata H, Chayama K, Nagata Y   | 消化器・代謝内科 | Case Reports of Portal Vein Thrombosis and Bile Duct Stenosis after Stereotactic Body Radiation Therapy for Hepatocellular Carcinoma.  | Hepatol Res. 2013 Sep 17. doi: 10.1111/hepr.12241. |
| 199 | Ozawa S, Tanaka S, Hayashi N, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Risk factors for vertical incomplete resection in endoscopic submucosal dissection as total excisional biopsy for submucosal invasive colorectal carcinoma                           | Int J Colorectal Dis 2013 Sep;28(9):1247-56        |
| 200 | Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Clinical Characteristics of Patients who Developed Hepatocellular Carcinoma after Hepatitis C Virus Eradication with Interferon Therapy: Current Status in Japan.                    | Intern Med 2013;52(24):2701-6                      |

計10

|     |  |          |   |   |
|-----|--|----------|---|---|
| 201 | Ichikawa K, Fujimori T, Moriya T, Ochiai A, Yoshinaga S, Kushima R, Nagahama R, Ohkura Y, Tanaka S, Ajioka Y, Hirata I, Tanaka M, Hoshihara Y, Kinoshita Y, Sasano H, Iwashita A, Tomita S, Hirota S, Yao T, Fujii S, Matsuda T, Ueno H, Ishikawa Y, Takubo K, Fukushima N, Sugai T, Iwafuchi M, Imura J, Manabe T, Fukayama M | 消化器・代謝内科 | Digestive Disease Management in Japan: A Report on The 6th Diagnostic Pathology Summer Fest in 2012   | Digestion 2013;88(3):153-60                 |
| 202 | Oka S, Tanaka S, Nakadoi K, Kanao H, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Risk analysis of submucosal invasive rectal carcinomas for lymph node metastasis to expand indication criteria for endoscopic resection                                   | Dig Endosc 2013 May;25 Suppl 2:21-5         |
| 203 | Kawakami Y, Suzuki F, Karino Y, Toyota J, Kumada H, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Telaprevir is effective given every 12 hours at 750 mg with peginterferon- $\alpha$ -2b and ribavirin to Japanese patients with HCV-1b IL28B rs8099917 TT.                | Antivir Ther 2014;19(3):277-85.             |
| 204 | Hashiba M, Ono M, Hyogo H, Ikeda Y, Masuda K, Yoshioka R, Ishikawa Y, Nagata Y, Munekage Y, Ochi T, Hirose A, Nozaki Y, Noguchi S, Okamoto N, Chayama K, Suganuma N, Saibara T   | 消化器・代謝内科 | Glycemic Variability Is an Independent Predictive Factor for Development of Hepatic Fibrosis in Nonalcoholic Fatty Liver Disease  | PLoS One 2013 Nov 6;8(11):e76161            |
| 205 | Abe H, Kimura Y, Tsuruta S, Fukaya T, Sakaguchi R, Morita R, Sekiya T, Shichita T, Chayama K, Fujii-Kuriyama Y, Yoshimura A  | 消化器・代謝内科 | Aryl hydrocarbon receptor plays protective roles in ConA-induced hepatic injury by both suppressing IFN- $\gamma$ expression and inducing IL-22                           | Int Immunol 2014 Mar;26(3):129-37           |
| 206 | Lange CM, Miki D, Ochi H, Nischalke HD, Bojunga J, Bibert S, Morikawa K, Gouttenoire J, Cerny A, Dufour JF, Gorgievski-Hrisoho M, Heim MH, Mainiverni R, Müllhaupt B, Negro F, Semela D, Kuttalik Z, Müller T, Spengler U, Berg T, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Genetic analyses reveal a role for vitamin D insufficiency in HCV-associated hepatocellular carcinoma development.  | PLoS One 2013 May 29;8(5):e64053            |
| 207 | Urabe Y, Ochi H, Kato N, Kumar V, Takahashi A, Muroyama R, Hosono N, Otsuka M, Tateishi R, Lo PH, Tanikawa C, Omata M, Koike K, Miki D, Abe H, Kamatani N, Toyota J, Kumada H, Kubo M, Chayama K, Nakamura Y   | 消化器・代謝内科 | A genome-wide association study of HCV-induced liver cirrhosis in the Japanese population identifies novel susceptibility loci at the MHC region                          | J Hepatol 2013 May;58(5):875-82             |
| 208 | Takahashi Y, Ando M, Nishikawa M, Hiraga N, Imamura M, Chayama K, Takakura Y   | 消化器・代謝内科 | Long-term Elimination of Hepatitis C Virus from Human Hepatocyte Chimeric Mice following Interferon- $\gamma$ Gene Transfer   | Hum Gene Ther Clin Dev 2014 Mar;25(1):28-39 |
| 209 | Nakahara T, Hyogo H, Yoneda M, Sumida Y, Eguchi Y, Fujii H, Ono M, Kawaguchi T, Imajo K, Aikata H, Tanaka K, Kanemasa K, Fujimoto K, Anzai K, Saibara T, Sata M, Nakajima A, Itoh Y, Chayama K, Okanoue T  | 消化器・代謝内科 | Type 2 diabetes mellitus is associated with the fibrosis severity in patients with nonalcoholic fatty liver disease in a large retrospective cohort of Japanese patients. | J Gastroenterol. 2013 Nov 26                |
| 210 | Fujino H, Imamura M, Nagaoki Y, Kawakami Y, Hayes CN, Kan H, Fukuhara T, Kobayashi T, Masaki K, Ono A, Nakahara T, Honda Y, Naeshiro N, Urabe A, Yokoyama S, Miyaki D, Murakami E, Kawaoka T, Hiraga N, Tsuge M, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Predictive value of the IFNL4 polymorphism on outcome of telaprevir, peginterferon, and ribavirin therapy for older patients with genotype 1b chronic hepatitis C.        | J Gastroenterol 2013 Dec 21                 |

計10

|     |  |          |  |   |
|-----|--|----------|--|---|
| 211 | Naeshiro N, Aikata H, Kakizawah, Kan H, Fujino H, Kobayashi T, Fukuhara T, Honda Y, Ono A, Miyaki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiraga N, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Awai K, Chayama K          | 消化器・代謝内科 | The long-term outcome of patients with gastric varices treated by balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.              | J Gastroenterol Hepatol 2014 May;29(5):1035-42  |
| 212 | Tanaka K, Hyogo H, Ono M, Takahashi H, Kitajima Y, Ono N, Eguchi T, Fujimoto K, Chayama K, Saibara T, Anzai K, Eguchi Y  | 消化器・代謝内科 | The upper limit of normal serum alanine aminotransferase levels in Japanese subjects.  | Hepatol Res 2013 Dec 23. doi: 10.1111/hepr.12293  |
| 213 | Miki D, Ochi H, Takahashi A, Hayes CN, Urabe Y, Abe H, Kawaoka T, Tsuge M, Hiraga N, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Takahashi S, Akuta N, Suzuki F, Ikeda K, Kumada H, Karino Y, Toyota J, Tsunoda T, Kubo M | 消化器・代謝内科 | HLA-DQB1*03 Confers Susceptibility to Chronic Hepatitis C in Japanese: A Genome-Wide Association Study                               | PLoS One 2013 Dec 20;8(12):e84226   |
| 214 | Tatsukawa Y, Takahashi S, Kawaoka T, Hiramatsu A, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Ishiyama K, Ide K, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Two patients treated with PEGIFN/RBV/TVR triple therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.          | Hepatol Res 2014 Jan 2. doi: 10.1111/hepr.12296   |
| 215 | Iigawa A, Oka S, Tanaka S, Nakano M, Aoyama T, Watari I, Aikata H, Arihiro K, Chayama K  | 消化器・代謝内科 | Small bowel metastasis of hepatocellular carcinoma detected by capsule endoscopy   | Case Rep Gastroenterol 2013 Nov 28;7(3):492-7   |
| 216 | Chayama K, Hayes CN  | 消化器・代謝内科 | Interleukin-28B polymorphisms and hepatitis C virus clearance  | Genome Med 2013 Jan 29;5(1):6   |
| 217 | Hirakawa T, Tamaki T, Raytchev B, Kaneda K, Koide T, Yoshida S, Kominami Y, Matsuo T, Miyaki R, Tanaka S   | 消化器・代謝内科 | Labeling colorectal NBI zoom-videoendoscope image sequences with MRF and SVM   | The proceeding of 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2013) 2013;2013:4831-4. doi: 10.1109/EMBC.2013.6610629. |
| 218 | Aoki H, Furukawa R, Aoyama M, Hiura S, Asada N, Sagawa R, Kawasaki H, Tanaka S, Yoshida S, Sanomura Y  | 消化器・代謝内科 | Proposal on 3-D Endoscope by Using Grid-based Active Stereo  | The proceeding of 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2013) 2013;2013:5694-7. doi: 10.1109/EMBC.2013.6610843. |
| 219 | Kagawa K, Zhang B, Seo MW, Kawahito S, Kominami Y, Yamada K, Yoshida S, Tanaka S   | 消化器・代謝内科 | Dual-band multi-aperture enhanced redox imaging of colonic adenomas for endoscopes with a high-performance CMOS imager               | The proceeding of IEEE Eng MED Biol Soc 2013;2013:1414-7  |
| 220 | Boda T, Ito M, Yoshihara M, Kitamura Y, Matsuo T, Oka S, Tanaka S, Chayama K   | 消化器・代謝内科 | Advanced method for evaluation of gastric cancer risk by serum markers: determination of true low-risk subjects for gastric neoplasm | Helicobacter 2014 Feb;19(1):1-8   |

計10

|     |   |                  |   |   |
|-----|---|------------------|---|---|
| 221 | Ishii Y, Sasaki T, Serikawa M, Minami T, Okazaki A, Yukitake M, Ishigaki T, Kosaka K, Mori T, Yoshimi S, Shimizu A, Tsuboi T, Chayama K   | 消化器・代謝内科         | Elevated expression of cyclooxygenase-2 and microsomal prostaglandin E synthase-1 in primary sclerosing cholangitis: Implications for cholangiocarcinogenesis | INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY 2013 Oct;43(4):1073-9                     |
| 222 | Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, C Nelson Hayes, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T, Chayama K                               | 消化器・代謝内科         | A novel TK-NOG based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections  | Biochemical and Biophysical Research Communications 2013 Nov 8;441(1):230-5 |
| 223 | Nakai Y, Isayama H, Mukai T, Itoi T, Maetani I, Kawakami H, Yasuda I, Maguchi H, Ryozaawa S, Hanada K, Hasebe O, Ito K, Kawamoto H, Mochizuki H, Igarashi Y, Ilirisawa A, Sasaki T, Togawa O, Hara T, Kamada H, Kogure H, Toda N Hamada T | 消化器・代謝内科         | Impact of anticancer treatment on recurrent obstruction in covered metallic stents for malignant biliary obstruction  | J Gastroenterol 2013 Nov;48(11):1293-9                                      |
| 224 | Onoyama M, Kitadai Y, Tanaka Y, Yuge R, Shinagawa K, Tanaka S, Yasui W, Chayama K   | 消化器・代謝内科         | Combining molecular targeted drugs to inhibit both cancer cells and activated stromal cells in gastric cancer   | Neoplasia 2013 Dec;15(12):1391-9  |
| 225 | Hyogo H, Chayama K, Yamagishi SI  | 消化器・代謝内科         | Nonalcoholic fatty liver disease and cardiovascular disease.  | Curr Pharm Des. 2014;20(14):2403-11   |
| 226 | Chayama K, Hayes CN, Ohishi W, Kawakami Y   | 消化器・代謝内科         | Response to Treatment guidelines for HCV genotype 1 : mono for low, triple for high, and dual for middle?   | J Gastroenterol 2013 Apr;48(4):557-8  |
| 227 | Hamai Y, Hihara J, Taomoto J, Kishimoto I, Kobayashi Y, Miyata Y, Aikata H, Chayama K, Okada M  | 消化器・代謝内科・原医研腫瘍外科 | Airway Stenting for Tracheal Obstruction Due to Lymph Node Metastasis of Hepatocellular Carcinoma   | Anticancer Res 2013 Apr;33(4):1761-4  |
| 228 | Onoe T, Tanaka Y, Ide K, Ishiyama K, Oshita A, Kobayashi T, Amano H, Tashiro H, Ohdan H.  | 消化器・移植外科         | Attenuation of Portal Hypertension by Continuous Portal Infusion of PGE1 and Immunologic Impact in Adult-to-Adult Living-Donor Liver Transplantation.         | Transplantation. 95(12):1521-1527.  |
| 229 | Imada S, Noura S, Ohue M, Shingai T, Sueda T, Kishi K, Yamada T, Ohigashi H, Yano M, Ishikawa O.  | 消化器・移植外科         | Efficacy of subcutaneous penrose drains for surgical site infections in colorectal surgery  | World J Gastrointest Surg. 5(4): 110-114.                                   |
| 230 | Shimomura M, Hinoi T, Kuroda S, Adachi T, Kawaguchi Y, Sasada T, Takakura Y, Egi H, Okajima M, Tashiro H, Nishizaka T, Ohdan H.   | 消化器・移植外科         | Overexpression of Hypoxia Inducible Factor-1 Alpha is an Independent Risk Factor for Recurrence After Curative Resection of Colorectal Liver Metastases.      | Ann Surg Oncol. 20 Suppl 3:S527-36.   |

計10

|     |  |  |          |  |  |
|-----|--|--|----------|--|--|
| 231 | Adachi T, Hinoi T, Egi H, Ohdan H.   |  | 消化器・移植外科 | Surgical treatment for isolated inguinal lymph node metastasis in lower rectal adenocarcinoma patients improves outcome.                                     | Int J Colorectal Dis. 28(12):1675-1680.  |
| 232 | Egi H, Hattori M, Tokunaga M, Suzuki T, Kawaguchi K, Sawada H, Ohdan H.  |  | 消化器・移植外科 | Face, content and concurrent validity of the Mimic(R) dV-Trainer for robot-assisted endoscopic surgery: a prospective study.                                 | Eur Surg Res. 50(3-4):292-300.   |
| 233 | Egi H, Tokunaga M, Hattori M, Ohdan H.   |  | 消化器・移植外科 | Evaluating the correlation between the HUESAD and OSATS scores: Concurrent validity study.   | Minim Invasive Ther Allied Technol. 22(3):144-149.                                 |
| 234 | Hinoi T, Okajima M, Shimomura M, Egi H, Ohdan H, Konishi F, Sugihara K, Watanabe M.  |  | 消化器・移植外科 | Effect of Left Colonic Artery Preservation on Anastomotic Leakage in Laparoscopic Anterior Resection for Middle and Low Rectal Cancer.                       | World J Surg 2013. 37(12):2935-2943.   |
| 235 | Imada S, Ishiyama K, Ide K, Kobayashi T, Amano H, Tashiro H, Arihiro K, Aikata H, Chayama K, Ohdan H.  |  | 消化器・移植外科 | Inferior vena cava tumor thrombus that directly infiltrated from paracaval lymph node metastases in a patient with recurrent hepatocellular carcinoma.       | World J Surg Oncol. 11(1):177  |
| 236 | Ohdan H.   |  | 消化器・移植外科 | Is living donor liver transplantation really equivalent to deceased donor liver transplantation?   | Transpl Int. 26(8):778-779.  |
| 237 | Ohira M, Nishida S, Matsuura T, Muraoka I, Tryphonopoulos P, Fan J, Tekin A, Selvaggi G, Levi D, Ruiz P, Ricordi C, Ohdan H, Tzakis AG.  |  | 消化器・移植外科 | Comparative analysis of T-cell depletion method for clinical immunotherapy-anti-hepatitis c effects of natural killer cells via interferon-gamma production. | Transplant Proc. 45(5):2045-2050.  |
| 238 | Oue N, Anami K, Schetter AJ, Moehler M, Okayama H, Khan MA, Bowman ED, Mueller A, Schad A, Shimomura M, Hinoi T, Aoyagi K, Sasaki H, Okajima M, Ohdan H, Galle PR, Yasui W, Harris CC. |  | 消化器・移植外科 | High miR-21 expression from FFPE tissues is associated with poor survival and response to adjuvant chemotherapy in colon cancer.                             | Int J Cancer. 2014 Apr 15;134(8):1926-34. doi: 10.1002/ijc.28522. Epub 2013 Nov 8. |
| 239 | Saeki Y, Ide K, Kakizawa H, Ishikawa M, Tashiro H, Ohdan H.  |  | 消化器・移植外科 | Controlling the bleeding of jejunal varices formed at the site of cholecystojejunostomy: report of 2 cases and a review of the literature.                   | Surg Today. 43(5):550-555.   |
| 240 | Shimizu S, Oshita A, Tashiro H, Amano H, Kobayashi T, Tanaka M, Arihiro K, Ohdan H.  |  | 消化器・移植外科 | Synchronous double cancers of primary hepatic adenosquamous carcinoma and hepatocellular carcinoma: report of a case.  | Surg Today. 43(4):418-423.   |

計10

|     |  |          |   |  |
|-----|--|----------|---|--|
| 241 | Sueda Y, Hattori M, Sawada H, Egi H, Ohdan H, Ueda J, Tsuji T, Kurita Y.   | 消化器・移植外科 | Improvement of tactile sensitivity by stochastic resonance effect - Applications to surgical grasping forceps.  | Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 4601-4604.        |
| 242 | Sumitani D, Egi H, Tokunaga M, Hattori M, Yoshimitsu M, Kawahara T, Okajima M, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Virtual reality training followed by box training improves the laparoscopic skills of novice surgeons.  | Minim Invasive Ther Allied Technol. 22(3):150-156. |
| 243 | Takakura Y, Hinoi T, Egi H, Shimomura M, Adachi T, Saito Y, Tanimine N, Miguchi M, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Procalcitonin as a predictive marker for surgical site infection in elective colorectal cancer surgery.   | Langenbecks Arch Surg. 398(6):833-839.             |
| 244 | Tashiro H, Ide K, Amano H, Kobayashi T, Onoe T, Ishiyama K, Kuroda S, Tazawa H, Kono H, Aikata H, Takahashi S, Chayama K, Ohdan H. | 消化器・移植外科 | Surgical treatment for portosystemic encephalopathy in patients with liver cirrhosis: Occlusion of portosystemic shunt in combination with splenectomy. | Hepatol Res. 43(3):249-254.                        |
| 245 | Tashiro H, Kuroda S, Mikuriya Y, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Ischemia-reperfusion injury in patients with fatty liver and the clinical impact of steatotic liver on hepatic surgery.                                 | Surg Today 2013 Sep 27.                            |
| 246 | Tazawa H, Irei T, Tanaka Y, Igarashi Y, Tashiro H, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Blockade of invariant TCR-CD1d interaction specifically inhibits antibody production against blood group A carbohydrates.                               | Blood. 122:2582-2590.                              |
| 247 | Tomita H, Fuchimoto Y, Mori T, Kato J, Uemura T, Handa M, Tazawa H, Ohdan H, Okamoto S, Kuroda T.                                  | 消化器・移植外科 | Production of anti-ABO blood group antibodies after minor ABO-incompatible bone marrow transplantation in NOD/SCID/gamma(c)(null) mice.                 | Clin Transplant. 27(6):E702-708.                   |
| 248 | Adachi T, Hinoi T, Sasaki Y, Niitsu H, Saito Y, Miguchi M, Shimomura M, Ohdan H.   | 消化器・移植外科 | Colonoscopy as a tool for evaluating colorectal tumor development in a mouse model.   | Int J Colorectal Dis. 29(2):217-223.               |
| 249 | Kobayashi T, Ishiyama K, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Prevention of recurrence after curative treatment for hepatocellular carcinoma.   | Surg Today. 43(12):1347-1354.                      |
| 250 | Egawa H, Teramukai S, Haga H, Tanabe M, Mori A, Ikegami T, Kawagishi N, Ohdan H, Kasahara M, Umeshita K.                           | 消化器・移植外科 | Impact of Rituximab Desensitization on Blood-Type-Incompatible Adult Living Donor Liver Transplantation: A Japanese Multicenter Study.                  | Am J Transplant. 14(1):102-114.                    |

計10

|     |  |          |   |   |
|-----|--|----------|---|---|
| 251 | Okuda H, Ohdan H, Nakayama M, Koseki H, Nakagawa T, Ito T.   | 消化器・移植外科 | The USP21 Short Variant (USP21SV) Lacking NES, Located Mostly in the Nucleus In Vivo, Activates Transcription by Deubiquitylating ubH2A In Vitro.                     | PLoS One. 22:8(11):e79813.                        |
| 252 | Yanai H, Matsuda A, An J, Koshiba R, Nishio J, Negishi H, Ikushima H, Onoe T, Ohdan H, Yoshida N, Taniguchi T.   | 消化器・移植外科 | Conditional ablation of HMGB1 in mice reveals its protective function against endotoxemia and bacterial infection.  | Proc Natl Acad Sci U S A. 110(51):20699-20704.    |
| 253 | Tokunaga M, Egi H, Hattori M, Suzuki T, Kawahara T, Ohdan H.   | 消化器・移植外科 | Improving performance under mirror-image conditions during laparoscopic surgery using the Broadview camera system.  | Asian J Endosc Surg. 7(1):17-24.                  |
| 254 | Yoshikawa T, Tanabe K, Nishikawa K, Ito Y, Matsui T, Kimura Y, Hirabayashi N, Mikata S, Iwahashi M, Fukushima R, Takiguchi N, Miyashiro I, Morita S, Miyashita Y, Tsuburaya A, Sakamoto J.   | 消化器・移植外科 | Induction of a Pathological Complete Response by Four Courses of Neoadjuvant Chemotherapy for Gastric Cancer: Early Results of the Randomized Phase II COMPASS Trial. | Ann Surg Oncol. 21(1):213-219.                    |
| 255 | Koizumi W, Kim YH, Fujii M, Kim HK, Imamura H, Lee KH, Hara T, Chung HC, Satoh T, Cho JY, Hosaka H, Tsuji A, Takagane A, Inokuchi M, Tanabe K, Okuno T, Ogura M, Yoshida K, Takeuchi M, Nakajima T; The JACCRO and KCSG Study Group. | 消化器・移植外科 | Addition of docetaxel to S-1 without platinum prolongs survival of patients with advanced gastric cancer: a randomized study (START).                                 | J Cancer Res Clin Oncol. 140(2):319-328.          |
| 256 | Tanaka A, Kato A, Suzuki Y, Suzuki M, Ohmori H, Sumimoto R, Ohdan H.   | 消化器・移植外科 | Association of increased indoleamine 2, 3-dioxygenase with impaired natural killer cell activity in hemodialysis patients.  | Ther Apher Dial. 18(1):19-23.                     |
| 257 | Yanagawa S, Tanabe K, Suzuki T, Tokumoto N, Arihiro K, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | A large esophageal gastrointestinal stromal tumor that was successfully resected after neoadjuvant imatinib treatment: case report.                                   | World J Surg Oncol. 12(1):47.                     |
| 258 | Abe T, Nagaie T, Miyazaki M, Ochi M, Fukuya T, Kajiyama K  | 消化器・移植外科 | Risk factors of converting to laparotomy in laparoscopic appendectomy for acute appendicitis.   | Clinical and experimental gastroenterology, 6 1-6 |
| 259 | Banshodani M, Onoe T, Shishida M, Tahara H, Hashimoto S, Igarashi Y, Tanaka Y, Ohdan H.  | 消化器・移植外科 | Adoptive transfer of allogeneic liver sinusoidal endothelial cells specifically inhibits T cell responses to cognate stimuli.   | Cell Transplant. 22(9):1695-1708.                 |
| 260 | Morooka Y, Umeshita K, Taketomi A, Shirabe K, Maehara Y, Yamamoto M, Shimamura T, Oshita A, Kanno K, Ohdan H, Kawagishi N, Satomi S, Ogawa K, Hagiwara K, Nagano H.  | 消化器・移植外科 | Reliability and validity of a new living liver donor quality of life scale.   | Surg Today. 43(7):732-740.                        |

計10

|     |   |           |  |   |
|-----|---|-----------|--|---|
| 261 | Shiwa T, Oki K, Yamane K, Yoneda M, Awaya T, Nakanishi S, Kohno N.  | 内分泌・糖尿病内科 | Significantly high level of late-night free cortisol to creatinine ratio in urine specimen in patients with subclinical Cushing's syndrome.                      | Clin Endocrinol (Oxf). 2013;79(5): 617-622                      |
| 262 | Maeda S, Nakanishi S, Kohno N.  | 内分泌・糖尿病内科 | Relationship between Bathing Habits and the Serum Lipid Profile Among Japanese-Americans.  | J Atheroscler Thromb. 2013;20(11): 830-832                      |
| 263 | Okubo H, Sakoda H, Kushiya A, Fujishiro M, Nakatsu Y, Fukushima T, Matsunaga Y, Kamata H, Asahara T, Yoshida Y, Chonan O, Iwashita M, Nishimura F, Asano T.   | 内分泌・糖尿病内科 | Lactobacillus casei strain Shirota protects against non-alcoholic steatohepatitis development in a rodent model.   | Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2013;305(12): G911-918 |
| 264 | Ohno H, Shinoda K, Ohyama K, Sharp LZ, Kajimura S.  | 内分泌・糖尿病内科 | EHMT1 controls brown adipose cell fate and thermogenesis through the PRDM16 complex.   | Nature. 2013;504(7478): 163-167                                 |
| 265 | Oki K, Kopf PG, Campbell WB, Luis Lam M, Yamazaki T, Gomez-Sanchez CE, Gomez-Sanchez EP.  | 内分泌・糖尿病内科 | Angiotensin II and III metabolism and effects on steroid production in the HAC15 human adrenocortical cell line.   | Endocrinology. 2013;154(1): 214-221                             |
| 266 | Hirano M, Nakanishi S, Kubota M, Maeda S, Yoneda M, Yamane K, Kira S, Sasaki H, Kohno N.  | 内分泌・糖尿病内科 | Low high-density lipoprotein cholesterol level is a significant risk factor for development of type 2 diabetes: Data from the Hawaii-Los Angeles-Hiroshima study | J Diabetes Invest. 1 DEC 2013, DOI: 10.1111/jdi.12170           |
| 267 | Hirata O, Okada S, Tsumura M, Kagawa R, Miki M, Kawaguchi H, Nakamura K, Boisson-Dupuis S, Casanova JL, Takihara Y, Kobayashi M.  | 小児科       | Heterozygosity for the Y701C STAT1 mutation in a multiplex kindred with multifocal osteomyelitis.  | Haematologica. 2013;98(10):1641-9.                              |
| 268 | Yoshida K, Toki T, Okuno Y, Kanazaki R, Shiraishi Y, Sato-Otsubo A, Sanada M, Park MJ, Terui K, Suzuki H, Kon A, Nagata Y, Sato Y, Wang R, Shiba N, Chiba K, Tanaka H, Hama A, Muramatsu H, Hasegawa D, Nakamura K, Kanegane H, Tsukamoto K, Adachi S, Kawakami K, Kato K, Nishimura R, Izraeli S, Hayashi Y, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S. | 小児科       | The landscape of somatic mutations in Down syndrome-related myeloid disorders.   | Nat Genet. 2013;45(11):1293-9.                                  |
| 269 | Hiramoto T, Ebihara Y, Mizoguchi Y, Nakamura K, Yamaguchi K, Ueno K, Nariai N, Mochizuki S, Yamamoto S, Nagasaki M, Furukawa Y, Tani K, Nakauchi H, Kobayashi M, Tsuji K.   | 小児科       | Wnt3a stimulates maturation of impaired neutrophils developed from severe congenital neutropenia patient-derived pluripotent stem cells.                         | Proc Natl Acad Sci U S A. 2013;110(8):3023-8.                   |
| 270 | Grant AV, El Baghdadi J, Sabri A, El Azbaoui S, Alaoui-Tahiri K, Abderrahmani Rhorfi I, Gharbaoui Y, Abid A, Benkirane M, Raharimanga V, Richard V, Orlova M, Boland A, Migaud M, Okada S, Nolan DK, Bustamante J, Barreiro LB, Schurr E, Boisson-Dupuis S, Rasolofoa V, Casanova JL, Abel L.   | 小児科       | Age-dependent association between pulmonary tuberculosis and common TOX variants in the 8q12-13 linkage region.  | Am J Hum Genet. 2013;92(3):407-14                               |

計10



|     |  |     |   |                                   |
|-----|--|-----|---|-----------------------------------|
| 271 | Sołtész B, Tóth B, Shabashova N, Bondarenko A, Okada S, Cypowyj S, Abhyankar A, Csorba G, Taskó S, Sarkadi AK, Méhes L, Rozsival P, Neumann D, Chernyshova L, Tulassay Z, Puel A, Casanova JL, Sediva A, Litzman J, Maródi L.  | 小児科 | New and recurrent gain-of-function STAT1 mutations in patients with chronic mucocutaneous candidiasis from Eastern and Central Europe.  | J Med Genet. 2013;50(9):567-78.   |
| 272 | Moncada-Vélez M, Martínez-Barricarte R, Bogunovic D, Kong XF, Blancas-Galicia L, Tirpan C, Aksu G, Vincent QB, Boisson B, Itan Y, Rami rez-Alejo N, Okada S, Kreins AY, Bryant VL, Franco JL, Migaud M, Espinosa-Padilla S, Yamazaki-Nakashimada M, Espinosa-Rosales F, Kutukculer N, Abel L, Bustamante J, Vogt G, Casanova JL, Boisson-Dupuis S. | 小児科 | Partial IFN-gamma R2 deficiency is due to protein misfolding and can be rescued by inhibitors of glycosylation.   | Blood. 2013;122(14):2390-401.     |
| 273 | Kong XF, Bousfiha A, Rouissi A, Itan Y, Abhyankar A, Bryant V, Okada S, Ailal F, Bustamante J, Casanova JL, Hirst J, Boisson-Dupuis S.   | 小児科 | A novel homozygous p.R1105X mutation of the AP4E1 gene in twins with hereditary spastic paraplegia and mycobacterial disease.   | PLoS One. 2013;8(3):e58286.       |
| 274 | Kong XF, Vogt G, Itan Y, Macura-Biegun A, Szaflarska A, Kowalczyk D, Chappier A, Abhyankar A, Furthner D, Džambas Khayat C, Okada S, Bryant VL, Bogunovic D, Kreins A, Moncada-Vélez M, Migaud M, Al-Ajaji S, Al-Muhsen S, Holland SM, Abel L, Picard C, Chaussabel D, Bustamante J, Casanova JL, Boisson-Dupuis S.                                | 小児科 | Haploinsufficiency at the human IFNGR2 locus contributes to mycobacterial disease.  | Hum Mol Genet. 2013;22(4):769-81  |
| 275 | Matsumoto M, Imura T, Fukazawa T, Sun Y, Takeda M, Kajume T, Kawahara Y, Yuge L.   | 小児科 | Electrical stimulation enhances neurogenin2 expression through beta-catenin signaling pathway of mouse bone marrow stromal cells and intensifies the effect of cell transplantation on brain injury.      | Neurosci Lett. 2013;533:71-6.     |
| 276 | Fukazawa T, Matsumoto M, Imura T, Khalesi E, Kajume T, Kawahara Y, Tanimoto K, Yuge L.   | 小児科 | Electrical stimulation accelerates neuromuscular junction formation through ADAM19/neuregulin/ErbB signaling in vitro.  | Neurosci Lett. 2013;545:29-34     |
| 277 | Imura T, Matsumoto M, Fukazawa T, Khalesi E, Sun Y, Takeda M, Uwatoko H, Nakata K, Tanimoto K, Kajume T, Kawahara Y, Yuge L.   | 小児科 | Interactive effects of cell therapy and rehabilitation realize the full potential of neurogenesis in brain injury model.  | Neurosci Lett. 2013;555:73-8.     |
| 278 | Kobayashi Y, Matsui H, Kanai A, Tsumura M, Okada S, Miki M, Nakamura K, Kunishima S, Inaba T, Kobayashi M.   | 小児科 | Identification of the integrin beta3 L718P mutation in a pedigree with autosomal dominant thrombocytopenia with anisocytosis.   | Br J Haematol. 2013;160:521-9.    |
| 279 | Ishikawa N, Kawaguchi H, Nakamura K, Kobayashi M.  | 小児科 | Central nervous system complications and neuroradiological findings in children with chronic active Epstein-Barr virus infection.   | Pediatr Int. 2013;55(1):72-8.     |
| 280 | Kajume A, Aoyama-Setoyama S, Saito-Hori Y, Ishikawa N, Kobayashi M.  | 小児科 | Reduced brain activation during imitation and observation of others in children with pervasive developmental disorder: a pilot study. Kajume A, Aoyama-Setoyama S, Saito-Hori Y, Ishikawa N, Kobayashi M. | Behav Brain Funct. 2013;29(1):21. |

計10

|     |  |     |  |  |
|-----|--|-----|--|--|
| 281 | Ishikawa N, Kobayashi Y, Fujii Y, Kobayashi M.   | 小児科 | Paroxysmal periodic dystonic postures in an infant with 18q23 deletion syndrome.   | Neuropediatrics. 2013;44(3):163-6.   |
| 282 | Kobayashi Y, Ishikawa N, Tsumura M, Fujii Y, Okada S, Shigematsu Y, Kobayashi M.   | 小児科 | Acute severe encephalopathy related to human herpesvirus-6 infection in a patient with carnitine palmitoyltransferase 2 deficiency carrying thermolabile variants. | Brain Dev. 2013;35(5):449-53.  |
| 283 | Kawashima Y, Nishimura R, Utsunomiya A, Kagawa R, Funata H, Fujimoto M, Hanaki K, Kanzaki S.                                 | 小児科 | Leprechaunism (Donohue syndrome): a case bearing novel compound heterozygous mutations in the insulin receptor gene.   | Endocr J. 2013;60(1):107-12.   |
| 284 | Tajima G, Sakura N, Kosuga M, Okuyama T, Kobayashi M.  | 小児科 | Effects of idursulfase enzyme replacement therapy for Mucopolysaccharidosis type II when started in early infancy: comparison in two siblings.                     | Mol Genet Metab. 2013;108(3):172-7.  |
| 285 | Yamamoto A, Nakamura K, Matsumoto S, Iwai M, Shigematsu Y, Tajima G, Tsumura M, Okada S, Mitsubuchi H, Endo F.               | 小児科 | VLCAD deficiency in a patient who recovered from ventricular fibrillation, but died suddenly of a respiratory syncytial virus infection.                           | Pediatr Int. 2013;55(6):775-8.   |
| 286 | Utsunomiya AN, Okada S, Hara K, Miki M, Mizoguchi Y, Kobayashi Y, Miyagawa S, Jinno K, Nakamura K, Sato T, Kobayashi M.      | 小児科 | Management of advanced-stage neuroblastoma in a patient with 21-hydroxalase deficiency.  | Pediatr Int. 2013;55(4):e96-9.   |
| 287 | Imataka G, Sakamoto O, Yamanouchi H, Yoshihara S, Omura-Hasegawa Y, Tajima G, Arisaka O.                                     | 小児科 | Novel c.2216T > C (p.I739T) mutation in exon 13 and c.1481T > A (p.L494X) mutation in exon 8 of MUT gene in a female with methylmalonic acidemia.                  | Cell Biochem Biophys. 2013;67(1):185-7.  |
| 288 | Hiragun, T., Ishii, K., Hiragun, M., Suzuki, H., Kan, T., Mihara, S., Yanase, Y., Bartels, J., Schröder, J. M., and Hide, M. | 皮膚科 | Fungal protein MGL1304 in sweat is an allergen for atopic dermatitis patients.   | J. Allergy Clin. Immunol. 2013 Sep;132(3):608-615.e4. doi: 10.1016/j.jaci.2013.03.047. Epub 2013 May 29. |
| 289 | Kan T, Takahagi S, Kamegashira A, Ooiwa H, Yaguchi T, Hide M.  | 皮膚科 | Disseminated subcutaneous phaeohyphomycosis caused by Exophiala oligosperma in a patient with Wegener's granulomatosis.  | Acta Derm Venereol. 2013 May;93(3):356-7. doi: 10.2340/00015555-1451.                                    |
| 290 | Yanase Y, Hiragun T, Yanase T, Kawaguchi T, Ishii K, Hide M  | 皮膚科 | Application of SPR imaging sensor for detection of individual living cell reactions and clinical diagnosis of type I allergy                                       | Allergol Int. 2013 Jun;62(2):163-9. doi: 10.2332/allergolint.12-RA-0505. Epub 2013 Feb 25.               |

計10

|     |   |      |  |  |
|-----|---|------|--|--|
| 291 | Kohno K, Matsuo H, Takahashi H, Niihara H, Chinuki Y, Kaneko S, Honjoh T, Horikawa T, Mihara S, and Morita E                              | 皮膚科  | Serum gliadin monitoring is useful in the challenge test to diagnose wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis  | Allergol Int. 2013 Jun;62(2):229-38. doi: 10.2332/allergolint.12-OA-0495. Epub 2013 Apr 25.                                  |
| 292 | Hiragun M, Ishii K, Hiragun T, Shindo H, Mihara S, Matsuo H, Hide M.  | 皮膚科  | The sensitivity and clinical course of patients with wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis sensitized to hydrolyzed wheat protein in facial soap - secondary publication.   | Allergol Int. 2013 Sep;62(3):351-8. doi: 10.2332/allergolint.13-OA-0553. Epub 2013 Jul 25.                                   |
| 293 | Yokooji T, Kurihara S, Murakami T, Chinuki Y, Takahashi H, Morita E, Harada S, Ishii K, Hiragun M, Hide M, Matsuo H.                      | 皮膚科  | Characterization of causative allergens for wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis sensitized with hydrolyzed wheat proteins in facial soap.   | Allergol Int. 2013 Dec;62(4):435-45. doi: 10.2332/allergolint.13-OA-0561. Epub 2013 Aug 25.                                  |
| 294 | Matsuo, H., Yokooji, T., Morita, H., Ooi, M., Urata, K., Ishii, K., Takahagi, S., Yanase, Y., Hiragun, T., Mihara, S., and Hide, M.       | 皮膚科  | Aspirin augments IgE-mediated histamine release from human peripheral basophils via Syk kinase activation.   | Allergol. Int. 2013 Dec;62(4):503-11. doi: 10.2332/allergolint.13-OA-0536. Epub 2013 Oct 25.                                 |
| 295 | Hiragun, M., Hiragun, T., Mihara, S., Akita, T., Tanaka, J., and Hide, M.   | 皮膚科  | Prognosis of chronic spontaneous urticaria in 117 patients not controlled by a standard dose of antihistamine.   | Allergy 2013 Feb;68(2):229-35. doi: 10.1111/all.12078. Epub 2012 Dec 4.  |
| 296 | Maurer M, Bindslev-Jensen C, Gimenez-Arnau A, Godse K, Grattan CE, Hide M, Kaplan AP, Makris M, Simons FE, Zhao Z, Zuberbier T, Church MK | 皮膚科  | Chronic idiopathic urticaria (CIU) is no longer idiopathic: time for an update.  | Br J Dermatol 2013 Feb;168(2):455-6. doi: 10.1111/j.1365-2133.2012.11171.x.  |
| 297 | Toko M, Oiwa H, Mihara S, Sugiyama E.   | 皮膚科  | Biopsy of the temporal artery in a patient with giant cell arteritis.  | Internal Medicine 2013;52(18):2165.  |
| 298 | Choi H, Tanaka M, Hiragun T, Hide M, Sugimoto K   | 皮膚科  | Non-tumor mast cells cultured in vitro on a honeycomb-like structured film proliferate with multinucleated formation   | Nanomedicine: Nanotechnology, Biology, and Medicine 2014 Feb;10(2):313-9. doi: 10.1016/j.nano.2013.08.011. Epub 2013 Sep 10. |
| 299 | Nakanishi K, Tanaka N, Fujimoto Y, Okuda T, Kamei N, Nakamae T, Izumi B, Ohta R, Fujioka Y, Ochi M.                                       | 整形外科 | Medium-term clinical results of microsurgical lumbar flavectomy that preserves facet joints in cases of lumbar degenerative spondylolisthesis: comparison of bilateral laminotomy with bilateral decompression by a unilateral approach. | J Spinal Disord Tech 2013 Oct;26(7):351-8. doi: 10.1097/BSD.0b013e3182477f7d.  |
| 300 | Shibuya H, Nakasa T, Adachi N, Nagata Y, Ishikawa M, Deie M, Suzuki O, Ochi M.  | 整形外科 | Overexpression of microRNA-223 in rheumatoid arthritis synovium controls osteoclast differentiation.   | Mod Rheumatol 2013 Jul;23(4):674-85. doi: 10.1007/s10165-012-0710-1. Epub 2012 Aug 19.                                       |

計10

|     |  |      |   |   |
|-----|--|------|---|---|
| 301 | Nakanishi K, Tanaka N, Kamei N, Nakamae T, Izumi B, Ohta R, Fujjoka Y, Ochi M.             | 整形外科 | Use of prone position magnetic resonance imaging for detecting the terminal filum in patients with occult tethered cord syndrome.                                     | J Neurosurg Spine 2013 Jan;18(1):76-84. doi: 10.3171/2012.10.SPINE12321. Epub 2012 Nov 9.                   |
| 302 | Kazusa H, Nakamae A, Ochi M.   | 整形外科 | Augmentation technique for anterior cruciate ligament injury.   | Clin Sports Med 2013 Jan;32(1):127-40. doi: 10.1016/j.csm.2012.08.012. Epub 2012 Sep 23.                    |
| 303 | Nakabayashi A, Kamei N, Sunagawa T, Suzuki O, Ohkawa S, Kodama A, Kamei G, Ochi M.         | 整形外科 | In vivo bioluminescence imaging of magnetically targeted bone marrow-derived mesenchymal stem cells in skeletal muscle injury model.                                  | J Orthop Res 2013 May;31(5):754-9. doi: 10.1002/jor.22282. Epub 2012 Nov 28.                                |
| 304 | Nakamae A, Ochi M, Adachi N, Deie M, Nakasa T, Kamei G, Okuhara A, Niimoto T, Ohkawa S.    | 整形外科 | Far anteromedial portal technique for posterolateral femoral tunnel drilling in anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction: a cadaveric study.  | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2014 Jan;22(1):181-7. doi: 10.1007/s00167-012-2346-2. Epub 2012 Dec 15. |
| 305 | Kubo T, Shimose S, Fujimori J, Arihiro K, Ochi M.  | 整形外科 | Diversity of angiogenesis among malignant bone tumors.  | Mol Clin Oncol 2013 Jan;1(1):131-136. Epub 2012 Aug 10.   |
| 306 | Ochi M   | 整形外科 | Mesenchymal stromal cell transplantation in the regeneration of articular cartilage and bone using a magnetic cell delivery system.                                   | J Am Acad Orthop Surg 2013 Jan;21(1):61-2. doi: 10.5435/JAAOS-21-01-61.                                     |
| 307 | Ohkawa S, Kamei N, Kamei G, Shi M, Adachi N, Deie M, Ochi M.                               | 整形外科 | Magnetic targeting of human peripheral blood CD133+ cells for skeletal muscle regeneration.   | Tissue Eng Part C Methods. 2013 Aug;19(8):631-41. doi: 10.1089/ten.TEC.2012.0431. Epub 2013 Feb 25.         |
| 308 | Hadoush H, Sunagawa T, Ochi M.   | 整形外科 | Somatosensory cortical plasticity and hand sensibility after toe-to-thumb transfer.   | J Hand Surg Eur Vol 2013 Nov;38(9):1001-3. doi: 10.1177/1753193412474382. Epub 2013 Jan 11.                 |
| 309 | Mori R, Yasunaga Y, Yamasaki T, Hamanishi M, Shoji T, Ochi M.                              | 整形外科 | Ten year results of transtrochanteric valgus osteotomy with or without the shelf procedure.   | Int Orthop 2013 Apr;37(4):599-604. doi: 10.1007/s00264-013-1810-z. Epub 2013 Feb 6.                         |
| 310 | Nakamae T, Tanaka N, Nakanishi K, Kamei N, Hamasaki T, Izumi B, Fujjoka Y, Ohta R, Ochi M. | 整形外科 | Surgical treatment of high-grade dysplastic spondylolisthesis using intraoperative electrophysiological monitoring: report of two cases and review of the literature. | Eur J Orthop Surg Traumatol 2013 Jul;23 Suppl 1:S121-7. doi: 10.1007/s00590-013-1199-9. Epub 2013 Mar 6.    |

計10

|     |   |      |   |  |
|-----|---|------|---|--|
| 311 | Nakasa T, Adachi N, Shibuya H, Okuhara A, Ochi M.   | 整形外科 | Evaluation of joint position sense measured by inversion angle replication error in patients with an osteochondral lesion of the talus.             | J Foot Ankle Surg 2013 May-Jun;52(3):331-4. doi: 10.1053/j.jfas.2013.01.009. Epub 2013 Mar 7.                |
| 312 | Kamei G, Ochi M, Okuhara A, Fujimiya M, Deie M, Adachi N, Nakamae A, Nakasa T, Ohkawa S, Takazawa K, Eguchi A, Katou T, Takada T, Usman MA. | 整形外科 | A new distraction arthroplasty device using magnetic force; a cadaveric study.  | Clin Biomech 2013 Apr;28(4):423-8. doi: 10.1016/j.clinbiomech.2013.02.003. Epub 2013 Mar 15.                 |
| 313 | Tanaka N, Fujimoto Y, Sumida T, Manabe H, Nakanishi K, Fujiwara Y, Kamei N, Nakamae T, Izumi B, Ochi M.                                     | 整形外科 | Long-term clinical results of microsurgical transdural discectomy with laminoplasty: follow-up results over 10 years.                               | J Neurosurg Spine 2013 Jun;18(6):653-60. doi: 10.3171/2013.3.SPINE12673. Epub 2013 Apr 5.                    |
| 314 | Hamanishi M, Nakasa T, Kamei N, Kazusa H, Kamei G, Ochi M.  | 整形外科 | Treatment of cartilage defects by subchondral drilling combined with covering with atelocollagen membrane induces osteogenesis in a rat model.      | J Orthop Sci 2013 Jul;18(4):627-35. doi: 10.1007/s00776-013-0379-0. Epub 2013 Apr 6.                         |
| 315 | Kamei G, Kobayashi T, Ohkawa S, Kongcharoensohbat W, Adachi N, Takazawa K, Shibuya H, Deie M, Hattori K, Goldberg JL, Ochi M.               | 整形外科 | Articular cartilage repair with magnetic mesenchymal stem cells.  | Am J Sports Med 2013 Jun;41(6):1255-64. doi: 10.1177/0363546513483270. Epub 2013 Apr 19.                     |
| 316 | Hadoush H, Mano H, Sunagawa T, Nakanishi K, Ochi M.   | 整形外科 | Optimization of mirror therapy to excite ipsilateral primary motor cortex.  | NeuroRehabilitation 2013;32(3):617-24. doi: 10.3233/NRE-130884.  |
| 317 | Adachi N, Ochi M, Deie M, Nakamae A, Kamei G, Uchio Y, Iwasa J.   | 整形外科 | Implantation of tissue-engineered cartilage-like tissue for the treatment for full-thickness cartilage defects of the knee.                         | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2014 Jun;22(6):1241-8. doi: 10.1007/s00167-013-2521-0. Epub 2013 May 12. |
| 318 | Shoji T, Yasunaga Y, Yamasaki T, Mori R, Hamanishi M, Ochi M.   | 整形外科 | Bony impingement depends on the bone morphology of the hip after total hip arthroplasty.  | Int Orthop 2013 Oct;37(10):1897-903. doi: 10.1007/s00264-013-1979-1. Epub 2013 Jul 17.                       |
| 319 | Adachi N, Shimose S, Nakamae A, Okuhara A, Kamei G, Ochi M.   | 整形外科 | Intra-articular osteoid osteoma of the lateral tibial plateau treated with arthroscopically assisted removal and retrograde osteochondral grafting. | Knee 2014 Jan;21(1):343-8. doi: 10.1016/j.knee.2013.08.005. Epub 2013 Aug 15.                                |
| 320 | Ujigo S, Shimose S, Kubo T, Fujimori J, Ochi M.   | 整形外科 | Therapeutic effect and risk factors for complications of excision in 76 patients with schwannoma.   | J Orthop Sci 2014 Jan;19(1):150-5. doi: 10.1007/s00776-013-0477-z. Epub 2013 Oct 9.                          |

計10

|     |  |      |  |  |
|-----|--|------|--|--|
| 321 | Kazusa H, Nakasa T, Shibuya H, Ohkawa S, Kamei G, Adachi N, Deie M, Nakajima N, Hyon SH, Ochi M. | 整形外科 | Strong adhesiveness of a new biodegradable hydrogel glue, LYDEX, for use on articular cartilage.   | J Appl Biomater Funct Mater 2013 Dec 16;11(3):e180-6. doi: 10.5301/JABFM.5000164.                      |
| 322 | Yamasaki T, Yasunaga Y, Mori R, Hamanishi M, Shoji T, Ochi M.                                    | 整形外科 | The Cementless Spotorno stem in THA: 10 year results.  | Hip Int 2014 Jan-Feb;24(1):98-102. doi: 10.5301/hipint.5000068. Epub 2013 Oct 24.                      |
| 323 | Kubo T, Shimose S, Fujimori J, Shimizu R, Ochi M.  | 整形外科 | Extraosseous Extension Caused by Epidural Hematoma in Gaucher Disease Mimicking Malignant Bone Tumor.  | JMD Rep 2013 Dec 21  |
| 324 | Hamanishi M, Yasunaga Y, Yamasaki T, Mori R, Shoji T, Ochi M.                                    | 整形外科 | The clinical and radiographic results of intertrochanteric curved varus osteotomy for idiopathic osteonecrosis of the femoral head.  | Arch Orthop Trauma Surg 2014 Mar;134(3):305-10. doi: 10.1007/s00402-013-1919-y. Epub 2014 Jan 7.       |
| 325 | Kodama A, Sunagawa T, Ochi M.  | 整形外科 | Early treatment of anterior interosseous nerve palsy with hourglass-like fascicular constrictions by interfascicular neurolysis due to early diagnosis using ultrasonography: A case report. | J Hand Surg Eur Vol 2014 Jan 10  |
| 326 | Mori R, Yasunaga Y, Yamasaki T, Nakashiro J, Fuji J, Terayama H, Oshima S, Ochi M.               | 整形外科 | Are cam and pincer deformities as common as dysplasia in Japanese patients with hip pain?  | Bone Joint J 2014 Feb;96-B(2):172-6. doi: 10.1302/0301-620X.96B2.32680.                                |
| 327 | Shimbo K, Miyaki S, Ishitobi H, Kato Y, Kubo T, Shimose S, Ochi M.                               | 整形外科 | Exosome-formed synthetic microRNA-143 is transferred to osteosarcoma cells and inhibits their migration.   | Biochem Biophys Res Commun 2014 Mar 7;445(2):381-7. doi: 10.1016/j.bbrc.2014.02.007. Epub 2014 Feb 10. |
| 328 | Nakasa T, Adachi N, Kato T, Ochi M.  | 整形外科 | Appearance of Subchondral Bone in Computed Tomography Is Related to Cartilage Damage in Osteochondral Lesions of the Talar Dome.   | Foot Ankle Int 2014 Mar 27;35(6):600-606.  |
| 329 | Deie M, Nakasa T, Kamei G, Nakamae A, Ochi M.  | 整形外科 | High flexion knee arthroplasty: the relationship between rotational angles and flexion angle after total knee arthroplasty.  | Curr Rev Musculoskelet Med 2014 Mar 23.  |
| 330 | Sugimoto Y, Shiraiishi S, Yasuda T, Hamada H, Kawamoto M.  | 麻酔科  | Intrathecal adrenomedullin modulates acute inflammatory pain in the rat formalin test.   | Neurosci Lett 2013 Sep 27;552:146-50. doi: 10.1016/j.neulet.2013.07.055. Epub 2013 Aug 9.              |

計10

|     |   |      |  |  |
|-----|---|------|--|--|
| 331 | Saeki N, Mochizuki S, Fujii T, Kawamoto M.  | 麻酔科  | Postsurgical coagulopathy in a hemophilia A patient with inhibitors: the efficacy of recombinant factor VIIa.  | Journal of Anesthesia 2014 Aug;28(4):621-4. doi: 10.1007/s00540-013-1779-1. Epub 2014 Jan 4. |
| 332 | Kondo T, Kusunoki S, Kuroda M, Kawamoto M.  | 麻酔科  | Difficult anesthesia management in a case of living donor related liver transplantation with hypertrophic obstructive cardiomyopathy.  | Hiroshima Journal of Medical Science 2013 Dec;62(4):91-4.                                    |
| 333 | Kato T, Kaŕyama S, Hamada H, Kawamoto M.  | 麻酔科  | Long-term administration of fluvoxamine attenuates neuropathic pain and involvement of spinal serotonin receptors in diabetic model rats.  | Hiroshima Journal of Medical Science 2013 Dec;62(4):83-9.                                    |
| 334 | Hirano H, Horiuchi T, Kutluk A, Kurita Y, Ukawa T, Nakamura R, Saeki N, Higashi Y, Kawamoto M, Yoshizumi M, Tsuji T.  | 麻酔科  | A log-linearized arterial viscoelastic model for evaluation of the carotid artery.   | Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc 2013;2013:2591-4. doi: 10.1109/EMBC.2013.6610070.            |
| 335 | Hirano H, Horiuchi T, Hirano H, Kurita Y, Ukawa T, Nakamura R, Saeki N, Yoshizumi M, Kawamoto M, Tsuji T.   | 麻酔科  | Monitoring of peripheral vascular condition using a log-linearized arterial viscoelastic index during endoscopic thoracic sympathectomy.   | Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc 2013;2013:2587-90. doi: 10.1109/EMBC.2013.6610069.           |
| 336 | Yasuda T, Delbono O, Wang ZM, Messi ML, Girard T, Urwyler A, Treves S, Zorzato F.   | 麻酔科  | JP-45/JSRP1 variants affect skeletal muscle excitation-contraction coupling by decreasing the sensitivity of the dihydropyridine receptor.   | Hum Mutat. 2013 Jan;34(1):184-90. doi: 10.1002/humu.22209. Epub 2012 Oct 11.                 |
| 337 | Toshinori Ueno, Ayumu Nakashima, Shigehiro Doi, Takeshi Kawamoto, Kiyomasa Honda, Yukio Yokoyama, Toshiki Doi, Yukihito Higashi, Noriaki Yorioka, Yukio Kato, Nobuoki Kohno and Takao Masaki  | 腎臓内科 | Mesenchymal stem cells ameliorate experimental peritoneal fibrosis by suppressing inflammation and inhibiting TGF- $\beta$ 1 signaling.  | Kidney International 2013 Aug;84(2):297-307. doi: 10.1038/ki.2013.81. Epub 2013 Mar 13.      |
| 338 | Hayami H, Takahashi S, Ishikawa K, Yasuda M, Yamamoto S, Uehara S, Hamasuna R, Matsumoto T, Minamitani S, Watanabe A, Iwamoto A, Totsuka K, Kadota J, Sunakawa K, Sato J, Hanaki H, Tsukamoto T, Kiyota H, Egawa S, Tanaka K, Arakawa S, Fujisawa M, Kumon H, Kobayashi K, Matsubara A, Naito S, Tatsugami K, Yamaguchi T, Ito S, Kanokogi M, Nariita H, Kawano H, Hosobe T, Takayama K, Sumi T, Fujii A, Sato T, Yamauchi T, Izumitani M, Chokyu H, Ihara H, Akiyama K, Yoshioka M, Uno S, Monden K, Kano M, Kaji S, Kawai S, Ito K, Inatomi H, Nishimura H, Ikuyama T, Nishi S, Takahashi K, Kawano Y, Ishihara S, Tsuneyoshi K, Matsushita S, Yamane T, Hirose T, Fujihiro S, Endo K, Oka Y, Takeyama K, Kimura T, Uemura T. | 泌尿器科 | Nationwide surveillance of bacterial pathogens from patients with acute uncomplicated cystitis conducted by the Japanese surveillance committee during 2009 and 2010: antimicrobial susceptibility of Escherichia coli and Staphylococcus saprophyticus. | J Infect Chemother 2013 Jun;19(3):393-403. doi: 10.1007/s10156-013-0606-9. Epub 2013 May 3.  |
| 339 | Goto K, Oue N, Shinmei S, Sentani K, Sakamoto N, Naito Y, Hayashi T, Teishima J, Matsubara A, Yasui W.  | 泌尿器科 | Expression of miR-486 is a potential prognostic factor after nephrectomy in advanced renal cell carcinoma.   | Mol Clin Oncol 2013 Mar;1(2):235-240. Epub 2012 Nov 27.                                      |
| 340 | Seki M, Teishima J, Mochizuki H, Mutaguti K, Yasumoto H, Oka K, Nagamatsu H, Shoji K, Matsubara A.  | 泌尿器科 | Restoration of IGF1R-p1 increases radiosensitivity and chemosensitivity in hormone-refractory human prostate cancer.   | Hiroshima J Med Sci 2013 Mar;62(1):13-9.   |

計10

|     |   |        |  |  |
|-----|---|--------|--|--|
| 341 | Shinmei S, Sakamoto N, Goto K, Sentani K, Anami K, Hayashi T, Teishima J, Matsubara A, Oue N, Kitada Y, Yasui W.  | 泌尿器科   | MicroRNA-155 is a predictive marker for survival in patients with clear cell renal cell carcinoma.   | Int J Urol 2013 May;20(5):468-77. doi: 10.1111/j.1442-2042.2012.03182.x. Epub 2012 Oct 10. |
| 342 | Hamasuna R, Yasuda M, Ishikawa K, Uehara S, Takahashi S, Hayami H, Yamamoto S, Matsumoto T, Minamitani S, Watanabe A, Iwamoto A, Totsuka K, Kadota J, Sunakawa K, Sato J, Hanaki H, Tsukamoto T, Kiyota H, Egawa S, Tanaka K, Arakawa S, Fujisawa M, Kumon H, Kobayashi K, Matsubara A, Naito S, Tatsugami K, Ito S, Narita H, Kanokogi M, Sumii T, Ito K, Hosobe T, Kawai S, Kawano H, Takayama K, Yamaguchi T, Endo K, Yamauchi T, Maeda S, Yoh M, Horie M, Ito M, Chokyu H, Ihara H, Akiyama K, Uno S, Monden K, Kaj S, Nishimura H, Kawahara M, Sato T, Konishi T, Nishi S, Ishihara S, Yoshioka M. | 泌尿器科   | Nationwide surveillance of the antimicrobial susceptibility of Neisseria gonorrhoeae from male urethritis in Japan.  | J Infect Chemother 2013 Aug;19(4):571-8. doi: 10.1007/s10156-013-0637-2. Epub 2013 Jun 28. |
| 343 | Taoka R, Togo Y, Kubo T, Kido M, Miki K, Kiyota H, Egawa S, Sugawara T, Yasuda M, Nakano M, Deguchi T, Nishino M, Ishikawa K, Shiroki R, Matsumoto M, Shigemura K, Tanaka K, Arakawa S, Fujisawa M, Wada K, Watanabe T, Kumon H, Kobayashi K, Matsubara A, Sho T, Hamasuna R, Matsumoto T, Hayami H, Nakagawa M, Yamamoto S.  | 泌尿器科   | Assessment of antimicrobial prophylaxis to prevent perioperative infection in patients undergoing prostate brachytherapy: multicenter cohort study.  | J Infect Chemother 2013 Oct;19(5):926-30. doi: 10.1007/s10156-013-0610-0. Epub 2013 May 4. |
| 344 | Hayashi T, Sentani K, Oue N, Ohara S, Teishima J, Anami K, Sakamoto N, Matsubara A, Yasui W.  | 泌尿器科   | The search for secreted proteins in prostate cancer by the Escherichia coli ampicillin secretion trap: expression of NBL1 is highly restricted to the prostate and is related to cancer progression. | Pathobiology 2013;80(2):60-9. doi: 10.1159/000341396. Epub 2012 Aug 29.                    |
| 345 | Kobayashi K, Hayashi I, Kouda S, Kato F, Fujiwara T, Kayama S, Hirakawa H, Itaha H, Ohge H, Gotoh N, Usui T, Matsubara A, Sugai M.  | 泌尿器科   | Identification and characterization of a novel aac(6)-Iag associated with the blaIMP-1-integron in a multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa.   | PLoS One 2013 Aug 12;8(8):e70557. doi: 10.1371/journal.pone.0070557. eCollection 2013.     |
| 346 | Hieda K, Hayashi S, Kim JH, Murakami G, Cho BH, Matsubara A.  | 泌尿器科   | Spatial relationship between expression of cytokeratin-19 and that of connexin-43 in human fetal kidney.   | Anat Cell Biol 2013 Mar;46(1):32-8. doi: 10.5115/acb.2013.46.1.32. Epub 2013 Mar 25.       |
| 347 | Hieda K, Cho KH, Arakawa T, Fujimiya M, Murakami G, Matsubara A.  | 泌尿器科   | Nerves in the intersphincteric space of the human anal canal with special reference to their continuation to the enteric nerve plexus of the rectum.   | Clin Anat 2013 Mar 20. doi: 10.1002/ca.22227   |
| 348 | Eto M, Kamba T, Miyake H, Fujisawa M, Kamai T, Uemura H, Tsukamoto T, Azuma H, Matsubara A, Nishimura K, Nakamura T, Ogawa O, Naito S; Japan Immunotherapy SNPs-Study Group for Kidney Cancer.  | 泌尿器科   | STAT3 polymorphism can predict the response to interferon- $\alpha$ therapy in patients with metastatic renal cell carcinoma.  | Eur Urol 2013 Apr;63(4):745-52. doi: 10.1016/j.eururo.2012.09.052. Epub 2012 Sep 28.       |
| 349 | Kajiwara K, Urashima M, Yamagami T, Kakizawa H, Matsuura N, Matsuura A, Ohnari T, Ishikawa M, Awai K.   | 放射線診断科 | Venous sac embolization of pulmonary arteriovenous malformation: safety and effectiveness at mid-term follow-up.   | Acta Radiol. 2013 Nov 19. pii: 0284185113512123  |
| 350 | Nakamura Y, Hirokawa Y, Kitamura S, Yamasaki W, Arihiro K, Tatsugami F, Iida M, Kakizawa H, Date S, Awai K  | 放射線診断科 | Effect of lapatinib on hepatic parenchymal enhancement on gadoxetate disodium (EOB)-enhanced MRI scans of the rat liver.   | Jpn J Radiol. 2013 Jun;31(6):386-92. doi: 10.1007/s11604-013-0208-6. Epub 2013 Apr 19.     |

計10



|     |   |         |   |   |
|-----|---|---------|---|---|
| 351 | Nakamura Y, Urashima M, Toyota N, Ono C, Iida M, Fukumoto W, Kaichi Y, Tani C, Honda Y, Komoto D, Tatsugami F, Kakizawa H, Date S, Awai K.  | 放射線診断科  | Non-occlusive mesenteric ischemia (NOMI): utility of measuring the diameters of the superior mesenteric artery and superior mesenteric vein at multidetector CT.  | Jpn J Radiol. 2013 Sep 11   |
| 352 | Takasu M, Tamura T, Kaichi Y, Tanitame K, Akiyama Y, Date S, Sakai A, Kuroda Y, Awai K.   | 放射線診断科  | Magnetic resonance evaluation of multiple myeloma at 3.0 tesla: how do bone marrow plasma cell percentage and selection of protocols affect lesion conspicuity?.  | PLoS One. 2014 Jan 28;9(1):e85931. doi: 10.1371/journal.pone.0085931. eCollection 2014.             |
| 353 | Takasu M, Kaichi Y, Awai K, Asaoku H, Kuroda Y, Sakai A.  | 放射線診断科  | Vertebral fracture risk of multiple myeloma assessed by a CT-based finite element and trabecular structure analysis   | Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2014 Feb;14(1):12-3. doi: 10.1016/j.clml.2013.12.012. Epub 2013 Dec 24. |
| 354 | Ishikawa M, Yamagami T, Kakizawa H, Hieda M, Toyota N, Fukumoto W, Kajiwara K, Yoshimatsu R, Aikata H, Chayama K, Awai K.   | 放射線診断科  | Transarterial Therapy of Hepatocellular Carcinoma Fed by the Right Renal Capsular Artery  | J Vasc Interv Radiol. 2014 Mar;25(3):389-95. doi: 10.1016/j.jvir.2013.11.009.                       |
| 355 | Honda Y, Kimura T, Aikata H, Nakahara T, Naeshiro N, Tanaka M, Miyaki D, Nagaoki Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Ishikawa M, Kakizawa H, Kenjo M, Awai K, Nagata Y, Chayama K. | 放射線診断科  | Pilot study of stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma.   | Hepatogastroenterology. 2014 Jan-Feb;61(129):31-6.  |
| 356 | Hiyama E, Ueda Y, Onitake Y, Kurihara S, Watanabe K, Hishiki T, Tajiri T, Ida K, Yano M, Foudo S, Oue T; Tumor/Japanese Study Group for Pediatric Liver                                     | 小児外科    | A cisplatin plus pirarubicin-based JPLT2 chemotherapy for hepatoblastoma: experience and future of the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor (JPLT).   | Pediatric Surgery International 2013;29(10):1071-1075   |
| 357 | Bonella F, Ohshimo S, Miaotian C, Griese M, Guzman J, Costabel U.   | 救急科     | Serum KL-6 is a predictor of outcome in pulmonary alveolar proteinosis.   | Orphanet J Rare Dis. 2013 Apr 4;8:53  |
| 358 | Horimasu Y, Hattori N, Ishikawa N, Tanaka S, Bonella F, Ohshimo S, Guzman J, Costabel U, Kohno N.   | 救急科     | Differences in serum SP-D levels between German and Japanese subjects are associated with SFTPD gene polymorphisms.   | BMC Med Genet. 2014 Jan 8;15:4  |
| 359 | Sato I, Higuchi A, Yanagisawa T, Murayama S, Kumabe T, Sugiyama K, Mukasa A, Saito N, Sawamura Y, Terasaki M, Shibui S, Takahashi J, Nishikawa R, Ishida Y, Kamibeppu K.                    | がん化学療法科 | Impact of Late Effects on Health-Related Quality of Life in Survivors of Pediatric Brain Tumors: Motility Disturbance of Limb(s), Seizure, Ocular/Visual Impairment, Endocrine Abnormality, and Higher Brain Dysfunction. | Cancer Nurs. 2014 Mar 13  |
| 360 | Kinoshita Y, Tominaga A, Saitoh T, Usui S, Takayasu T, Arita K, Sakoguchi T, Sugiyama K, Kurisu K.  | がん化学療法科 | Postoperative fever specific to neuroendoscopic procedures.   | Neurosurg Rev. 2013 Nov 14  |

計10

|     |  |         |  |   |
|-----|--|---------|--|---|
| 361 | Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sugiyama K, Kurisu K.  | がん化学療法科 | Impact of subclinical haemorrhage on the pituitary gland in patients with pituitary adenomas.  | Clin Endocrinol (Oxf). 2014 May;80(5):720-5. doi: 10.1111/cen.12349. Epub 2013 Nov 9.                         |
| 362 | Kagawa K, Iida K, Kakita A, Katagiri M, Nishimoto T, Hashizume A, Kiura Y, Hanaya R, Sugiyama K, Arihiro K, Arita K, Kurisu K. | がん化学療法科 | Electrocorticographic-histopathologic correlations implying epileptogenicity of dysembryoplastic neuroepithelial tumor.  | Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53(10):676-87. Epub 2013 Sep 27.  |
| 363 | Matsushige T, Kiura Y, Sakamoto S, Okazaki T, Shitagawa K, Ichinose N, Takasu M, Akiyama Y, Sugiyama K, Kurisu K.              | がん化学療法科 | Multiple antiplatelet therapy contributes to the reversible high signal spots on diffusion-weighted imaging in elective coiling of unruptured cerebral aneurysm. | Neuroradiology. 2013 Mar;55(4):449-57. doi: 10.1007/s00234-013-1137-x. Epub 2013 Jan 12.                      |
| 364 | Watanabe Y, Yamasaki F, Kajiwara Y, Takayasu T, Nosaka R, Akiyama Y, Sugiyama K, Kurisu K.                                     | がん化学療法科 | Preoperative histological grading of meningiomas using apparent diffusion coefficient at 3T MRI.   | Eur J Radiol. 2013 Apr;82(4):658-63. doi: 10.1016/j.ejrad.2012.11.037. Epub 2013 Jan 10.                      |
| 365 | Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sakoguchi T, Sugiyama K, Kurisu K.   | がん化学療法科 | Pituitary adenomas in childhood and adolescence with a focus on intratumoral hemorrhage.   | Pituitary. 2014 Feb;17(1):1-6. doi: 10.1007/s11102-012-0456-y.  |
| 366 | Yamaguchi S, Takeda M, Mitsuhashi T, Kajihara S, Mukada K, Eguchi K, Kajihara Y, Takemoto K, Sugiyama K, Kurisu K.             | がん化学療法科 | Application of 4D-CTA using 320-row area detector computed tomography on spinal arteriovenous fistulae: initial experience.                                      | Neurosurg Rev. 2013 Apr;36(2):289-96; discussion 296. doi: 10.1007/s10143-012-0440-z. Epub 2012 Nov 30.       |
| 367 | Shigemoto N, Kayama S, Kuwahara R, Hisatsune J, Kato F, Nishio H, Yamasaki K, Wada Y, Sueda T, Ohge H, Sugai M.                | 感染症科    | A novel metallo- $\beta$ -lactamase, IMP-34, in Klebsiella isolates with decreased resistance to imipenem.   | Diagn Microbiol Infect Dis. 2013 May;76(1):119-21. doi: 10.1016/j.diagmicrobio.2013.02.030. Epub 2013 Mar 27. |
| 368 | Kittaka M1, Shiba H, Kajiya M, Ouhara K, Takeda K, Kanbara K, Fujita T, Kawaguchi H, Komatsuzawa H, Kurihara H.                | 歯周診療科   | Antimicrobial peptide LL37 promotes vascular endothelial growth factor-A expression in human periodontal ligament cells  | J Periodontol Res. 2013 Apr;48(2):228-34  |
| 369 | Kittaka M1, Shiba H, Kajiya M, Fujita T, Iwata T, Rathvisal K, Ouhara K, Takeda K, Fujita T, Komatsuzawa H, Kurihara H.        | 歯周診療科   | The antimicrobial peptide LL37 promotes bone regeneration in a rat calvarial bone defect.  | Peptides. 2013 Aug;46:136-42  |
| 370 | Takeda K1, Kermani P, Anastasia A, Obinata Y, Hempstead BL, Kurihara H.  | 歯周診療科   | BDNF protects human vascular endothelial cells from TNF $\alpha$ -induced apoptosis.   | Biochem Cell Biol. 2013 Oct;91(5):341-9   |

計10

|     |   |             |  |   |
|-----|---|-------------|--|---|
| 371 | Ouhara KI, Savitri UJ, Fujita T, Kittaka M, Kajiya M, Iwata T, Miyagawa T, Yamakawa M, Shiba H, Kurihara H.       | 歯周診療科       | miR-584 Expressed in Human Gingival Epithelial Cells is Induced by Porphyromonas Gingivalis Stimulation and Regulates Interleukin-8 Production via Lactoferrin Receptor. | J Periodontol. 2014 Jun;85(6):e198-204  |
| 372 | Yamasaki S, Taguchi Y, Shimamoto A, Mukasa H, Tahara H, Okamoto T   | 顎・口腔外科      | Generation of human induced pluripotent stem (iPS) cells in serum- and feeder-free defined culture and TGF- $\beta$ 1 regulation of pluripotency.                        | PLoS ONE 2014 Jan 29;9(1):e87151. doi: 10.1371/journal.pone.0087151 . eCollection 2014. |
| 373 | Yamasaki S, Nabeshima K, Sotomaru Y, Taguchi Y, Mukasa H, Furue MK, Sato JD, Okamoto T.                           | 顎・口腔外科      | Long-term serial cultivation of mouse induced pluripotent stem cells in serum-free and feeder-free defined medium.   | Int J Dev Biol. 2013;57(9-10):715-24. doi: 10.1387/ijdb.130173to.                       |
| 374 | Yoshioka Y, Ogawa I, Tsunematsu T, Sakaue T, Yamasaki S, Fukui Y, Hayashido Y, Toratani S, Okamoto T.             | 顎・口腔外科      | Ectomesenchymal chondromyxoid tumor of the tongue: insights on histogenesis.   | Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2013 Feb;115(2):233-40                      |
| 375 | Yoshioka Y, Toratani S, Ogawa I, Okamoto T.   | 顎・口腔外科      | Ameloblastic carcinoma, secondary type, of the mandible: a case report   | J Oral Maxillofac Surg. 2013 Jan;71(1):e58-62   |
| 376 | Okamoto T, Sato JD, Barnes DW, Sato GH.   | 顎・口腔外科      | Biomedical advances from tissue culture  | Cytotechnology. 2013 Dec;65(6):967-71   |
| 377 | Rosli SN, Shintani T, Toratani S, Usui E, Okamoto T.  | 顎・口腔外科      | 1 $\alpha$ ,25(OH) <sub>2</sub> D <sub>3</sub> inhibits FGF-2 release from oral squamous cell carcinoma cells through down-regulation of HBp17/FGFBP-1.                  | In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2014 Jun 18  |
| 378 | Yamashita K, Ohara M, Kojima T, Nishimura R, Ogawa T, Hino T, Okada M, Toratani S, Kamata N, Sugai M, Sugiyama M. | 顎・口腔外科      | Prevalence of drug-resistant opportunistic microorganisms in oral cavity after treatment for oral cancer.  | J Oral Sci. 2013;55(2):145-55.  |
| 379 | Rosli SN, Shintani T, Hayashido Y, Toratani S, Usui E, Okamoto T.   | 顎・口腔外科      | 1 $\alpha$ ,25(OH) <sub>2</sub> D <sub>3</sub> down regulates HBp17/FGFBP-1 expression via NF- $\kappa$ B pathway  | J Steroid Biochem Mol Biol. 2013 Jul;136:98-101   |
| 380 | Abe Y, Okazaki Y, Hiasa K, Yasuda K, Nogami K, Mizumachi W, Hirata I.   | 口腔インプラント診療科 | Bioactive surface modification of hydroxyapatite.  | BioMed Research International, 626452, 2013.  |

計10

|     |   |             |  |  |
|-----|---|-------------|--|--|
| 381 | Oue H, Miyamoto Y, Okada S, Koretake K, Jung CG, Michikawa M, Akagawa Y.  | 口腔インプラント診療科 | Tooth loss induces memory impairment and neuronal cell loss in APP transgenic mice.  | Behav Brain Res., 252, 318-325, 2013.  |
| 382 | Abe Y., Nogami K., Mizumachi W., Tsuka H., Hiasa K.   | 口腔インプラント診療科 | Proposed score for occlusal-supporting ability.  | Open Journal of Stomatology, 3,230-234,2013.   |
| 383 | Harada K., Shiba T., Doi K., Morita K., Kubo T., Makihara Y., Piattelli A., Akagawa Y.  | 口腔インプラント診療科 | Inorganic Polyphosphate Suppresses Lipopolysaccharide-Induced Inducible Nitric Oxide Synthase (iNOS) Expression in Macrophages.                            | PLoS One, 8(9), e74650, 2013.  |
| 384 | Harada K., Itoh H., Kawazoe Y., Miyazaki S., Doi K., Kubo T., Akagawa Y, Shiba T.   | 口腔インプラント診療科 | Polyphosphate-mediated inhibition of tartrate-resistant Acid phosphatase and suppression of bone resorption of osteoclasts.                                | PLoS One , 8(11), e78612, 2013.  |
| 385 | Doi K., Oue H., Kajihara S., Hayashi K., Akagawa Y  | 咬合・義歯診療科    | Influence of formalin fixation on the implant stability quotient and mechanical characteristics of bone.   | Br J Oral Maxillofac Surg 2013 Sep;51(6):550-4. doi: 10.1016/j.bjoms.2012.08.009. Epub 2012 Oct 1. |
| 386 | Kaihara Y., Kihara T., Katayama A., Amano H., Nikawa H., Kozai K  | 小児歯科        | Accuracy of a Non-contact 3D Measuring System for Dental Model Analysis  | Eur J Paediatr Dent. 2014 Jun;15(2):137-42.  |
| 387 | Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M, Chayama K | 内視鏡診療科      | Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement.                         | J Gastroenterol Hepatol 28, 5, 841-847, 2013.  |
| 388 | Ozawa S, Tanaka S, Hayashi N, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K                                  | 内視鏡診療科      | Risk factors for vertical incomplete resection in endoscopic submucosal dissection as total excisional biopsy for submucosal invasive colorectal carcinoma | Int J Colorectal Dis 28, 9, 1247-1256, 2013.   |
| 389 | Oka S, Tanaka S, Nakadoi K, Kanao H, Chayama K  | 内視鏡診療科      | Risk analysis of submucosal invasive rectal carcinomas for lymph node metastasis to expand indication criteria for endoscopic resection.                   | Dig Endosc 25, Suppl.2, 21-25, 2013.   |
| 390 | Boda T, Ito M, Yoshihara M, Kitamura Y, Matsuo T, Oka S, Tanaka S, Chayama K  | 内視鏡診療科      | Advanced method for evaluation of gastric cancer risk by serum markers: determination of true low-risk subjects for gastric neoplasm.                      | Helicobacter. 2014 Feb;19(1):1-8. doi: 10.1111/hel.12101. Epub 2013 Nov 11.                        |

計10

|     |  |        |   |  |
|-----|--|--------|---|--|
| 391 | Hayashi N, Tanaka S, Hewett DG, Kaltenbach TR, Sano Y, Ponchon T, Saunders BP, Rex DK, Soetikno RM   | 内視鏡診療科 | Endoscopic prediction of deep submucosal invasive carcinoma: validation of the narrow-band imaging international colorectal endoscopic (NICE) classification. | Gastrointest Endosc. 78, 4, 625-632, 2013.   |
| 392 | Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M, Chayama K  | 内視鏡診療科 | Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement.                            | J Gastroenterol Hepatol. 28, 5, 841-847, 2013.                                       |
| 393 | Oka S, Tanaka S, Higashiyama M, Numata N, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K, Chayama K  | 内視鏡診療科 | Clinical validity of the expanded criteria for endoscopic resection of undifferentiated-type early gastric cancer based on long-term outcomes.                | Surg Endosc. Feb;28(2):639-47, 2014  |
| 394 | Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M, Chayama K  | 内視鏡診療科 | A Computer System to Be Used With Laser-based Endoscopy for Quantitative Diagnosis of Early Gastric Cancer.   | J Clin Gastroenterol. 2014 Feb 27.   |
| 395 | Nishiyama S, Oka S, Tanaka S, Hayashi N, Hayashi R, Nagai K, Ueno Y, Shimamoto F, Arihiro K, Chayama K.  | 内視鏡診療科 | Is it possible to discriminate between neoplastic and nonneoplastic lesions in ulcerative colitis by magnifying colonoscopy?                                  | Inflamm Bowel Dis. 2014 Mar;20(3):508-13   |
| 396 | Hayashi N, Tanaka S, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Oka S, Yoshihara M, Chayama K.  | 内視鏡診療科 | Predictors of incomplete resection and perforation associated with endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors.                                    | Gastrointest Endosc. 2014 Mar;79(3):427-35.  |
| 397 | Ichihara K, Ceriotti F, Tam TH, Sueyoshi S, Poon PM, Thong ML, Higashiusato Y, Wang X, Kataoka H, Matsubara A, Shiesh SC, Muliaty D, Kim JH, Watanabe M, Lam CW, Siekmann L, Lopez JB, Panteghini M. | 検査部    | The Asian project for collaborative derivation of reference intervals: (1) strategy and major results of standardized analytes.                               | Clin Chem Lab Med 2013 Jul;51(7):1429-42. doi: 10.1515/clin-2012-0421.               |
| 398 | Harino T, Kayama S, Kuwahara R, Kashiwara S, Shigemoto N, Onodera M, Yokozaki M, Ohge H, Sugai M.  | 検査部    | Meropenem resistance in imipenem-susceptible meropenem-resistant Klebsiella pneumoniae isolates not detected by rapid automated testing systems.              | J Clin Microbiol 2013 Aug;51(8):2735-8. doi: 10.1128/JCM.02649-12. Epub 2013 May 29. |
| 399 | Shizuo Kayama, Norihumi Shigemoto, Ryuichi Kuwahara, Takashi Ishino, Kentaro Imon, Makoto Onodera, Michiya Yokozaki, Hiroki Ohge, Motoyuki Sugai   | 検査部    | The First Case of Septicemia Caused by Imipenem-Susceptible, Meropenem-Resistant Klebsiella pneumoniae  | Ann Lab Med 2013 Sep;33(5):383-5. doi: 10.3343/alm.2013.33.5.383. Epub 2013 Aug 8.   |

計9  
合計399

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年年度の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

|  |        |
|--|--------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況                               | 有・無    |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況                           | 有・無    |
| ・ 手順書の主な内容<br>組織、会議、予備審査部会、迅速審査、委員会事務局、記録の保存 |        |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況                               | 年 13 回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

|  |        |
|--|--------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況  | 有・無    |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況   | 有・無    |
| ・ 規定の主な内容<br>本学の職員等が臨床研究に係る産学官連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、臨床研究利益相反管理委員会や相談室の設置、アドバイザーの配置、臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告、同委員会による調査、審査及びその他必要な手続きなどを定めている。 |        |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況  | 年 12 回 |

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

|   |       |
|---|-------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況   | 年 3 回 |
| ・ 研修の主な内容<br>「臨床研究に関する倫理指針」に該当する自主臨床試験の範疇、本学における審査の流れ、臨床試験開始後の注意点、多施設共同研究を行う際の注意点、今後の動向について |       |

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。



(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 (2) 現状                      |
| 管理責任者氏名 | 病院長 茶山 一彰                         |
| 管理担当者氏名 | 病院総務Gリーダー 三分一 恒男, 病院医事Gリーダー 善村 浩之 |

|  |  | 保管場所               | 管理方法  |
|--|--|--------------------|---|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 |  | 総務グループ<br>病歴管理センター | カルテは、1患者1カルテで病歴管理センターで保管管理し、エックス線写真は、各診療科で保存管理している。 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録   | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 総務グループ             |   |
|  | 高度の医療の提供の実績                                | 医事グループ             |   |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 医事グループ             |   |
|  | 高度の医療の研修の実績                                | 総務グループ             |   |
|  | 閲覧実績                                       | 総務グループ             |   |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医事グループ             |   |
|  | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿                  | 医事グループ<br>薬剤部      |   |
| 第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十の第一項  | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 各診療科               |   |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医療安全管理部            |   |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医療安全管理部            |   |
|  | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全管理部            |   |
|  | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 医療安全管理部            |   |
|  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 医療安全管理部            |   |
|  | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況                        | 医療安全管理部            |   |
|  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 患者支援センター           |   |



|                  |   | 保管場所  | 管理方法    |
|------------------|---|---|---------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則  | 院内感染のための指針の策定状況                                       | 医療安全管理部 |
|                  | 第一条   | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                    | 医療安全管理部 |
|                  | 第十一条  | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                              | 医療安全管理部 |
|                  | 第一項   | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | 医療安全管理部 |
|                  | 各号及び第九條   | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | 薬剤部     |
|                  | 第二十三條   | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | 薬剤部     |
|                  | 第一項   | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | 薬剤部     |
|                  | 第一号に掲げる体制の確保の状況   | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部     |
|                  |   | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | ME機器管理室 |
|                  |   | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | ME機器管理室 |
|                  | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                           | ME機器管理室   |         |
|                  | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | ME機器管理室   |         |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|   |                   |      |
|---|-------------------|------|
| 計画・現状の別                                   | 1. 計画             | ② 現状 |
| 閲覧責任者氏名                                   | 病院運営支援部長 東田 操     |      |
| 閲覧担当者氏名                                   | 総務グループリーダー 三分一 恒男 |      |
| 閲覧の求めに応じる場所                               | 総務グループ事務室         |      |
| 閲覧の手続の概要<br>閲覧希望者の求めに応じて、総務グループ事務室で行っている。 |                   |      |

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0件   |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 0件 |
|           | 歯科医師   | 延 0件 |
|           | 国      | 延 0件 |
|           | 地方公共団体 | 延 0件 |

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

|   |         |
|---|---------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | ② 有・無   |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <p>【医療安全管理のための指針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全管理に関する基本的な考え方</li><li>2. 用語の説明<ol style="list-style-type: none"><li>1) 医療上の事故等（インシデント）</li><li>2) ヒヤリ・ハット（ゼロレベルインシデント）</li><li>3) 医療過誤（法律用語）</li><li>4) 合併症</li></ol></li><li>3. 医療安全管理に関する推進方法<ol style="list-style-type: none"><li>1) 医療安全管理体制の構築</li><li>2) 医療事故・インシデントなどの報告制度の確立</li><li>3) 職員に対する医療安全教育・研修の実施</li><li>4) 事故発生時の対応方法の確立</li><li>5) 医療事故の公表と報告<ol style="list-style-type: none"><li>①医療機関への報告・公表</li><li>②公表する範囲</li><li>③プライバシーの尊重</li><li>④当事者に対する配慮</li><li>⑤警察への報告</li><li>⑥社会への公表</li></ol></li></ol></li><li>4. 医療安全管理に関する指針の閲覧について</li><li>5. 患者相談窓口について</li></ol>   |         |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況   | 年 8 6 回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○医科・歯科共通</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「医療事故防止等対策委員会」は、月 1 回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会」及び「医療事故防止等対策小委員会」を統括し、医療の安全管理、医療事故の防止、医療訴訟に関する事項を審議する。<br/>また、「医療事故防止等対策委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会」、「医療事故防止等対策小委員会」及び「医療安全管理室会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。<br/>(年12回)</li><li>2) 「医療安全管理室会議」は、毎週 1 回開催し、医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。(年51回)</li></ol> <p>○医科領域</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして、患者影響レベル3b以上の事象については医療事故か医療事故でないかを判定し、病院長に報告する。(年11回)</li></ol> <p>○歯科領域</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」は、月 1 回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。(年12回)</li></ol> |         |

|  |  |
|--|--|
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況   | 年14回                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：別紙①のとおり</li> </ul>  |  |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p>○医科・歯科共通</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議をととして伝達している。</li> <li>2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し，医療事故防止等対策委員会で審議のうえ，病院運営会議で報告し，改善策の周知徹底を図る。</li> <li>3) 院内安全巡視等を行うことで，改善状況を評価する。</li> <li>4) 発生した重要なインシデントについては，現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し，医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は，必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い，要因を特定し，対策を立案し，医療事故防止等委員会へ報告するとともに，リスクマネジャー会議へフィードバックする。</li> <li>5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し，情報の共有化を図る。</li> </ol> |  |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況  | <input checked="" type="checkbox"/> （3名）・無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況   | <input checked="" type="checkbox"/> （2名）・無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況  | <input checked="" type="checkbox"/> ・無     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任（5）名 兼任（22）名（医療安全管理室18名，感染管理室10名）<br/>*重複1名</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) リスクマネジメント業務の総括</li> <li>2) 医療事故等に関連する情報の収集，調査，分析</li> <li>3) 医療事故に関するカルテ等の記載内容の点検及び指導</li> <li>4) 患者及び家族への説明等について，医療事故発生時の対応状況の確認及び指導</li> <li>5) 医療事故等の原因究明の実施確認及び指導</li> <li>6) 医療事故防止にかかる教育・研修及びその環境整備</li> <li>7) 医療の質向上</li> <li>8) 病院内の各種マニュアルの管理</li> <li>9) 院内感染防止に関連する情報の収集，調査，分析及び指導</li> <li>10) 院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供</li> <li>11) 院内感染症のコンサルテーション</li> <li>12) 院内感染サーベイランス</li> <li>13) 院内感染情報のデータベース化</li> <li>14) 病院における定期的な巡視</li> </ol>     |  |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況   | <input checked="" type="checkbox"/> ・無     |

(様式第6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|   |      |
|---|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況   | ☑・無  |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染症対策委員会</li><li>(2) 感染管理室 (ICT) , リンクナース及び感染対策実践者</li></ol></li><li>3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 通常時の対応</li><li>(2) 緊急時 (重大な院内感染等の発生) の対応</li></ol></li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>   |      |
| ③ 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 年52回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○医科・歯科共通</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。(年12回)</li><li>2) 「感染管理室会議」は月1回開催し、院内感知情報等の収集、調査、分析を行い、院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。(年12回) (臨時4回)</li></ol> <p>○医科領域</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「感染症対策小委員会 (医科領域)」は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感知情報レポートの分析・活用及び針刺し (穿刺) 感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。(年12回)</li></ol> <p>○歯科領域</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「感染症対策小委員会 (歯科領域)」は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感知情報レポートの分析・活用及び針刺し (穿刺) 感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。(年12回)</li></ol> |      |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 年8回  |
| <p>・ 研修の主な内容：別紙②のとおり</p>  |      |
| <p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする</p>   |      |

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |   |
|---|---|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況  | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 年 4 回                                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：毎年実施</li><li>・ 「安全なミキシングについて」 全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会</li><li>・ 「薬剤部の業務内容と医薬品安全対策について」 新規採用研修医オリエンテーション</li><li>・ 「薬剤関連インシデント事例」 全職員対象安全管理研修会</li><li>・ 「医薬品の医療安全（薬のここに気をつけよう）」看護師対象研修</li></ul>   |   |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況  |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li><li>・ 業務の主な内容：<br/><br/>1年に1回、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図り、確認後は業務手順点検表に確認者の署名（押印）を行っている。また、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が順次実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認をしている。</li></ul>   |   |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 薬剤部業務及び病棟業務にて、副作用の障害を未然に防いだ事例や医薬品の適正使用及び疑義照会に関する内容を収集し、その内容を整理して院内の月1回のリスクマネージャー会議にて報告。さらに、これらの中から注目すべき内容を取り上げて、「薬剤部ニュース」として、処方例および簡潔な薬学的根拠に関する説明を行い、病院情報システムによって広報。</li><li>② 薬剤部リスクマネージャー（RM）の下に薬剤部内各部署にRMアシスタント（RMA）を配置し、薬剤に関するインシデント事例や調剤・製剤、病棟、化学療法など各部署におけるリスクを担当者から吸い上げて、検討（定例会議 1回/月）し改善を図る。必要に応じて順次手順書や薬剤部マニュアルなどを改訂。</li><li>③ 病棟担当者による病棟での研修会を実施（対象：現場の看護師やリハビリスタッフなど）<ul style="list-style-type: none"><li>手術室「手術室医薬品の種類について」 2回開催</li><li>7 東「処方箋の読み方」</li><li>4 西「小児がん治療に用いられる主な抗がん剤について ～副作用など～」</li><li>リハビリ 「鎮痛・鎮静剤について」</li><li>リハビリ 「循環器系薬剤と抗血栓薬の基礎知識」</li><li>ICU・救命・HCU・SICU合同「循環作動薬・抗血栓薬・透析で除去される薬剤」</li><li>消化器「薬剤におけるリスクマネジメント」</li></ul></li></ul></li></ul> |   |

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |  |
|---|--|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況   | <input checked="" type="checkbox"/> ・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年5回 程度                                 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<br/>注入ポンプ使用に関する説明会<br/>心電図・除細動器使用に関する説明会<br/>人工呼吸器安元使用に関する説明会</li></ul>  |  |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画の策定 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li><li>・ 保守点検の主な内容：<br/>特定保守管理機器に関しては取扱説明書に準じて適正間隔かつ必要事項を点検している。</li></ul>   |  |
| ③ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br/>毎月、医療安全管理部から医療機器にまつわるインシデント報告をもらい、必要に応じて対策をSPD運営会議に報告し検討する。そしてSPD運営会議で対策を検討した結果を院内へ通達する。</li></ul> |  |

## 平成25年度 医療安全管理職員研修会実施状況

広島大学病院医療安全管理部

| 月  | テーマ   | 主催       | 講師  | 対象                   | 日時・場所   | 参加人数  |
|----|---|----------|---|----------------------|---|-------|
| -  | 病院新規採用者対象研修プログラム<br>「医療安全管理体制について-医療事故防止の取り組み-」<br>「医療安全管理体制について-感染防止対策-」 | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>大毛 宏喜 感染管理室室長                       | 病院新規採用者<br>新採用研修医    | 4月1日(月)11:00~12:00<br>医学部第5講義室  | 215   |
| 1  | 「病理検体の正しい取り扱い」<br>「正しく検査を行うために-検体採取から提出まで-」                               | 安全<br>感染 | 有廣 光司 病理診断科 教授<br>津川 和子 診療支援部 検体検査部門長                   | 全職員<br>(新規採用者<br>必須) | 4月19日(金)18:30~19:15<br>医学部第4・5講義室<br>資料配布研修会(4月19日~5月10日)<br>DVD視聴研修会(随時) | 380   |
| 2  | 「口腔ケアの重要性-抗がん剤投与の影響から考える-」  | 安全<br>感染 | 一戸 辰夫 血液内科 教授<br>(連携口腔ケアサポートチーム共催)                      | 全職員                  | 5月9日(木)18:00~19:00<br>医学部第4・5講義室  | 345   |
| 3  | 「造影剤アレルギーの危険性」<br>「MR室への磁性体持ち込みの危険性」                                      | 安全       | 粟井 和夫 放射線診断科 教授<br>穂山 雄次 放射線技師                          | 全職員<br>(新規採用者<br>必須) | 5月27日(月)17:45~18:30<br>医学部第4・5講義室<br>資料配布研修会(6月3日~6月11日)<br>DVD視聴研修会(随時)  | 536   |
| 4  | 「医療安全管理体制とインシデントレポートシステム」<br>「流行性ウイルス疾患」                                  | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>森 美菜子 専任感染対策担当者                     | 全職員                  | 6月3日(月)15:30~16:15<br>6月6日(木)13:30~14:15<br>医学部第5講義室                      | 261   |
| 5  | 「軽症くも膜下出血の見落とし防止」   | 安全       | 栗栖 薫 脳神経外科 教授   | 全職員<br>(新規採用医必須)     | 6月10日(月)18:00~19:00<br>医学部第4・5講義室<br>資料配布研修会(6月14日~6月24日)<br>DVD視聴研修会(随時) | 309   |
| 6  | 「病院職員みんなで考えるリスクマネジメント<br>-訴訟事例を題材に-」                                      | 安全       | 日山 亨 保健管理センター准教授  | 全職員                  | 6月27日(木)17:45~18:30<br>医学部第4・5講義室<br>DVD視聴研修会(随時)                         | 470   |
| 7  | 「医療従事者も知っておきたいワクチンの話」   | 感染       | 慶應義塾大学医学部 感染症学<br>岩田 敏 教授                               | 全職員                  | 7月23日(火)17:45~18:45<br>医学部第4・5講義室<br>DVD視聴研修会(随時)                         | 463   |
| 8  | 「医療・看護事故の真実と教訓」   | 安全       | 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部<br>隈本 邦彦 教授                       | 全職員                  | 7月26日(金)18:30~19:30<br>医学部第4・5講義室<br>DVD視聴研修会(随時)                         | 385   |
| 9  | 随時 手指衛生研修会  | 感染       | リンクナース  | 全職員                  | 通年  | 243   |
| 10 | 資料配付<br>「インフルエンザの基礎知識」  | 感染       | 感染管理室   | 全職員                  | 平成25年11月25日~12月4日<br>資料配布確認問題提出   | 2,525 |
| -  | 中途採用者研修   | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>山崎 香織 専任リスクマネジャー<br>森 美菜子 専任感染対策担当者 | 中途採用者                | 平成25年11月27日~12月6日<br>資料配布確認問題提出   | 204   |
| 11 | 「組織は違えど必要な感染対策」   | 感染       | 愛媛大学医学部附属病院 感染制御部<br>榎田 夏代 副看護師長(感染管理認定看護師)             | 全職員                  | 平成26年1月15日(水)17:45~18:45<br>医学部 第4・5講義室<br>DVD視聴研修会(随時)                   | 300   |
| 12 | 「事故事例から学び医療安全対策を機能させるには」  | 安全       | 福島県立医科大学附属病院<br>医療安全管理部長 橋本 重厚 教授                       | 全職員                  | 平成26年2月17日(月)17:45~18:45<br>医学部 第4・5講義室<br>DVD視聴研修会(随時)                   | 543   |
| 13 | 「ガラスパッチの適正使用・放射線の人体に与える影響について」  | 安全       | 永田 靖 放射線部長<br>権丈 雅浩 放射線取扱主任者                            | 全職員                  | 平成26年3月6日(木)17:30~18:30<br>平成26年3月10日(月)17:30~18:30<br>たんぼ保育園2階 カンファレンス2  | 145   |
| 14 | 「医療安全管理部・各部門年間活動報告」①  | 安全<br>感染 | 医療安全管理部 各部門   | 全職員                  | 平成26年3月14日(金)17:45~18:30<br>医学部 第4・5講義室                                   | 217   |
|    | 「医療安全管理部・各部門年間活動報告」②  | 安全<br>感染 | 医療安全管理部 各部門   | 全職員                  | 平成26年3月17日(月)17:30~18:30<br>医学部 第4・5講義室                                   | 227   |



## 平成25年度 院内感染防止対策研修会実施状況

広島大学病院医療安全管理部 感染管理室

| 月 | テ ー マ   | 主催       | 講 師   | 対 象                  | 日 時・場 所   | 参加人数  |
|---|---|----------|---|----------------------|---|-------|
| - | 病院新規採用者対象研修プログラム<br>「医療安全管理体制について-医療事故防止の取り組み-」<br>「医療安全管理体制について-感染防止対策-」 | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>大毛 宏喜 感染管理室室長                       | 病院新規採用者<br>新採用研修医    | 4月1日(月)11:00~12:00<br>医学部第5講義室  | 215   |
| 1 | 「病理検体の正しい取り扱い」<br>「正しく検査を行うために—検体採取から提出まで—」                               | 安全<br>感染 | 有廣 光司 病理診断科 教授<br>津川 和子 診療支援部 検体検査部門長                   | 全職員<br>(新規採用者<br>必須) | 4月19日(金)18:30~19:15<br>医学部第4・5講義室<br>資料配布研修会(4月19日~5月10日)<br>DVD視聴研修会(随時) | 380   |
| 2 | 「口腔ケアの重要性-抗がん剤投与の影響から考える-」  | 安全<br>感染 | 一戸 辰夫 血液内科 教授<br>(連携口腔ケアサポートチーム共催)                      | 全職員                  | 5月9日(木)18:00~19:00<br>医学部第4・5講義室  | 345   |
| 3 | 「医療安全管理体制とインシデントレポートシステム」<br>「流行性ウイルス疾患」                                  | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>森 美菜子 専任感染対策担当者                     | 全職員                  | 6月3日(月)15:30~16:15<br>6月6日(木)13:30~14:15<br>医学部第5講義室                      | 261   |
| 4 | 「医療従事者も知っておきたいワクチンの話」   | 感染       | 慶應義塾大学医学部 感染症学<br>若田 敏 教授                               | 全職員                  | 7月23日(火)17:45~18:45<br>医学部第4・5講義室   | 463   |
| 5 | 手指衛生研修会   | 感染       | リンクナース  | 全職員                  | 通年  | 243   |
| 6 | 資料配付<br>「インフルエンザの基礎知識」  | 感染       | 感染管理室   | 全職員                  | 平成25年11月25日~12月4日<br>資料配布確認問題提出   | 2,525 |
| - | 中途採用者研修   | 安全<br>感染 | 菅田 智子 専任リスクマネジャー<br>山崎 香織 専任リスクマネジャー<br>森 美菜子 専任感染対策担当者 | 中途採用者                | 平成25年11月27日~12月6日<br>資料配布確認問題提出   | 204   |
| 7 | 「組織は違えど必要な感染対策」   | 感染       | 愛媛大学医学部附属病院 感染制御部<br>榎田 夏代 副看護師長(感染管理認定看護師)             | 全職員                  | 平成26年1月15日(水)17:45~18:45<br>医学部 第4・5講義室                                   | 300   |
| 8 | 「医療安全管理部・各部門年間活動報告」①  | 安全<br>感染 | 医療安全管理部<br>各部門  | 全職員                  | 平成26年3月14日(金)17:45~18:30<br>医学部 第4・5講義室                                   | 217   |
|   | 「医療安全管理部・各部門年間活動報告」②  | 安全<br>感染 | 医療安全管理部<br>各部門  | 全職員                  | 平成26年3月17日(月)17:30~18:30<br>医学部 第4・5講義室                                   | 227   |